ご注意

① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することはおやめください。
② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社まで御連絡ください。

また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が課されることがあります。

はじめに

このたびは、エイセルの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
製品の機能を十分に活用し、効果的にご利用いただくため、本書をお読みください。

本書は、UNIX フィルターのインストールおよびユーティリティソフトウェアを利用したプリント操作方法について説明しています。

なお、本書の内容は、ワークステーションと OS 環境の基本的な知識や操作方法をほぼご理解いただいていることを前提に説明しています。

本書の記載事項は事前通知なしに変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

2012 年 2 月
エイセル株式会社

マニュアルの種類

マニュアルの種類には以下のものがあります。

《本体同梱マニュアル》
本体同梱マニュアルとは、プリンタに同梱されているマニュアルです。

《別売品同梱マニュアル》
別売品同梱マニュアルとは、オプション製品に同梱されているマニュアルです。
オプション製品の取り扱い方法や設定方法を説明しています。

《商品マニュアル》
商品マニュアルとは、必要に応じて購入していただくマニュアルです。
商品マニュアルとしては、プリンタ（プロッター）制御言語のコマンドを参照するためのリファレンスマニュアルがあります。

マニュアルの一覧表は、《本体同梱マニュアル》の取扱説明書に記載してあります。「マニュアルの種類」の詳細については、取扱説明書を参照してください。

本書の読み方

■本書の構成

本書の各章の内容を次に説明します。

第 1 章　概要
UNIX フィルターの特長と利用可能な環境について説明しています。
第 2 章　インストール
UNIX フィルターのインストール方法について説明しています。
第 3 章　プリント操作とユーティリティ
UNIX フィルターを利用したプリント操作およびユーティリティの機能と使用方法について説明しています。
第 4 章　注意制限事項
UNIX フィルターを使用するときの注意事項、制限事項について説明しています。

付録
以下の付録を添付しています。必要に応じて参照してください。

- 使用できるフォント
- UNIX フィルターのアンインストール

■本書の表記

① 本文中では、説明する内容によって、次の用語を使用しています。

Sun	▶SunOS 4.x
Solaris	▶Solaris
Linux	▶Red Hat Linux、TurboLinux、VineLinux
HP	▶HP-UX
Mono	▶DocuPrint 201PS DocuPrint 280 DocuPrint 260/360 DocuPrint 400/250 DocuPrint 401 DocuCentre 230/280 DocuCentre 250/350/400 DocuCentre 251/351/401 DocuCentre 352/402 DocuCentre 450/550 DocuCentre 450E/550E/600 DocuCentre 505/605/705 DocuCentre 507/607/707 DocuCentre 559/659/719 Laser Press 2100PS Laser Press 4150/4150PS/4150Ⅱ/4150PSⅡ Laser Press 4160/4160Ⅱ/4161/4161Ⅱ Laser Press 4200/4300 Laser Press 4210/4410 Able 3321/3221/1321/1320/1220 Able 3405/3350/3351/3250/1405/1350/1351/1250/1251
Mono2	▶DocuPrint 205/255/305 DocuPrint 340A DocuPrint 350JM DocuPrint 405/505 DocuPrint 2060/3050 DocuPrint 3100/3000 DocuPrint 4050 DocuPrint 5060/4060 DocuCentre 185/155 DocuCentre 1085/1055 DocuCentre f285/f235/a285/a235 DocuCentre f1100/f900/a1100/a900 DocuCentre 9000 ApeosPort 450 I/350 I DocuCentre 450 I/350 I ApeosPort 750 I/650 I/550 I

DocuCentre 750 I/650 I/550 I
ApeosPort-II 4000/3000
DocuCentre-II 4000/3000
ApeosPort-II 7000/6000/5000
DocuCentre-II 7000/6000/5000
DocuCentre-III 3000/2000
ApeosPort-III 4000/3010
DocuCentre-III 4000/3010
ApeosPort-III 7000/6000/5000
DocuCentre-III 7000/6000/5000
DocuCentre-IV 3060/2060
ApeosPort-IV 4070/3070
DocuCentre-IV 4070/3070
ApeosPort-IV 7080/6080/5080
DocuCentre-IV 7080/6080/5080
4112/4127

注記 ▶ 正しく使っていただくための注意事項を記述しています。
手順を行う前に、お読みください。

参照 ▶ 参照項目を記述しています。

補足 ▶ 補足項目を記述しています。

② 本文中の「インターフェースボード」は、次のボードの総称です。

▶ Ethernet 10BASE5, 10BASE2, 10BASE-T, 100BASE-TX などの
インターフェースボード

③ 本文中では、次の記号を使用しています。

「 」 特定のプリンタ名やホスト名、メニューの選択項目、本書での参照箇所を表示します。

例： ここでは「lp」とします。

「1」を選択して、ネットワークプリンタを設定します。

Sun/Solaris/Linux：詳細は「2.4　リモートワークステーションでの操作（Sun/Linux)」と「2.5　リモートワークステーションでの操作（Solaris)」を参照してください。

HP-UX：詳細は、「3.3　論理プリンタからのプリント操作」を参照してください。

< > キーボードのキーを表示します。

例： <Return>キーを押します。

『 』 参照する他のマニュアルを表示します。

例： フィルター記述ファイルの内部形式は、『SunOS5.3Reference Manual Section 1M. System Administration Commands』の lpfilter 記述に準拠しています。

④ メッセージに対して選択を行う場合、次の例中の[y] のように、[ ] 内はデフォルト値を表しています。この場合、メッセージに対して<Return>キーを押すと、デフォルト値「y」が選択されます。デフォルト値を選択して<Return>キーを押した場合、例中の y のようにデフォルト値を少し太い文字で表記します。

例： output-printer-name is '4150PS' (y/n)[y] : **y**

⑤ キーボードから入力する文字は、次の例中の「**/usr/local/fxbin**」のように少し太い文字で表記します。この場合は特に断らない限り、最後に<Return>キーを押してください。

例： Enter directory name [/user/lib/fxbin] : **/usr/local/fxbin**

目次

第1章　概要

1.1　UNIX フィルターについて

この節では、UNIX フィルターの特長および使用環境について説明します。

1.1.1　UNIX Filterの特長

本 UNIX フィルターは、UNIX ワークステーションのファイルをプリンタに搭載された PostScript®（ポストスクリプト）言語に合致するよう変換出力するのに必要なユーティリティソフトウェアです。UNIX フィルターは、EUC テキストファイルや SunRaster イメージファイル（SunOS 4. x /Solaris のみ)、TIFF イメージファイル、XWD イメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換するソフトウェアを提供しています。また、プリンタ機能を使用して以下の出力を行うことができます。

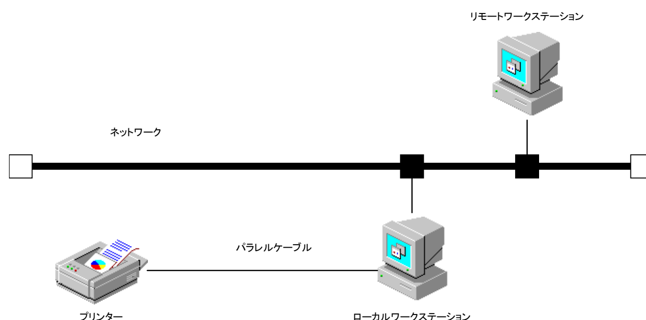
- 給紙指定印刷
- 排紙指定印刷
- 両面印刷（両面印刷対応機種のみ）

lpr コマンドで自動的に起動されるフィルター(SunOS 4.x/Linux)や、lp コマンドでフィルターを自動的に起動するためのフィルター記述ファイル(Solaris)または、インターフェースプログラム(HP-UX)により、プリンタ名を指定するだけで利用することができます。

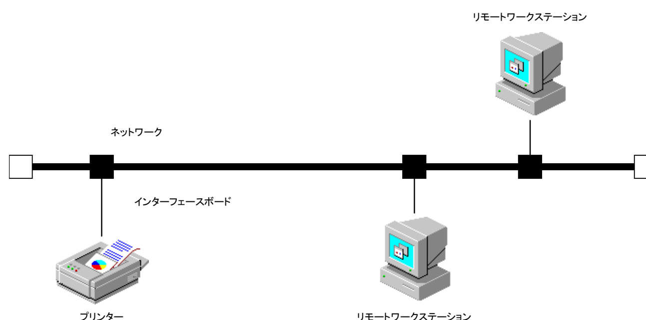
注記 ▶ 使用するプリンタの機種やその構成によっては、利用できないものがあります。

1.1.2　使用環境

プリンタとシリアルケーブルまたは、パラレルケーブルで接続されたワークステーション（以降、ローカルワークステーションと呼びます）およびネットワーク上のワークステーション（以降、リモートワークステーションと呼びます）から送られた EUC テキストファイルや SunRaster イメージファイル（Sun/Solaris のみ）、TIFF イメージファイル、XWD イメージファイルを、PostScript 言語プログラムに変換してプリンタから出力できます。



また、プリンタにインターフェースボードを装着してネットワークに直結した環境で使用することも可能です。



1.1.3　対象プリンタ

対象プリンタは次のとおりです。

- DocuPrint 201PS
- DocuPrint 280
- DocuPrint 260/360
- DocuPrint 400/250
- DocuPrint 401
- DocuCentre 230/280
- DocuCentre 250/350/400
- DocuCentre 251/351/401
- DocuCentre 352/402
- DocuCentre 450/550
- DocuCentre 450E/550E/600
- DocuCentre 505/506/605/606/705/706
- DocuCentre 508/507/608/607/708/707
- DocuCentre 559/659/719
- Laser Press 2100PS
- Laser Press 4150/4150PS/4150Ⅱ/4150PSⅡ
- Laser Press 4160/4160Ⅱ/4161/4161Ⅱ
- Laser Press 4200/4300
- Laser Press 4210/4410
- Able 3321/3221/1321/1320/1220
  （以降、Able Model-PR シリーズと呼びます。）
- Able 3405/3350/3351/3250/1405/1350/1351/1250/1251
  （以降、Able Model-PRⅡシリーズと呼びます。）
- DocuPrint 205/255/305
- DocuPrint 340A
- DocuPrint 350JM
- DocuPrint 405/505
- DocuPrint 2060/3050
- DocuPrint 3100/3000
- DocuPrint 4050
- DocuPrint 5060/4060
- DocuCentre 185/155
- DocuCentre 1085/1055
- DocuCentre f285/f235/a285/a235
- DocuCentre f1100/f900/a1100/a900
- DocuCentre 9000
- ApeosPort 450 I/350 I
- DocuCentre 450 I/350 I
- ApeosPort 750 I/650 I/550 I

- DocuCentre 750 I/650 I/550 I
- ApeosPort-II 4000/3000
- DocuCentre-II 4000/3000
- ApeosPort-II 7000/6000/5000
- DocuCentre-II 7000/6000/5000
- DocuCentre-III 3000/2000
- ApeosPort-III 4000/3010
- DocuCentre-III 4000/3010
- ApeosPort-III 7000/6000/5000
- DocuCentre-III 7000/6000/5000
- DocuCentre-IV 3060/2060
- ApeosPort-IV 4070/3070
- DocuCentre-IV 4070/3070
- ApeosPort-IV 7080/6080/5080
- DocuCentre-IV 7080/6080/5080
- 4112/4127

注記 ▸ Laser Press 2100PS /4150PS /4150PSⅡ/DocuPrint 201PS 以外の機種では、プリンタ本体にオプションの PostScript Kit が必要になります。

1.2　ご使用になる前に

UNIX フィルターをご使用になる前に次の点についてご確認ください。

1.2.1　操作パネルからの設定

ワークステーション側で設定を始める前に、『操作説明書』を参照してプリンタ本体側で次の設定を行ってください。

① 使用する接続ポートの状態を起動にします。（必須）
② ネットワークに直結して使用する場合は、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定します。（必須）
③ プリントモードを Auto または PostScript モードに設定します。（必須）
④ 使用環境に応じて、受信バッファメモリーのサイズを設定します。
⑤ TBCP フィルターの有効/無効が指定できるプリンタの場合は、有効に設定します。

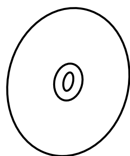
補足 ▶ プリンタによっては、この設定を行う必要ありません。詳しくはプリンタのマニュアルを参照してください。

1.2.2　梱包内容

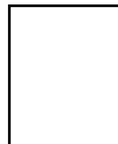
UNIX フィルターのパッケージには次のものが入っています。内容をご確認ください。

注記 ▶ Sun/Solaris 用の CD-ROM は、SunOS 4.X/Solaris 共用です。

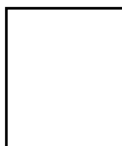
□ CD-ROM



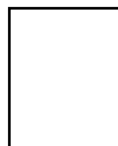
□ ソフトウェア使用許諾契約書



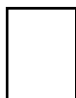
□CD-ROM 取扱いの手引き



□ 質問用紙



□ ユーザ登録書



万一、不足している場合や破損していた場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

第2章　インストール

2.1　インストールを始める前に

この節では、インストールを始める前に知っておいていただきたい事項について説明します。

2.1.1　インストールの前提条件

インストールの前提条件は次のとおりです。

- 対応 OS は、CD-ROM 取扱いの手引きに記載されている OS になります。
- ディスク容量は、インストール時の作業領域を含めて約 20MB の空き容量が必要です。
- スーパーユーザーになる必要があります。スーパーユーザーの権限を持っていない場合、ネットワーク管理者、システム管理者に設定を依頼してください。
- システムに出力プリンタが登録されていなければなりません。[HP-UX]
  出力プリンタは sam コマンド等を使用する事で登録することができます。
  詳しくは HP－UX 関連のマニュアルを参照してください。
- Laser Press 2100PS をローカルプリンタとして使用する場合は、パラレルポートを使用してください。（SunOS 4.x でご利用になる場合、動作は保証できません。）

2.1.2　インストールによって変更されるファイル（Sun/Linux）

UNIX フィルターをインストールすると、次のファイルが変更されます。

ディレクトリ	ファイル名
/etc	printcap

2.1.3　インストールによって選択するプリンタモデル

インストールスクリプトを起動した後、ご使用になるプリンタモデルを選択します。プリンタモデルと製品名との対応は、次のとおりです。

プリンタモデル	対象ハードウェア製品名
DocuPrint201	DocuPrint 201PS
DocuPrint280	DocuPrint 280
DocuPrint260	DocuPrint 260/360
DocuPrint400	DocuPrint 400/250
DocuPtint401	DocuPrint 401
DocuCentre230	DocuCentre 230/280
DocuCentre250	DocuCentre 250/350/400
DocuCentre251	DocuCentre 251/351/401
DocuCentre352	DocuCentre 352/402
DocuCentre450	DocuCentre 450/550 CP
DocuCentre450E	DocuCentre 450E/550E/600 CP
DocuCentre505	DocuCentre 505/605/705 CP
DocuCentre507	DocuCentre 507/607/707 CP
DocuCentre719	DocuCentre 719/659/559 CP
LaserPress2100	Laser Press 2100PS
LaserPress4150	Laser Press 4150PS/4150PSⅡ/4150/4150Ⅱ
LaserPress4160	Laser Press 4160/4160Ⅱ/4161/4161Ⅱ
LaserPress4200	Laser Press 4200/4300
LaserPress4210	Laser Press 4210/4410
AbleModelPR	Able 3321/3221/1321/1320/1220
AbleModelPR2	Able 3405/3350/3351/3250/ 1405/1350/1351/1250/1251
DocuPrint205	DocuPrint 205/255/305
DocuPrint340A	DocuPrint 340A
DocuPrint350JM	DocuPrint 350JM
DocuPrint505	DocuPrint 405/505
DocuPrint2060	DocuPrint 2060/3050
DocuPrint3100	DocuPrint 3100/3000
DocuPrint4050	DocuPrint 4050
DocuPrint5060	DocuPrint 5060/4060
DocuCentre185	DocuCentre 1085/1055/185/155
DocuCentref285	DocuCentre f285/f235/a285/a235
DocuCentref1100	DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000
ApeosPort450I	ApeosPort 450 I/350 I
DocuCentre450I	DocuCentre 450 I/350 I
ApeosPort750I	ApeosPort 750 I/650 I/550 I
DocuCentre750I	DocuCentre 750 I/650 I/550 I
ApeosPort24000	ApeosPort-II 4000/3000
DocuCentre24000	DocuCentre-II 4000/3000
ApeosPort27000	ApeosPort-II 7000/6000/5000
DocuCentre27000	DocuCentre-II 7000/6000/5000
DocuCentre33000	DocuCentre-III 3000/2000
ApeosPort34000	ApeosPort-III 4000/3010
DocuCentre34000	DocuCentre-III 4000/3010
ApeosPort37000	ApeosPort-III 7000/6000/5000
DocuCentre37000	DocuCentre-III 7000/6000/5000

DocuCentre43060	DocuCentre-IV 3060/2060
ApeosPort44070	ApeosPort-IV 4070/3070
DocuCentre44070	DocuCentre-IV 4070/3070
ApeosPort47080	ApeosPort-IV 7080/6080/5080
DocuCentre47080	DocuCentre-IV 7080/6080/5080
4112	4112/4127

2.1.4 インストールによって追加されるファイル

UNIX フィルターをインストールすると、次のファイルが追加されます。

[SunOS 4.x]（ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです）
Mono2 用の場合は 205 が付いた名前になります。

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	sunras2ps2	SunRaster 変換ユーティリティ
	sunras2g4	SunRaster 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
	ufptool*1	UNIX フィルタープリントツール
	Ufptool*1	UNIX フィルタープリントツールリソースファイル
/usr/local/fxbin/UFPDefault /usr/local/fxbin205/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/fxps /usr/lib/fxps205	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	ラスター出力フィルター
	fxpof	アウトプットフィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスター出力フィルター
	fxpif_A3	A3 を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A3	A3 を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A3	A3 を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A3	A3 を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpif_A4	A4 を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A4	A4 を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A4	A4 を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A4	A4 を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル

	string_from_printcap	/etc/printcap の内容を書き換えるためのファイル
	fxbanner.ps	バナー出力ヘッダファイル
/usr/lib/fxps /usr/lib/fxps205	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル
	fxbinpath*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/lib/fxps/UserDefault /usr/lib/fxps205/UserDefault	.fxpsdefault .fxpsdefault205	デフォルトコマンドオプションファイル
/usr/local/fxetc /usr/local/fxetc205	printcap.add	サンプル追加 printcap ファイル

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

[Solaris]（フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです）
Mono2 用の場合は 205 が付いた名前になります。

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	euc2ps2	テキスト変換フィルター
	sunras2ps2	SunRaster 変換フィルター
	sunras2g4	SunRaster 変換フィルター
	tiff2ps2	TIFF 変換フィルター
	tiff2g4	TIFF 変換フィルター
	xwd2ps2	XWD 変換フィルター
	xwd2g4	XWD 変換フィルター
	fxpif	給紙トレイ設定フィルター
	ufptool*1	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin/UFPDefault /usr/local/fxbin205/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/lp/postscript	posteuc posteuc205	euc2ps2 を呼び出すシンボリックリンクファイル
	postfxps postfxps205	fxpif を呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxbinpath*1 fxbinpath205*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/lib/lp/model	モデルインターフェースプログラム	モデルインターフェースプログラムの元となるファイル(登録時のプリンタモデル名で格納されています)
/etc/lp/interfaces	モデルインターフェースプログラム	モデルインターフェースプログラム(登録時のプリンタ名で格納されています)
/etc/lp/fd	posteuc.fd	euc2ps2 用フィルター記述ファイル

	posteuc205.fd	euc2ps2 用フィルター記述ファイル
	Fxpostio.fd	Fxpostio フィルター記述ファイル
	Fxpostio205.fd	Fxpostio フィルター記述ファイル
	Fxdownload.fd	download フィルター記述ファイル
	Fxdownload205.fd	download フィルター記述ファイル
/etc/lp/fd	FX2100.fd	Laser Press 2100 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FX4150.fd	Laser Press 4150 シリーズ用 fxpif フィルター記述ファイル
	FX4160.fd	Laser Press 4160 シリーズ用 fxpif フィルター記述ファイル
	FX4200.fd	Laser Press 4200/4300 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FX4210.fd	Laser Press 4210/4410 用 f xpif フィルター記述ファイル
	AblePR.fd	Able Model-PR シリーズ用 fxpif フィルター記述ファイル
	AblePR2.fd	Able Model-PR2 シリーズ用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC250.fd	DocuCentre 250/350/400 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC251.fd	DocuCentre 251/351/401 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC352.fd	DocuCentre 352/402 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC450.fd	DocuCentre 450/550 CP 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC450E.fd	DocuCentre 450E/550E/600 CP 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC505.fd	DocuCentre 505/605/705 CP 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC507.fd	DocuCentre 507/607/707 CP 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC230.fd	DocuCentre 230/280 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP400.fd	DocuPrint 400/250 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP401.fd	DocuPrint 401 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP201.fd	DocuPrint 201PS 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP280.fd	DocuPrint 280 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP260.fd	DocuPrint 260/360 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP205.fd	DocuPrint 205/255/305 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP340A.fd	DocuPrint 340A 用 fxpif フィルター記述ファイル

	FXDP350JM.fd	DocuPrint 350JM 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP505.fd	DocuPrint 405/505 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP2060.fd	DocuPrint 2060/3050 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP3100.fd	DocuPrint 3100/3000 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP4050.fd	DocuPrint 4050 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP5060.fd	DocuPrint 5060/4060 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC185.fd	DocuCentre 1085/1055/185/155 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDCf285.fd	DocuCentre f285/f235/a285/a235 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDCf1100.fd	DocuCentre f1100/f900/a1100/a900 用 DocuCentre 9000 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXAP450I.fd	ApeosPort 450 I/350 I 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC450I.fd	DocuCentre 450 I/350 I 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXAP750I.fd	ApeosPort 750 I/650 I/550 I 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC750I.fd	DocuCentre 750 I/650 I/550 I 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXAP24000.fd	ApeosPort-II 4000/3000 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC24000.fd	DocuCentre-II 4000/3000 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXAP27000.fd	ApeosPort-II 7000/6000/5000 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC27000.fd	DocuCentre-II 7000/6000/5000 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC33000.fd	DocuCentre-III 3000/2000 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXAP34000.fd	ApeosPort-III 4000/3010 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC34000.fd	DocuCentre-III 4000/3010 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXAP37000.fd	ApeosPort-III 7000/6000/5000 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC37000.fd	DocuCentre-III 7000/6000/5000 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDC43060.fd	DocuCentre-IV 3060/2060 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXAP44070.fd	ApeosPort-IV 4070/3070 用 fxpif フィルター記述ファイル

	FXDP44070.fd	DocuCentre-IV 4070/3070 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXAP47080.fd	ApeosPort-IV 7080/6080/5080 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FXDP47080.fd	DocuCentre-IV 7080/6080/5080 用 fxpif フィルター記述ファイル
	FX4112.fd	4112/4127 用 fxpif フィルター記述ファイル

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。また、UNIX フィルタープリントツールは Solaris 2.5 以降をご使用の場合のみインストールされます。

[Linux]（フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです）
Mono2 用の場合は 205 が付いた名前になります。

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
	ufptool*1	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin/UFPDefault /usr/local/fxbin205/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタプリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/X11R6/lib/X11/app-defaults	Ufptool*1	UNIX フィルタプリントツールリソースファイル
/usr/lib/fxps usr/lib/fxps205	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	XWD イメージ出力フィルター
	fxpof	アウトプットフィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスター出力フィルター
	fxpif_A3	A3 を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A3	A3 を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A3	A3 を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpg4f_A3	A3 を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpif_A4	A4 を使用する場合に fxpif フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpvf_A4	A4 を使用する場合に fxpvf フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxpof_A4	A4 を使用する場合に fxpof フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル

	fxpg4f_A4	A4 を使用する場合に fxpg4f フィルターを呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル
	string_from_printcap	/etc/printcap の内容を書き換えるためのファイル
	fxbanner.ps	バナー出力ヘッダファイル
	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル
	fxbinpath*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/lib/fxps/UserDefault /usr/lib/fxps205/UserDefault	.fxpsdefault	デフォルトコマンドオプションファイル
	.fxpsdefault205	デフォルトコマンドオプションファイル
	.userhomedir	ユーザーのホームディレクトリ設定ファイル
/usr/local/fxetc /usr/local/fxetc205	printcap.add	サンプル追加 printcap ファイル

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

［HP-UX］（フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです）
Mono2 用の場合は 205 が付いた名前になります。

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin /usr/local/fxbin205	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	ufptool*1	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin/UFPDefault /usr/local/fxbin205/UFPDefault	.UFPDefault*1	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/lp/postscript	fxbinpath*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
	fxbinpath205*1	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル
/usr/spool/lp/interface	モデルインターフェースプログラム	モデルインターフェースプログラム(登録時のモデルインターフェースプログラム名と論理プリンタ名の名前で格納されています)

*1) UNIX フィルタープリントツール(ufptool)を使用いただきますと、ウインドウ画面から UNIX フィルターの使用が可能となります。UNIX フィルタープリントツールの詳しい説明は、UNIX フィルタープリントツールの取扱説明書を参照してください。

2.1.5　Laser Press 2100PSを使用する場合（Sun/Solaris/Linux）

Laser Press 2100PS では、プリンタの各種設定または操作を定義する PostScript®ファイルを参照します。
インストールによって以下のファイルが/usr/local/fxbin/sample/2100PS ディレクトリに格納されます。

ファイル名	用途
default.ps	システムパラメータを初期化します。
diskinit.ps	オプション SCSI ハードディスクを初期化します。
et.ps	EtherTalk ゾーンを設定します。
nw.ps	NetWare のフレームタイプを設定します。
parallel.ps	パラレルポートのハンドシェークと通信プロトコルを設定します。
printername.ps	プリンタ名を設定します。
reboot.ps	プリンタを再起動させます。
systemfunc.ps	ジョブタイムアウト、ウエイトタイムアウト、スタートページの有無、エラーシート出力の有無、節電モードを設定します。
tcpip.ps	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウエイアドレスを設定します。

et.ps、nw.ps、parallel.ps、printername.ps、systemfunc.ps、tcpip.ps ファイルでは、使用する環境にあった編集を行い、プリンタに設定を行います。以下は、Ethertalk ゾーンに zone1 を設定するため、et.ps を編集し、プリンタに設定を行った例です。

① ワークステーション上から、/usr/local/fxbin/sample/2100PS/et.ps を開き、zone1 を設定するため、以下の箇所を編集します。下線部は修正した箇所です。

```
# cd /usr/local/fxbin/sample/2100PS
# vi et.ps
pop pop /ProcSet findresource begin
(zone1) setethertalkzone
```

プリンタに設定を行います。以上で設定は完了です。

[Sun /Solaris]

```
# cat et.ps > /dev/bpp0
```

[Linux]

```
# cat et.ps > /dev/lp1
```

[HP-UX]

```
# cat et.ps > /dev/c2t0d0_lp
```

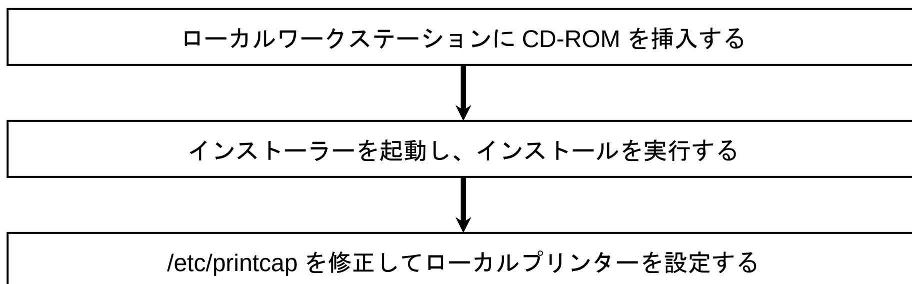
注記 ▶　デバイスファイル名は一例です。各ワークステーションのパラレルポートデバイスファイルを指定してください。

参照 ▶　PostScript®ファイルの詳しい使用方法は、/usr/local/fxbin/sample/2100PS 内の、readme ファイルを参照してください。

2.1.6　インストール手順概要

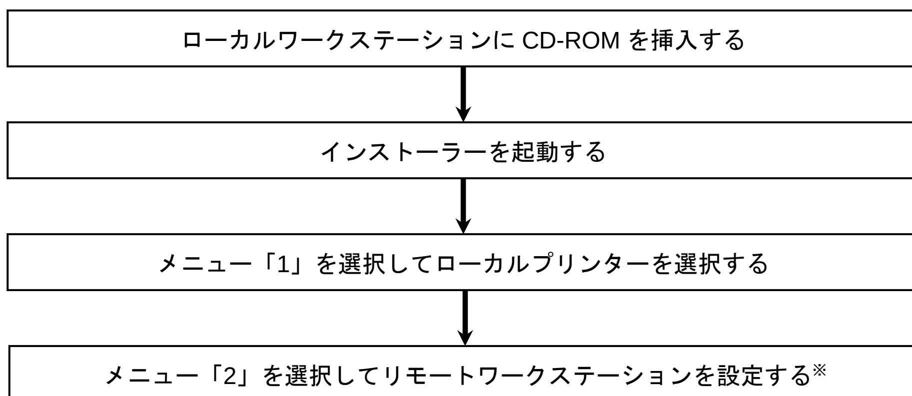
UNIX フィルターを UNIX ワークステーションにインストールする手順について説明します。
ローカルワークステーションからプリンタを使用する場合もリモートワークステーションからプリンタを使用する場合も、まずローカルワークステーション側での設定を行ってください。リモートワークステーションからプリンタを使用する場合は、ローカルワークステーション側での設定に引続き、リモートワークステーション側での設定を行ってください。

ローカルワークステーション（Sun/Linux）での操作手順



参照 ▸　詳細は「2.2　ローカルワークステーションでの操作（Sun/Linux）」を参照してください。

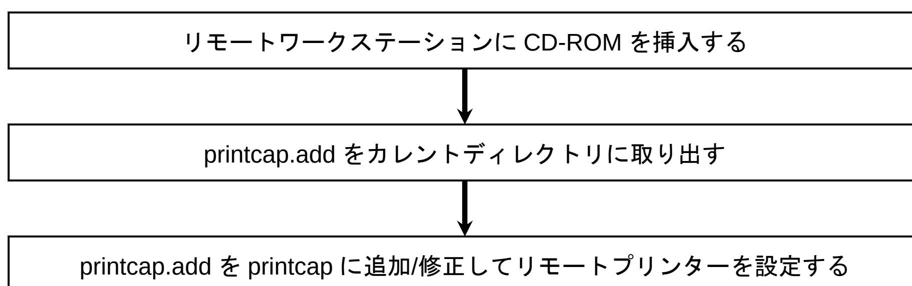
ローカルワークステーション（Solaris）での操作手順



※ ： リモートワークステーションからプリンタを使用する場合のみ必要な操作です。

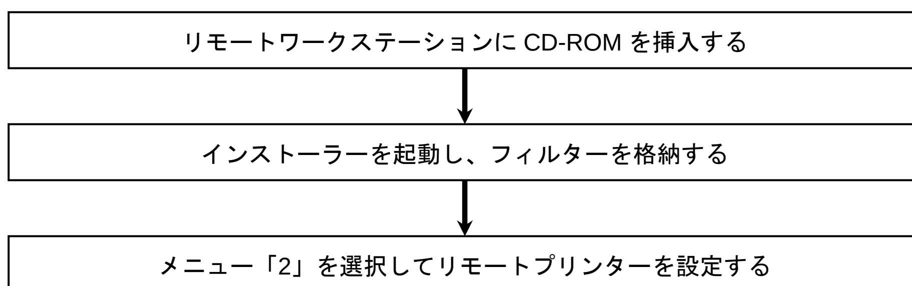
参照 ▸　詳細は「2.3　ローカルワークステーションでの操作（Solaris）」を参照してください。

リモートワークステーション（Sun/Linux）での操作手順



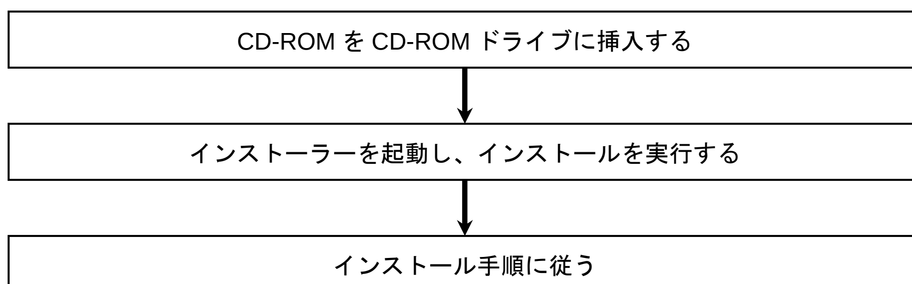
参照 ▶ 詳細は「2.4　リモートワークステーションでの操作（Sun/Linux)」を参照してください。

リモートワークステーション（Solaris）での操作手順



参照 ▶ 詳細は「2.5　リモートワークステーションでの操作（Solaris)」を参照してください。

リモートワークステーション（HP-UX）での操作手順
（ローカルワークステーションからプリンタを使用する場合もリモートワークステーションからプリンタを使用する場合も手順は同様です。）

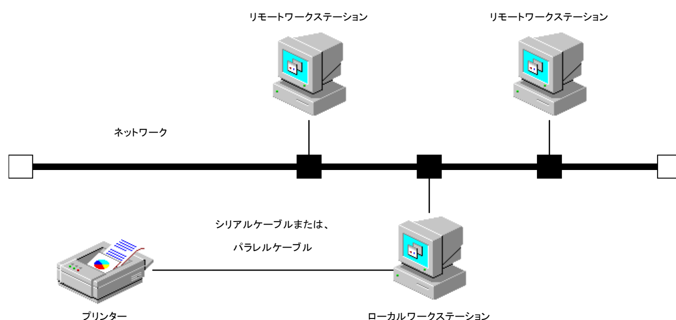


参照 ▶ 詳細は「2.6　インストールでの操作手順（HP-UX)」を参照してください。

2.2　ローカルワークステーションでの操作（Sun/Linux）

この節では、ローカルワークステーション（SunOS 4.x/Linux）での操作手順を説明します。下図は、プリンタをシリアルケーブルまたはパラレルケーブルを用いて接続し、ローカルワークステーションをプリントサーバーとして使用した環境設定の例です。

注記 ▸　この節では、プリンタ側で通信パラメーターがデフォルト値に設定されていることを前提に説明しています。デフォルト値以外の場合は、必要に応じて SunOS/Linux 関連マニュアルを参照してください。



2.2.1　ソフトウェアのインストール

①CD-ROM をローカルワークステーションの CD-ROM ドライブに挿入します。

②スーパーユーザーになり、CD-ROM からインストールに必要なファイルを取り出します。

注記 ▶　スーパーユーザーの権限を持っていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

[SunOS 4.x]

```
# mount -t hsfs -o ro /dev/sr0 /cdrom
# cd /tmp
# cp /cdrom/UXFILTER.tar .
# tar xvf ./UXFILTER.tar
```

[Linux]

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
# cd /tmp
# cp /mnt/cdrom/UXFILTER.tar .
# tar xvf ./UXFILTER.tar
```

以下のファイルが取り出されます。

- README
- install.sh
- ufilter.tar
- ufilter2.tar

③「./install.sh」を入力して、インストーラーを起動します。

```
# ./install.sh
```

④「2.1.3　インストールによって選択するプリンタモデル」から、ご使用になるプリンタに対応するプリンタモデルを選択します。ここでは、「2」を選択することにします。

```
Printer Model?
    1. Laser Press 2100PS
    2. Laser Press 4150PS/4150PSII/4150/4150II
    3. Laser Press 4160/4160II/4161/4161II
    4. Laser Press 4200/4300
    5. Laser Press 4210/4410
    6. Able Model PR
    7. Able Model PRII
    8. DocuCentre 250/350/400
    9. DocuCentre 251/351/401
    10. DocuCentre 352/402
    11. DocuCentre 450/550 CP
    12. DocuCentre 450E/550E/600 CP
    13. DocuCentre 505/605/705 CP
    14. DocuCentre 507/607/707 CP
    15. DocuCentre 719/659/559 CP
    16. DocuCentre 230/280
    17. DocuPrint 400/250
    18. DocuPrint 401
    19. DocuPrint 201PS
    20. DocuPrint 280
    21. DocuPrint 260/360
    22. DocuPrint 205/255/305
    23. DocuPrint 340A
    24. DocuPrint 350JM
    25. DocuPrint 405/505
    26. DocuPrint 2060/3050
    27. DocuPrint 3100/3000
    28. DocuPrint 4050
    29. DocuPrint 5060/4060
    30. DocuCentre 1085/1055/185/155
    31. DocuCentre f285/f235/a285/a235
    32. DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000
    33. ApeosPort 450 I/350 I
    34. DocuCentre 450 I/350 I
    35. ApeosPort 750 I/650 I/550 I
    36. DocuCentre 750 I/650 I/550 I
    37. ApeosPort-II 4000/3000
    38. DocuCentre-II 4000/3000
    39. ApeosPort-II 7000/6000/5000
```

```
    40. DocuCentre-II 7000/6000/5000
    41. DocuCentre-III 3000/2000
    42. ApeosPort-III 4000/3010
    43. DocuCentre-III 4000/3010
    44. ApeosPort-III 7000/6000/5000
    45. DocuCentre-III 7000/6000/5000
    46. DocuCentre-IV 3060/2060
    47. ApeosPort-IV 4070/3070
    48. DocuCentre-IV 4070/3070
    49. ApeosPort-IV 7080/6080/5080
    50. DocuCentre-IV 7080/6080/5080
    51. 4112/4127
    52. Exit
Enter Process No
(1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24/25
/26/27/28/29/30/31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41/42/43/44/45/46/47
/48/49/50/51/52)? : 2
```

⑤ フィルターをインストールするか尋ねてきます。「y」を入力します。

```
Install Filter? (y/n) [y] : y
```

補足 ▸ メッセージ中に[ ] がある場合、[ ] 内はデフォルト値を表しています。この場合、メッセージに対して<Return>キーを押すと、デフォルト値が選択されます。

⑥ フィルターファイルをインストールするディレクトリを指定します。「/usr/lib/fxps」にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxps」に変更することにします。また、デフォルトディレクトリを選択する場合は、「/usr/lib」ディレクトリは作成されていなくていけません。
（選択機種によってデフォルトのディレクトリが、「/usr/lib/fxps205」になります。）

```
Enter Library directory name [/usr/lib/fxps] : /home/fxps
```

⑦ インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory  is  '/home/fxps'(y/n)[y] : y
```

⑧ ユーティリティをインストールするディレクトリを指定します。「/usr/local/fxbin」にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxbin」に変更することにします。
（選択機種によってデフォルトのディレクトリが、「/usr/local/fxbin205」になります。）

```
Enter Binary directory name [/usr/local/fxbin] : /home/fxbin
```

⑨ インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory  is  '/home/fxbin'(y/n)[y]  : y
```

⑩　printcap.add をインストールするディレクトリを指定します。/usr/local/fxetc にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxetc」に変更することにします。
（選択機種によってデフォルトのディレクトリが、「/usr/local/fxetc205」になります。）

```
Enter etc directory name[/usr/local/fxetc] : /home/fxetc
```

⑪　インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory is '/home/fxetc'(y/n)[y]  : y
```

ソフトウェアがインストールされます。

[SunOS 4.x]

```
x  euc2ps2.z, 152691 bytes, 299 tape blocks
x  fxoption.z, 675 bytes, 2 tape blocks
x  sunras2ps2.z, 149244 bytes, 292 tape blocks
x  fxbanner.ps.z, 1454 bytes, 3 tape blocks
x  fxoption_exec.z, 15564 bytes, 31 tape blocks
x  fxpif.z, 153600 bytes, 300 tape blocks
x  fxpof.z,141243 bytes, 276 tape blocks
x  fxpvf.z, 150079 bytes, 294 tape blocks
x  .fxpsdefault.z, 219 bytes, 1 tape blocks
x  printcap.add.z, 977 bytes, 2 tape blocks
```

[Linux]

```
euc2ps2.z
fxoption.z
xwd2ps2.z
fxbanner.ps.z
fxoption_exec.z
fxpif.z
fxpof.z
fxpvf.z
.fxpsdefault.z
printcap.add.z
```

printcap ファイルにひな形（サンプル）の記述が追加されます。

```
***  Editing  LaserPress4150  Environment  files.  ***
/etc/printcap ... done
```

参照 ▶ プリンタにインターフェースボードを装着して、ネットワークにプリンタを接続する場合の設定方法は、「付録 A.1　サンプルスクリプトを使用する場合」を参照してください。

オリジナルの printcap は、インストーラーを起動したディレクトリの SAVED ディレクトリに保存されます。/tmp でインストーラーを起動した場合は、次のメッセージが表示されます。

```
/etc/printcap
Original  files  is  saved  in  '/tmp/SAVED'.

done.
```

これでソフトウェアのインストールは終了です。

2.2.2　インストールによる/etc/printcapの追加

インストール後の/etc/printcap には次のような記述が追加されています。
(Mono2 用の場合、fxps の箇所は、fxps205 となります。)

注記 ▶ Linux（LPRng）の場合は別紙の設定をご覧ください。

```
##Typical  local  printer  entry.
#LBP|Laser  Press  PS|No  depends  on  TRAY  and  PAPER:¥
# :lp=/dev/ttya:sd=/var/spool/lbp:¥
# :br#9600:ms=-parity,ixon,ixany,-cstopb:¥
# :rw:fc#0000374:fs#0000003:XC#0:XS#0040040:¥
# :lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:¥
# :of=/usr/lib/fxps/fxpof:¥
# :if=/usr/lib/fxps/fxpif:¥
# :vf=/usr/lib/fxps/fxpvf:¥
# :sb:sf:mx#0:
#A4|Laser  Press  PS-A4|Select  A4¥
# :lp=/dev/ttya:sd=/var/spool/a4lpd:¥
# :br#9600:ms=-parity,ixon,ixany,-cstopb:¥
# :rw:fc#0000374:fs#0000003:XC#0:XS#0040040:¥
# :lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:¥
# :of=/usr/lib/fxps/fxpof_A4:¥
# :if=/usr/lib/fxps/fxpif_A4:¥
# :vf=/usr/lib/fxps/fxpvf_A4:¥
# :sb:sf:mx#0:
#A3|Laser  Press  PS-A3|Select  A3:¥
# :lp=/dev/ttya:sd=/var/spool/a3lpd:¥
# :br#9600:ms=-parity,ixon,ixany,-cstopb:¥
# :rw:fc#0000374:fs#0000003:XC#0:XS#0040040:¥
# :lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:¥
# :of=/usr/lib/fxps/fxpof_A3:¥
# :if=/usr/lib/fxps/fxpif_A3:¥
# :vf=/usr/lib/fxps/fxpvf_A3:¥
# :sb:sf:mx#0:
##Typical  remote  printer  entry.
#Symphony_LBP|Remote Laser Press PS LBP:¥
# :lp=:rp=LBP:rm=symphony:sd=/var/spool/rlbp:¥
# :lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
#Symphony_A4|Remote Laser Press PS-A4:¥
# :lp=:rp=A4:rm=symphony:sd=/var/spool/ra4lpd:¥
# :lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
```

```
#Symphony_A3|Remote Laser Press PS-A3:¥
# :lp=:rp=A3:rm=symphony:sd=/var/spool/ra3lpd:¥
# :lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
##Sample  entry  for  direct  connection  via  network
#net_LBT|RemoteLaserPress|No  depends  on  TRAY  and  PAPER:¥
# :lp=/dev/null:sd=/var/spool/lbp:¥
# :lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:¥
# :of=/usr/lib/fxps/fxpof:¥
# :if=/usr/lib/fxps/fxpif_sample.sh:¥
# :vf=/usr/lib/fxps/fxpvf:¥
# :sb:sf:mx#0:
#RLP|RemoteLaserPress|No  depends  on  TRAY  and  PAPER:¥
# :lp=:rp=lp:rm=laserpress:sd=/var/spool/rlbp:¥
# :lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
```

2.2.3　プリンタの設定

/etc/printcap に追加されたエントリーを使って、ローカルプリンタの設定を行います。ここではプリンタ名「A4」を設定する場合を例に説明します。

注記 ▶ Linux（LPRng）の場合は別紙の設定をご覧ください。

① スーパーユーザーになり、/etc/printcap の「Typical local printer entry.」以下の「A4」プリンタエントリー部分のコメントアウト「#」を取ります。

```
A4|Laser Press PS-A4|Select A4:¥
  :lp=/dev/ttya:sd=/var/spool/a4lpd:¥
  :br#9600:ms=-parity,ixon,ixany,-cstopb:¥
  :rw:fc#0000374:fs#0000003:XC#0:XS#0040040:¥
  :lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:¥
  :of=/usr/lib/fxps/fxpof_A4:¥
  :if=/usr/lib/fxps/fxpif_A4:¥
  :vf=/usr/lib/fxps/fxpvf_A4:¥
  :sb:sf:mx#0:
```

補足 ▶ 必要に応じて、デフォルトプリンタ lp に対するエントリーを「lp|A4|Laser Press PS-A4|Select A4」のように追加してください。

注記 ▶ スプールディレクトリは、十分余裕のあるファイルシステムに作成してください。スプールディレクトリの容量が足りないと、大きなファイルのプリントができない場合があります。

注記 ▶ エラーログファイル「/usr/adm/lpd-errs」がない場合は空のファイルを作成してください。

Laser Press 2100PS をお使いの場合は、printcap-2100.add の内容が printcap に追加されます。同様に、プリンタエントリー部分のコメントアウト「#」を取ります。

```
A4|Laser Press PS-A4|Select A4:¥
  :lp=/dev/bpp0:sd=/var/spool/a4lpd:¥
  :lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:¥
  :of=/usr/lib/fxps/fxpof_A4:¥
  :if=/usr/lib/fxps/fxpif_A4:¥
  :vf=/usr/lib/fxps/fxpvf_A4:¥
  :sb:sf:mx#0:
```

② プリンタエントリーで指定したスプールディレクトリを作成し、オーナー、パーミッションを変更します。

```
# cd /var/spool
# mkdir a41pd
# chown daemon.daemon a41pd
# chmod 755 a41pd
```

③　プリンタエントリーで指定したエラーログファイルを作成します。

```
# cd /usr/adm; touch lpd-errs
# chmod 644 lpd-errs
```

注記 ▶　ディレクトリが存在しない場合は作成してください。

これでローカルプリンタの設定は終了です。

2.2.4　複数のプリンタを設定する場合

「2.2.3　プリンタの設定」では、「A4」プリンタのみ設定した場合を説明しました。複数のプリンタを設定する場合、各プリンタに対してスプールディレクトリを作成する必要があります。複数のプリンタに対してスプールディレクトリを一度に作成する場合は、次のようにすると便利です。

注記 ▸　Linux（LPRng）の場合は別紙の設定をご覧ください。

/bin/sh の場合

[SunOS 4.x /Linux]

```
# cd /var/spool
# for i in lbp a41pd a31pd
> do
> mkdir $i;chown daemon.daemon $i;chmod 755 $i
> done
#
```

/bin/csh の場合

[SunOS 4.x]

```
# foreach i (lbp a41pd a31pd)
? mkdir $i;chown daemon. daemon $i;chmod 755 $i
? end
#
```

[Linux]（BSD LPR）

```
# foreach i (lbp a41pd a31pd)
foreach? mkdir $i;chown daemon. daemon $i;chmod 755 $i
foreach? end
#
```

2.2.5　printcapをカスタマイズする場合

「2.2.3　プリンタの設定」では、プリンタ側の通信パラメーターの設定がデフォルト値で、インストールによって/etc/printcap に追加されているデフォルトのエントリーをそのまま使用した場合の設定方法を説明しました。プリンタ側の通信パラメーターの設定がデフォルト値以外の場合や、プリンタ名、接続ポート、スプールディレクトリ名を任意のものにしたい場合は、次の下線部分を変更してください。ただし下線部以外は編集しないでください。
(Mono2 用の場合、fxps の箇所は、fxps205 となります。)

注記 ▸ Linux（LPRng）の場合は別紙の設定をご覧ください。

[SunOS 4.x]

```
A4|Laser Press PS-A4|Select A4:¥
  :lp=/dev/ttya:sd=/var/spool/a4lpd:¥
  :br#9600:ms=-parity,ixon,ixany,-cstopb:¥
  :rw:fc#0000374:fs#0000003:XC#0:XS#0040040:¥
  :lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:¥
  :of=/usr/lib/fxps/fxpof_A4:¥
  :if=/usr/lib/fxps/fxpif_A4:¥
  :vf=/usr/lib/fxps/fxpvf_A4:¥
  :sb:sf:mx#0:
```

[Linux]（BSD LPR）

```
A4|Laser Press PS-A4|Select A4:¥
  :lp=/dev/ttyS1:sd=/var/spool/a4lpd:¥
  :br#9600:ms=-parity,ixon,ixany,-cstopb:¥
  :rw:fc#0000374:fs#0000003:XC#0:XS#0040040:¥
  :lf=/usr/adm/lpd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:¥
  :of=/usr/lib/fxps/fxpof_A4:¥
  :if=/usr/lib/fxps/fxpif_A4:¥
  :vf=/usr/lib/fxps/fxpvf_A4:¥
  :sb:sf:mx#0:
```

補足 ▸ /etc/printcap の最初のフィールドにはプリンタ名を記述します。プリンタ名を複数指定する場合には、"|"で区切ります。

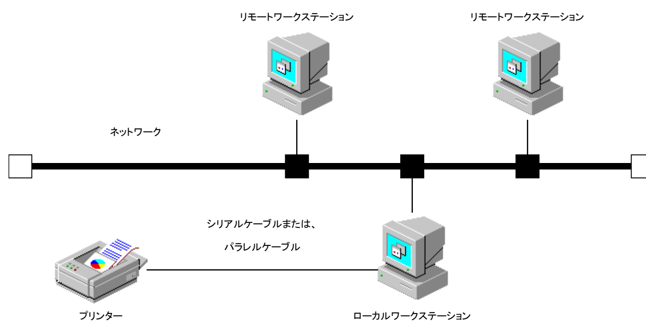
補足 ▸ 接続ポートは「lp=接続ポートデバイスファイル」で指定します。

補足 ▸ スプールディレクトリは「sd=作成したディレクトリの絶対パス」で指定します。ここで指定指定したディレクトリはプリンタを使用する前に作成して、オーナー名およびグループ名をdaemon、パーミッションを 755 に変更しておく必要があります。

2.3　ローカルワークステーションでの操作（Solaris）

この節では、ローカルワークステーション（Solaris）での操作手順を説明します。下図は、プリンタをシリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いて接続し、ローカルワークステーションをプリントサーバーとして使用した例です。

注記 ▸　この節では、プリンタ側で通信パラメーターがデフォルト値に設定されていることを前提に説明しています。デフォルト値以外の場合は、必要に応じて SunOS 関連マニュアルを参照してください。



2.3.1　インストール/プリンタの設定

①　CD-ROM をローカルワークステーションの CD-ROM ドライブに挿入します。

②　環境変数 LANG の設定を行います。

/bin/csh の場合

```
setenv LANG C
```

/bin/sh の場合

```
LANG=C;export LANG
```

③　スーパーユーザーになり、CD-ROM からインストール用スクリプトを取り出します。

注記 ▶　スーパーユーザーの権限をもっていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

```
# cd /tmp
# cp /cdrom/cdrom0/UXFILTER.tar .
# tar xvf ./UXFILTER.tar
```

以下のファイルが取り出されます。

- README
- install.sh
- ufilter.tar
- ufilter2.tar

④　「./install.sh」を入力して、インストーラーを起動します。

```
# ./install.sh
```

⑤　「2.1.3　インストールによって選択するプリンタモデル」から、ご使用になるプリンタに対応するプリンタモデルを選択します。ここでは、「7」を選択することにします。

```
Printer Model?
   1. Laser Press 2100PS
   2. Laser Press 4150PS/4150PSII/4150/4150II
   3. Laser Press 4160/4160II/4161/4161II
   4. Laser Press 4200/4300
   5. Laser Press 4210/4410
   6. Able Model PR
   7. Able Model PRII
   8. DocuCentre 250/350/400
   9. DocuCentre 251/351/401
   10. DocuCentre 352/402
   11. DocuCentre 450/550 CP
   12. DocuCentre 450E/550E/600 CP
   13. DocuCentre 505/605/705 CP
   14. DocuCentre 507/607/707 CP
   15. DocuCentre 719/659/559 CP
   16. DocuCentre 230/280
   17. DocuPrint 400/250
   18. DocuPrint 401
   19. DocuPrint 201PS
   20. DocuPrint 280
   21. DocuPrint 260/360
   22. DocuPrint 205/255/305
   23. DocuPrint 340A
   24. DocuPrint 350JM
   25. DocuPrint 405/505
   26. DocuPrint 2060/3050
   27. DocuPrint 3100/3000
   28. DocuPrint 4050
   29. DocuPrint 5060/4060
   30. DocuCentre 1085/1055/185/155
   31. DocuCentre f285/f235/a285/a235
   32. DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000
   33. ApeosPort 450 I/350 I
   34. DocuCentre 450 I/350 I
   35. ApeosPort 750 I/650 I/550 I
   36. DocuCentre 750 I/650 I/550 I
   37. ApeosPort-II 4000/3000
   38. DocuCentre-II 4000/3000
   39. ApeosPort-II 7000/6000/5000
```

```
   40. DocuCentre-II 7000/6000/5000
   41. DocuCentre-III 3000/2000
   42. ApeosPort-III 4000/3010
   43. DocuCentre-III 4000/3010
   44. ApeosPort-III 7000/6000/5000
   45. DocuCentre-III 7000/6000/5000
   46. DocuCentre-IV 3060/2060
   47. ApeosPort-IV 4070/3070
   48. DocuCentre-IV 4070/3070
   49. ApeosPort-IV 7080/6080/5080
   50. DocuCentre-IV 7080/6080/5080
   51. 4112/4127
   52. Exit
Enter Process No
(1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24/25
/26/27/28/29/30/31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41/42/43/44/45/46/47
/48/49/50/51/52)? : 7
```

⑥　次のようなメニューが表示されます。「1」を選択して、ローカルプリンタの設定を行います。(⑤で選択したプリンタモデル名が表示されます。)

```
Solaris Installation for AbleModelPR2
  1. Set Local Printer
  2. Set Remote Printer
Enter Process No (1/2)? : 1
```

⑦　接続ポートのデバイス名を入力します。ここでは、シリアルポート A を使用することにします。

```
Enter port-device-name? [/dev/term/a] : /dev/term/a
```

注記 ▸ Laser Press 2100PS を使用する場合は、/dev/bpp0 等のパラレルポートを入力してください。

注記 ▸ デバイスファイル名は一例です。各ワークステーションの接続ポートのデバイスファイルを指定してください。

補足 ▸ メッセージ中に[ ] がある場合、[ ] 内はデフォルト値を表しています。この場合メッセージに対して<Return>キーのみを入力すると、デフォルト値が選択されます。

⑧　プリンタ名を入力します。ここでは「AbleModelPR2」を登録することにします。

```
Enter printer-name? [AbleModelPR2] : AbleModelPR2
Printer-name is 'AbleModelPR2' (y/n)[y] : y
```

⑨　ユーティリティをインストールするディレクトリを指定します。「/usr/local/fxbin」にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここ

ではディレクトリを「/home/fxbin」に変更することにします。また、デフォルトディレクトリを選択する場合は、「/usr/local」ディレクトリは作成されていなくていけません。
（選択機種によってデフォルトのディレクトリが、「/usr/local/fxbin205」になります。）

```
Enter Binary directory name [/usr/local/fxbin] : /home/fxbin
```

⑩　インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory is '/home/fxbin'(y/n)[y] : y
```

ソフトウェアがインストールされます。

```
x euc2ps25.z, 21068 bytes, 42 tape blocks
x fxpif5.z, 22518 bytes, 44 tape blocks
x sunras2ps25.z, 18850 bytes, 37 tape blocks
x FX4150.fd.z, 398 bytes, 1 tape blocks
x Fxdownload.fd.z, 221 bytes, 1 tape blocks
x Fxpostio.fd.z, 250 bytes, 1 tape blocks
x posteuc.z, 321 bytes, 1 tape blocks
```

⑪　フィルターの再登録をします。システムにすでに登録されている各フィルターについて、一度削除して再登録するか尋ねてきます。フィルターの再登録を行う場合は「y」を、再登録を行わない場合は「n」を入力します。ここでは、すべてのフィルターを再登録することにします。

```
Do you want remove 'download'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postio'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postior'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postplot'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postreverse'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postteck'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'dpost'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postdaily'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postdmd'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postprint'filter and re-install? (y/n)[y] : y
Do you want remove 'postmd'filter and re-install? (y/n)[y] : y
```

参照 ▸　各フィルターについての詳細は、SunOS 関連マニュアルを参照してください。

注記 ▸　Solaris で提供されている Administration Tool (admintool)から起動されている PrintManager を利用した場合、プリンタの設定が変更されることがあります。"lpstat -p プリンタ名 -l"と入力して、"Content types: postscript"となった場合は、lpadmin コマンドによりプリンタを削除して再インストールする必要があります。

⑫　プリンタポートモニターを設定します。「ｙ」を入力すると、TCP ポートが追加され、それにプリントサービスが追加されます。

```
Do You want set Port-Monitor?(y/n)[y] : y
```

注記 ▶　Solaris 2.6 以降の OS の場合は、この質問は行われません。

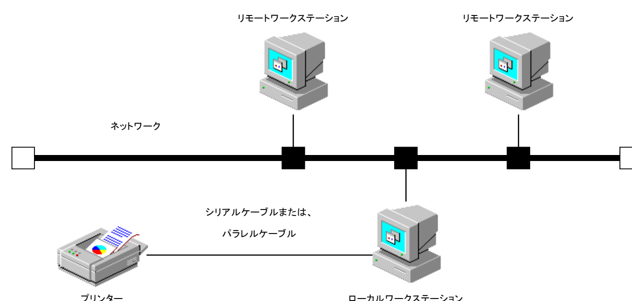
これでリモートワークステーションからプリンタを使用する場合のローカルワークステーション側の設定は終了です。

2.4　リモートワークステーションでの操作（Sun/Linux）

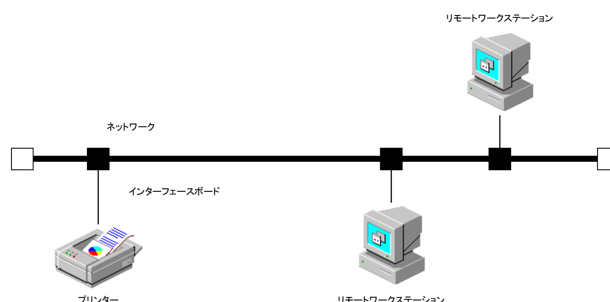
この節では、リモートワークステーション（SunOS 4.x/Linux）での操作手順を説明します。
リモートワークステーションからプリンタを使用する場合、ローカルワークステーション側とリモートワークステーション側での設定が必要です。リモートワークステーション側で設定を始める前に、ローカルワークステーション側で設定ができているかご確認ください。

参照 ▶ ローカルワークステーション側の設定方法は、OS が SunOS 4.x または Linux の場合「2.2　ローカルワークステーションでの操作（Sun/Linux）」を、Solaris の場合「2.3　ローカルワークステーションでの操作（Solaris)」を、HP-UX の場合「2.6　インストールでの操作手順」を参照してください。

下図は、プリンタにシリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いてローカルワークステーションと接続し、リモートワークステーションから印刷指示をする場合の例です。



下図は、プリンタにインターフェースボードを装着して直接ネットワークに接続した場合の例です。



参照 ▶ ネットワークに直接接続されたプリンタの設定方法は、「付録 A　ネットワーク接続したプリンタに出力する場合」を参照してください。

2.4.1　プリンタの設定

注記 ▶　Linux（LPRng）の場合は別紙の設定をご覧ください。

① CD-ROM をリモートワークステーションの CD-ROM ドライブに挿入します。
② スーパーユーザーになり、printcap.add をカレントディレクトリに取り出します。

[SunOS 4.x]

```
# mount -t hsfs -o ro /dev/sr0 /cdrom
# cd /tmp
# cp /cdrom/UXFILTER.tar
# tar xvf ./UXFILTER.tar ufilter.tar
# tar xvf ./ufilter.tar printcap.add.Z
# uncompress ./printcap.add.Z
```

Laser Press 2100PS を使用する場合は、printcap-2100.add を指定します。

```
# mount -t hsfs -o ro /dev/sr0 /cdrom
# cd /tmp
# cp /cdrom/UXFILTER.tar
# tar xvf ./UXFILTER.tar ufilter.tar
# tar xvf ./ufilter.tar printcap.add.Z
# tar xvf ./ufilter.tar printcap-2100.add.Z
# uncompress ./printcap.add.Z ./printcap-2100.add.Z
```

[Linux]

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
# cd /tmp
# cp /mnt/cdrom/UXFILTERAP.tar .
# tar xvf ./UXFILTER.tar ufilter.tar
# tar xvf ./ufilter.tar printcap.add.Z
# uncompress ./printcap.add.Z
```

Laser Press 2100PS を使用する場合は、printcap-2100.add を指定します。

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
# cd /tmp
# cp /mnt/cdrom/UXFILTER.tar .
# tar xvf ./UXFILTER.tar ufilter.tar
# tar xvf ./ufilter.tar printcap.add.Z
# tar xvf ./ufilter.tar printcap-2100.add.Z
# uncompress ./printcap.add.Z ./printcap-2100.add.Z
```

注記 ▶　スーパーユーザーの権限をもっていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

補足 ▶ リモートワークステーション側でプリントユーティリティを使用する場合は、「2.2　ローカルワークステーションでの操作（Sun/Linux）」を参照して、プリントユーティリティをインストールしてください。

③ printcap.add を/etc/printcap に追加した後、「Typical remote printer entry.」以下の部分のうち使用するプリンタのコメントアウト「#」を取り、リモートプリンタの設定を行います。下線部の「Symphony」および「symphony」の部分は、プリンタに接続しているワークステーション名に合わせて変更してください。ここでは、すべてのエントリーを有効にすることにします。

```
Symphony_LBP|Remote Laser Press PS LBP:¥
  :lp=:rp=LBP:rm=symphony:sd=/var/spool/rlbp:¥
  :lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
Symphony_A4|Remote Laser Press PS-A4:¥
  :lp=:rp=A4:rm=symphony:sd=/var/spool/ra4lpd:¥
  :lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
Symphony_A3|Remote Laser Press PS-A3:¥
  :lp=:rp=A3:rm=symphony:sd=/var/spool/ra3lpd:¥
  :lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:¥
```

補足 ▶ 必要に応じて、デフォルトプリンタ lp に対するエントリーを「lp|Symphony-A4|Remote Laser Press-A4」のように追加してください。

注記 ▶ スプールディレクトリは、十分余裕のあるファイルシステムに作成してください。スプールディレクトリの容量が足りないと、大きなファイルのプリントができない場合があります。

▶ エラーログファイル「/usr/adm/lpd-errs」がない場合は作成してください。作成方法は手順 5. を参照してください。

④ 各プリンタエントリーで指定しているスプールディレクトリを作成し、オーナー、パーミッションを変更します。下記はシェルが/bin/sh の場合です。

```
# cd /usr/spool
# for i in rlbp ra41pd ra31pd
> do
> mkdir $i; chown daemon.daemon $i; chmod 755 $i
> done
#
```

補足 ▶ /bin/csh の場合には、foreach 以下は次のようになります。

[SunOS 4.x]

```
# foreach i(rlbp ra4lpd ra3lpd)
? mkdir $i; chown daemon.daemon $i; chmod 755 $i
? end
```

[Linux]（BSD LPR）

```
# foreach i(rlbp ra4lpd ra3lpd)
foreach? mkdir $i; chown daemon.daemon $i; chmod 755 $I
foreach? end
```

⑤　各プリンタエントリーで指定しているエラーログファイルを作成します。

```
# cd /usr/adm; touch rlpd-errs
# chmod 644 rlpd-errs
```

注記 ▶ ディレクトリが無い場合作成してください。

これでリモートワークステーションでの設定は終了です。

2.4.2　printcapをカスタマイズする場合

注記 ▶ Linux（LPRng）の場合は別紙の設定をご覧ください。

「2.4.1　プリンタの設定」では、インストールによって/etc/printcap に追加されているデフォルトのエントリーをそのまま使用しました。プリンタ名やスプールディレクトリ名を任意のものにしたい場合には、次の下線部分を変更してください。ただし、下線部以外は編集しないでください。

```
Symphony A3|Remote Laser Press PS-A3:¥
  :lp=:rp=A3:rm=symphony:sd=/var/spool/ra3lpd:¥
  :lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
```

補足 ▶ /etc/printcap の最初のフィールドにはプリンタ名を記述します。プリンタ名を複数指定する場合は"|"で区切ります。

▶ リモートワークステーションの/etc/printcap でのプリンタ名の指定は、「rp=プリンタに接続しているワークステーションの/etc/printcap に登録したプリンタ」で指定します。

▶ スプールディレクトリは「sd=作成したディレクトリの絶対パス」で指定します。ここで指定したディレクトリはプリンタを使用する前に作成して、オーナー名およびグループ名を daemon、パーミッションを 755 に変更しておく必要があります。

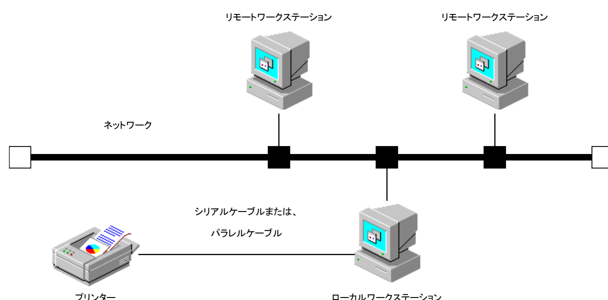
2.5　リモートワークステーションでの操作（Solaris）

この節では、リモートワークステーション（Solaris）での操作手順を説明します。
リモートワークステーションからプリンタを使用する場合、ローカルワークステーション側とリモートワークステーション側での設定が必要です。リモートワークステーション側で設定を始める前に、ローカルワークステーション側で設定ができているかご確認ください。また、プリンタ側では、lpd を起動していなければなりません。

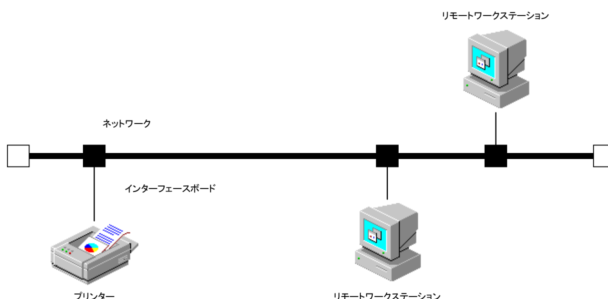
参照 ▶ ローカルワークステーション側の設定方法は、OS が SunOS 4.x または Linux の場合「2.2　ローカルワークステーションでの操作（Sun/Linux）」を、Solaris の場合「2.3　ローカルワークステーションでの操作（Solaris）」を、HP-UX の場合「2.6　インストールでの操作手順」を参照してください。

注記 ▶ Solaris をご使用の場合は、プリントサーバーに出力する際、クライアント側ではフィルターリングできません。

下図は、プリンタにシリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いて接続しているワークステーションに、リモートワークステーションから印刷指示をする場合の例です。



下図は、プリンタにインターフェースボードを装着して直接ネットワークに接続した場合の例です。



2.5.1　インストール/プリンタの設定

① CD-ROM をリモートワークステーションの CD-ROM ドライブに挿入します。

② 環境変数 LANG の設定を行います。

/bin/csh の場合

```
setenv LANG C
```

/bin/sh の場合

```
LANG=C; export LANG
```

③ スーパーユーザーになり、CD-ROM からインストール用スクリプトを取り出します。

注記 ▶ スーパーユーザーの権限をもっていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

```
# cd /tmp
# cp /cdrom/cdrom0/UXFILTER.tar .
# tar xvf ./UXFILTER.tar
```

以下のファイルが取り出されます。

- README
- install.sh
- ufilter.tar
- ufilter2.tar

④ 「./install.sh」を入力して、インストーラーを起動します。

```
#./install.sh
```

⑤　「2.1.3　インストールによって選択するプリンタモデル」から、ご使用になるプリンタに対応するプリンタモデルを選択します。ここでは、「7」を選択することにします。

```
Printer Model?
   1. Laser Press 2100
   2. Laser Press 4150PS/4150PSII/4150/4150II
   3. Laser Press 4160/4160II/4161/4161II
   4. Laser Press 4200/4300
   5. Laser Press 4210/4410
   6. Able Model PR
   7. Able Model PRII
   8. DocuCentre 250/350/400
   9. DocuCentre 251/351/401
   10. DocuCentre 352/402
   11. DocuCentre 450/550 CP
   12. DocuCentre 450E/550E/600 CP
   13. DocuCentre 505/605/705 CP
   14. DocuCentre 507/607/707 CP
   15. DocuCentre 719/659/559 CP
   16. DocuCentre 230/280
   17. DocuPrint 400/250
   18. DocuPrint 401
   19. DocuPrint 201
   20. DocuPrint 280
   21. DocuPrint 260/360
   22. DocuPrint 205/255/305
   23. DocuPrint 340A
   24. DocuPrint 350JM
   25. DocuPrint 405/505
   26. DocuPrint 2060/3050
   27. DocuPrint 3100/3000
   28. DocuPrint 4050
   29. DocuPrint 5060/4060
   30. DocuCentre 1085/1055/185/155
   31. DocuCentre f285/f235/a285/a235
   32. DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000
   33. ApeosPort 450 I/350 I
   34. DocuCentre 450 I/350 I
   35. ApeosPort 750 I/650 I/550 I
   36. DocuCentre 750 I/650 I/550 I
   37. ApeosPort-II 4000/3000
   38. DocuCentre-II 4000/3000
   39. ApeosPort-II 7000/6000/5000
```

```
    40. DocuCentre-II 7000/6000/5000
    41. DocuCentre-III 3000/2000
    42. ApeosPort-III 4000/3010
    43. DocuCentre-III 4000/3010
    44. ApeosPort-III 7000/6000/5000
    45. DocuCentre-III 7000/6000/5000
    46. DocuCentre-IV 3060/2060
    47. ApeosPort-IV 4070/3070
    48. DocuCentre-IV 4070/3070
    49. ApeosPort-IV 7080/6080/5080
    50. DocuCentre-IV 7080/6080/5080
    51. 4112/4127
    52. Exit
Enter Process No
(1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24/25
/26/27/28/29/30/31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41/42/43/44/45/46/47
/48/49/50/51/52)? : 7
```

⑥ 次のようなメニューが表示されます。「2」を選択して、リモートプリンタの設定を行います。

```
Solaris Installation for AbleModelPR2
   1. Set Local Printer
   2. Set Remote Printer
Enter Process No (1/2)? : 2
```

⑦ プリンタサーバーのホスト名またはプリンタのホスト名を入力します。ここでは「elephant」を登録することにします。

```
Enter server-hostname?: elephant
server-hostname is 'elephant' (y/n)[y] : y
```

注記 ▸ ホスト名はあらかじめ、DNS または NIS、NIS+または/etc/hosts に登録されている必要があります。
ネットワーク接続されたプリンタで直接印刷する場合は、プリンタのホスト名を登録します。

⑧ プリンタを接続しているワークステーション上で定義されているプリンタ名を入力します。ここでは「ps」とすることにします。

```
Enter server-printer-name?: ps
server-printer-name is 'ps' (y/n)[y] : y
```

注記 ▸ リモートワークステーションで印刷する場合は、プリントサーバに接続されたプリンタ名、
ネットワーク接続されたプリンタでは「ps」を登録します。

⑨ Solaris に登録して lp コマンドで指定するプリンタ名を入力します。ここでは「elephant」とすることにします。

```
Enter client-printer-name?: elephant
client-printer-name is 'elephant' (y/n)[y] : y
```

注記 ▶　インストールを行っている、ワークステーションに登録するプリンタ名を入力してください。

⑩　手順7.で入力したサーバーがネットワーク接続されたプリンタの場合は「y」を、サーバーとプリンタがローカル接続されている場合は「n」を入力します。ここでは、「n」を入力することにします。

```
'Server-hostname'is network printer?:(y/n)[y] : n
```

⑪　手順10.で「n」を入力した場合、プリンタに接続しているワークステーションのシステムタイプを入力します。Solaris（System V）の場合は「1」を、SunOS 4.x（BSD系）または、lpdをサポートしたネットワークプリンタを使用する場合は「2」を入力します。ここでは「2」を入力することにします。

```
Enter 'Server-hostname'system?:(1:s5 2:bsd) : 2
```

注記 ▶　Solaris2.6以降のマシンをご使用の場合は、この設定はありません。
また、サーバーのOSがSolaris 2.6以降の場合は、「2」を入力してください。
(Solaris2.6以降では、System V(s5)は、サポートされておりません。)

⑫　プリンタに接続しているワークステーション上のフィルターを使用するか尋ねてきます。プリンタにシリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いるローカルワークステーションと接続する場合など、プリンタに接続しているワークステーション上のフィルターを使用する場合は「y」を、プリンタにインターフェースボード装着して直接ネットワークに接続する場合など、リモートワークステーション上でフィルターを使用する場合は「n」を入力します。ここでは「y」を入力します。

```
Use filter in Print Server (y/n)[y] : y
```

⑬　ユーティリティをインストールするディレクトリを指定します。「/usr/local/fxbin」にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxbin」に変更することにします。また、デフォルトディレクトリを選択する場合は、「/usr/local」ディレクトリは作成されていなくていけません。
（選択機種によってデフォルトのディレクトリが、「/usr/local/fxbin205」になります。）

```
Enter Binary directory name[/usr/local/fxbin] : /home/fxbin
```

⑭　インストールするディレクトリの確認を行います。

```
directory is '/home/fxbin'(y/n)[y] : y
```

注記 ▶　誤って「/tmp/y」などを指定していないかご確認ください。

⑮　手順 10.で「n」を入力した場合、リモートワークステーション上にフィルターの登録をします。システムにすでに登録されている各フィルターについて、再登録するか尋ねてきます。フィルターの再登録を行う場合は「y」を、再登録を行わない場合は「n」を入力します。ここでは、すべてのフィルターを再登録することにします。

```
Do You want remove 'download' filter and re-install?(y/n)[y] : y
Do You want remove 'postio' filter and re-install?(y/n)[y] : y
Do You want remove 'postior' filter and re-install?(y/n)[y] : y
Do You want remove 'postplot' filter and re-install?(y/n)[y] : y
Do You want remove 'postreverse' filter and re-install?(y/n)[y] : y
Do You want remove 'posttek' filter and re-install?(y/n)[y] : y
Do You want remove 'dpost' filter and re-install?(y/n)[y] : y
Do You want remove 'postdaily' filter and re-install?(y/n)[y] : y
Do You want remove 'postdmd' filter and re-install?(y/n)[y] : y
Do You want remove 'postprint' filter and re-install?(y/n)[y] : y
Do You want remove 'postmd' filter and re-install?(y/n)[y] : y
```

参照 ▶ 各フィルターについての詳細は、SunOS 関連マニュアルを参照してください。

これでリモートワークステーション（Solaris）での設定は終了です。

注記 ▶ Solaris で提供されている Administration Tool(admintool)を利用した場合、プリンタ設定が変更されることがあります。

"lpstat -p プリンタ名　-l"と入力して、"Content types: postscript"となった場合は、プリンタを削除して再度インストールする必要があります。

UNIX フィルターで登録したプリンタは、admintool で変更等を行わないでください。

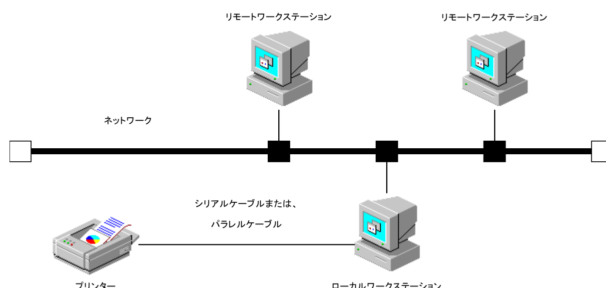
また、デフォルトプリンタの登録を行う場合には、lpadmin コマンドを使用してください。
(# lpadmin -d　プリンタ名)

バナーシートの出力を抑制するには、/etc/lp/interfaces/プリンタ名のファイルを編集します
「nobanner=no」の行を「nobanner=yes」に変更して下さい。

Solaris10 のクライアント・サーバー環境にてご使用の場合（シリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いて接続しているローカルワークステーションに、リモートワークステーションから印刷指示をする場合）、印刷指示を行うリモートワークステーションと、プリンタの接続されたローカルワークステーションの OS のバージョンおよび UNIX フィルターのバージョンは同じものを使用して下さい。

2.6　インストールでの操作手順（HP-UX）

この節では、HP-UX でのインストールの操作手順を説明します。下図は、プリンタをシリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いて接続し、ローカルワークステーションをプリントサーバーとして使用した例です。直接ネットワークケーブルを接続した場合も同様です。



注記 ▸ この節では、プリンタ側でシリアルポートの通信パラメーターがデフォルト値に設定されていることを前提に説明しています。デフォルト値以外の場合は、必要に応じて HP-UX 関連マニュアルを参照してください。

注記 ▸ インストーラーを起動する前に SAM で出力先のプリンタを登録する必要があります。SAM については、HP-UX のマニュアルをご覧ください。

2.6.1　インストール手順

①　CD-ROM をワークステーションの CD-ROM ドライブに挿入します。

②　環境変数 LANG の設定を行います。

/bin/csh の場合

```
setenv LANG C
```

/bin/sh の場合

```
LANG=C; export LANG
```

③　スーパーユーザーになり、CD-ROM からインストール用スクリプトを取り出します。

注記 ▸　スーパーユーザーの権限をもっていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

```
# mount -F cdfs -o cdcase /dev/dsk/c1t2d0 /cdrom
# cd /tmp
# cp /cdrom/UXFILTER.tar .
# tar xvf UXFILTER.tar
```

注記 ▸　デバイスファイル名は一例です。各ワークステーションの CD-ROM のデバイスファイルを指定して下さい。

以下のファイルが取り出されます。

▸ README
▸ instal.sh
▸ ufilter.tar
▸ ufilter2.tar

④　「./install.sh」を入力して、インストーラーを起動します。

```
# ./install.sh
```

⑤　「2.1.3 インストールによって選択するプリンタモデル」から、ご使用になるプリンタに対応するプリンタモデルを選択します。ここでは、「7」を選択することにします。

```
Printer Model?
   1. Laser Press 2100
   2. Laser Press 4150PS/4150PSII/4150/4150II
   3. Laser Press 4160/4160II/4161/4161II
   4. Laser Press 4200/4300
   5. Laser Press 4210/4410
   6. Able Model PR
   7. Able Model PRII
   8. DocuCentre 250/350/400
   9. DocuCentre 251/351/401
   10. DocuCentre 352/402
   11. DocuCentre 450/550 CP
   12. DocuCentre 450E/550E/600 CP
   13. DocuCentre 505/605/705 CP
   14. DocuCentre 507/607/707 CP
   15. DocuCentre 719/659/559 CP
   16. DocuCentre 230/280
   17. DocuPrint 400/250
   18. DocuPrint 401
   19. DocuPrint 201
   20. DocuPrint 280
   21. DocuPrint 260/360
   22. DocuPrint 205/255/305
   23. DocuPrint 340A
   24. DocuPrint 350JM
   25. DocuPrint 405/505
   26. DocuPrint 2060/3050
   27. DocuPrint 3100/3000
   28. DocuPrint 4050
   29. DocuPrint 5060/4060
   30. DocuCentre 1085/1055/185/155
   31. DocuCentre f285/f235/a285/a235
   32. DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000
   33. ApeosPort 450 I/350 I
   34. DocuCentre 450 I/350 I
   35. ApeosPort 750 I/650 I/550 I
   36. DocuCentre 750 I/650 I/550 I
   37. ApeosPort-II 4000/3000
   38. DocuCentre-II 4000/3000
   39. ApeosPort-II 7000/6000/5000
```

```
   40. DocuCentre-II 7000/6000/5000
   41. DocuCentre-III 3000/2000
   42. ApeosPort-III 4000/3010
   43. DocuCentre-III 4000/3010
   44. ApeosPort-III 7000/6000/5000
   45. DocuCentre-III 7000/6000/5000
   46. DocuCentre-IV 3060/2060
   47. ApeosPort-IV 4070/3070
   48. DocuCentre-IV 4070/3070
   49. ApeosPort-IV 7080/6080/5080
   50. DocuCentre-IV 7080/6080/5080
   51. 4112/4127
   52. Exit
Enter Process No
(1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/21/22/23/24/25
/26/27/28/29/30/31/32/33/34/35/36/37/38/39/40/41/42/43/44/45/46/47
/48/49/50/51/52)? : 7
```

⑥　ユーティリティをインストールするディレクトリを指定します。「/usr/local/fxbin」にインストールする場合は<Return>キーを押し、変更したい場合はディレクトリを指定します。ここではディレクトリを「/home/fxbin」に変更することにします。既に本ユーティリティがインストールされている場合には上書きしても良いかとのメッセージが表示されます。また、デフォルトディレクトリを選択する場合は、「/usr/local」ディレクトリは作成されていなくていけません。

（選択機種によってデフォルトのディレクトリが、「/usr/local/fxbin205」になります。）

```
Enter install directory name [/usr/local/fxbin] : /home/fxbin
directory is '/usr/local/fxbin' (y/n)[n] ： y
```

補足 ▸　メッセージ中に[ ]がある場合、[ ]内はデフォルト値を表しています。この場合メッセージに対して<Return>キーのみを入力すると、デフォルト値が選択されます。

⑦　出力プリンタ名を入力します。ここでは「AbleModelPR2」を登録することにします。
インストール前に SAM で登録したプリンタ名を登録して下さい。

```
Enter output-printer-name? : AbleModelPR2
output-printer-name is 'AbleModelPR2' (y/n)[y]: y
```

補足 ▸　登録されているプリンタ名は「lpstat –v」を実行することにより、確認できます。

⑧　論理プリンタ名を入力します。ここでは「UFILTER」を登録することにします。現在、システムに登録されていないプリンタ名を登録して下さい。インストール終了後、lp コマンドでこのプリンタを指定する事により、lp コマンドから自動的に本フィルターを起動する事ができます。詳しくは 3 章以降を参照してください。

```
Enter  logical-printer-name? : UFILTER
Printer-name is ‘UFILTER’ (y/n)[y] : y
```

⑨　手順６で指定したディレクトリにユーティリティのインストールと、手順８で登録した論理プリンタの登録が行われます。これでインストール終了です。

```
done.
```

参照 ▶ 各ユーティリティについての詳細は、「第３章　プリント操作とユーティリティ」を参照してください。

2.7　エラーメッセージ一覧

インストール時に表示されるエラーメッセージとその対処方法は次のとおりです。

[SunOS 4.x/Linux]

エラーメッセージ	原因	処置
install.sh:should be used by'root'	スーパーユーザー以外で install.sh を実行した。	スーパーユーザーになり、install.sh を再度実行してください。
install.sh:Installation give up.	フィルターライブラリーを格納する領域が十分でない。	空きディスク容量が 20 メガバイト以上のパーテーションにインストールしてください。

[Solaris]

エラーメッセージ	原因	処置
install.sh:should be used by'root'.	スーパーユーザー以外で install.sh を実行した。	スーパーユーザーになり、install.sh を再度実行してください。
install.sh:should install sunwlpr/sunwlpu package.	lpshed が動作しない。	sunwlpr または sunwlpu パッケージをインストールしてください。
printer-name can contains alphanumeric characters and underscores.	"printer-name"の入力で、英数字およびアンダーバー以外の文字が使用されている	正しく"printer-name"を入力する。
client-printer-name can contains alphanumeric characters and underscores.	"client-printer-name"の入力で、英数字およびアンダーバー以外の文字が使用されている。	正しく"client-printer-name"を入力する。
server-printer-name can contains alphanumeric characters and underscores.	"server-printer-name"の入力で、英数字およびアンダーバー以外の文字が使用されている。	正しく"server-printer-name"を入力する。
printer-name exceeds 14 character	"printer-name"の入力で、文字数が 14 文字を超えている。	正しく"printer-name"を 14 文字以内で入力する。
client-printer-name exceeds 14 character.	"client-printer-name"の入力で、文字数が 14 文字を超えている。	正しく"client-printer-name"を 14 文字以内で入力する。
server-printer-name exceeds 14 character.	"server-printer-name"の入力で、文字数が 14 文字を超えている。	正しく"server-printer-name"を 14 文字以内で入力する。

[HP-UX]

エラーメッセージ	原因	処置
install.sh:should be used by'root'	スーパーユーザー以外で install.sh を実行した。	スーパーユーザーになり、install.sh を再度実行してください。
install.sh:should install LP-SPOOL filesets.	lpsched、また lpshut コマンドが存在しない。	LP-SPOOL ファイルセットをインストールしてください。
output-printer-name can contains alphanumeric characters and underscores	"output-printer-name" の入力で、英数字およびアンダーバー以外の文字が使用されている。	正しく"output-printer-name"を入力する。
logical-printer-name can contains alphanumeric characters and underscores.	"logical-printer-name" の入力で、英数字およびアンダーバー以外の文字が使用されている。	正しく "logical-printer-name" を入力する。
output-printer-name exceeds 14 character.	"output-printer-name" の入力で、文字数が 14 文字を超えている。	正しく"output-printer-name"を 14 文字以内で入力する。
logical-printer-name exceeds 14 character.	"logical-printer-name" の入力で、文字数が 14 文字を超えている。	正しく "logical-printer-name" を 14 文字以内で入力する。
The printer "Printer name" is not installed.	"logical-printer-name" の入力で、登録されていないプリンタ名を使おうとした。	正しく "logical-printer-name" を入力する。
The printer "Printer name" has already been installed.	"output-printer-name" の入力で、登録されているプリンタ名を使おうとした。	正しく"output-printer-name"を入力する。

第3章　プリント操作とユーティリティ

3.1　プリント操作（Sun/Linux）

この節では、フィルターを使ったプリント操作について説明します。各ユーティリティの詳細については、「3.5　euc2ps2」から「3.16　fxoption」を参照してください。
プリントする場合、/etc/printcap に登録したプリンタを出力先として指定します。

3.1.1　UNIXフィルターユーティリティを単独で使用する場合

デフォルトのプリンタにプリントする場合

デフォルトのプリンタとして登録した場合は、次のようにプリンタ名の指定を省略することができます。

```
% lpr filename
```

デフォルト以外のプリンタにプリントする場合

プリンタ名「A4」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lpr -PA4 filename
```

デフォルトのプリンタを一時的に変更してプリントする場合

デフォルトのプリンタを変更するには、環境変数 PRINTER にプリンタ名を設定します。
プリンタ名「A4」をデフォルトのプリンタにしてプリントする場合、次のように入力します。

```
% setenv PRINTER A4
% lpr filename
```

日本語のテキストファイルをプリントする場合

EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostPcript 言語プログラムに変換するフィルターが、自動的に動作します。このため、特別な操作は必要ありません。英語のテキストファイルを出力する場合と同じように lpr コマンドを指定します。
プリンタ名「A4」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lpr -PA4 filename
```

給紙トレイを選択してプリントする場合

給紙トレイを選択してプリントする場合は、あらかじめ、.fxpsdefault ファイル、.fxpsdefault205 ファイルを使って、希望の給紙トレイを使用するプリンタを定義する必要があります。

トレイ 2（2 段目のトレイ）を選択してプリントする場合、.fxpsdefault ファイルを使って、トレイ 2 から給紙するようにプリンタを定義します。定義されたプリンタのプリンタ名「tray2」を次のように指定します。

```
% lpr -Ptray2 filename
```

3.1.2　UNIXフィルターユーティリティを複数で使用する場合

印刷処理で使用したい各ユーティリティを複数の異なる設定で使用する場合、使用するユーティリティ fxoption を使用して設定ファイル.fxpsdefault ファイル、.fxpsdefault205 ファイルを作成します。

参照 ▶　各ユーティリティの詳細については、「3.5　euc2ps2」から、「3.16　fxoption」を参照してください。

.fxpsdefault、.fxpsdefault205 について

/etc/printcap を通して各ユーティリティを利用するときに、独自オプションを設定するためのファイルです。以降、デフォルトコマンドオプション設定ファイルと呼びます。

設定方法

A4 に長辺とじ印刷を行うプリンタ「A4D」を定義する場合、次のように操作します。

操作手順

①　各ユーザーのホームディレクトリ または、/usr/lib/fxps/UserDefault 下に、デフォルトコマンドオプション設定ファイルを作成します。

```
% ユーザーのホームディレクトリ/.fxpsdefault
または
% /usr/lib/fxps/UserDefault/.fxpsdefault
```

（機種によって「/usr/lib/fxps205/UserDefault/.fxpsdefault205」を使用します。）

ユーザーがプリントジョブを lpr コマンドで送信すると、ユーザーのホームディレクトリにある.fxpsdefault ファイルに設定されたオプションが追加されて印刷されます。
ホームディレクトリに.fxpsdefault デフォルトオプション設定ファイルが無いユーザーの場合は、/usr/lib/fxps/UserDefault/.fxpsdefault ファイルに設定されたオプションが自動で追加されます。

補足 ▶　全てのユーザーで同じ設定を利用する場合は、/usr/lib/fxps/UserDefault/.fxpsdefault または /usr/lib/fxps205/UserDefault/.fxpsdefault205 を設定します。

②　/etc/printcap にプリンタ「A4D」を登録します。

[SunOS 4.x]

```
A4D|4160-A4D|A4 Size DuplexBook:¥
     :lp=/dev/ttya:sd=/var/spool/a4ldlpd:¥
     :lf=/usr/adm/lpd-errors:af=/usr/adm/fxpsacct:¥
     :of=/usr/lib/fxps/a4dof:¥
     :vf=/usr/lib/fxps/a4dvf:¥
     :if=/usr/lib/fxps/a4dif:¥
     :sb:sf:mx#0:
```

[Linux]（BSD LPR）

```
A4D|4160-A4D|A4 Size DuplexBook:¥
     :lp=/dev/ttyS1:sd=/var/spool/a4ldlpd:¥
     :lf=/usr/adm/lpd-errors:af=/usr/adm/fxpsacct:¥
     :of=/usr/lib/fxps/a4dof:¥
     :vf=/usr/lib/fxps/a4dvf:¥
     :if=/usr/lib/fxps/a4dif:¥
     :sb:sf:mx#0:
```

注記 ▸ Linux（LPRng）の場合は別紙の設定をご覧ください。

③ スーパーユーザーになり、A4 に長辺とじ印刷を行うためのフィルターa4dif、a4dvf、a4dof をシンボリックリンクを使って作成します。

```
# ln -s /usr/lib/fxps/fxpif /usr/lib/fxps/a4dif
# ln -s /usr/lib/fxps/fxpvf /usr/lib/fxps/a4dvf
# ln -s /usr/lib/fxps/fxpof /usr/lib/fxps/a4dof
```

④ フィルターa4dif、a4dvf、a4dof の独自オプションを指定するデフォルトコマンドオプション設定ファイルに次のように記述します。

```
a4dif -D IA4
a4dvf -IA4
a4dof -IA4
```

⑤ プリンタ名に「A4D」を指定すると、A4 に長辺とじ印刷を行うことができます。

```
% lpr -PA4D filename
```

注記 ▸ fxpvf、fxpg4f は、SunOS 4. x の場合 sunras2ps2 を、Linux の場合 xwd2ps2 をハードリンクしているため、上記の方法で指定を行う場合には、fxpg4f は指定できません。G4 圧縮を行う場合は、fxpvf に-G4 オプションを指定して下さい。

▸ シンボリックリンクで作成する a4dif、a4dvf、a4dof などのファイル名は各ユーザーで共通のファイル名となります。

3.2　プリント操作（Solaris）

この節では、フィルターを使ったプリント操作について説明します。各ユーティリティの詳細については、「3.5　euc2ps2」以降の項目を参照してください。Solaris からプリントする場合、フィルターのインストールのときに登録したプリンタを出力先として指定します。

注記 ▶ lp コマンドを使用するときは、lpstat コマンド（lpstat -p all）によってスプーラーの動作環境（enabled,avalable）が正しく設定されていることを確認してください。なお、lp コマンドおよび lpstat コマンドのオプションや使用方法の詳細については OS の関連マニュアルを参照してください。

3.2.1　Solaris からプリントする場合

デフォルトのプリンタにプリントする場合

デフォルトのプリンタとして登録した場合は、次のようにプリンタ名の指定を省略することができます。

```
% lp filename
```

デフォルト以外のプリンタにプリントする場合

プリンタ名「4150PS」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -d 4150PS filename
```

補足 ▶ プリンタ名は「lpstat -v」を実行することにより、確認できます。

デフォルトのプリンタを一時的に変更してプリントする場合

デフォルトのプリンタを変更するには、環境変数 LPDEST にプリンタ名を設定します。

プリンタ名「4150PS」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% setenv LPDEST 4150PS
% lp filename
```

補足 ▶ この方法を使用すれば、ユーザーごとにデフォルトプリンタを設定することができます。

▶ 上の例は csh を使用している場合の設定方法です。

日本語のテキストファイルをプリントする場合

EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostScript 言語プログラムに変換するフィルターが、自動的に動作します。このため、特別な操作は必要ありません。英語のテキストファイルを出力する場合と同じように lp コマンドを指定します。

プリンタ名「4150PS」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -d 4150PS filename
```

給紙トレイを選択してプリントする場合

給紙トレイを選択してプリントする場合、lp コマンドの-y オプションに続けて給紙

トレイを指定します。

参照 ▶ 指定可能な給紙トレイは機種および装着されているオプションによって異なります。
「3.18　FX4150.fd」以降の項目でご使用されるのプリンタの項目を参照してください。

トレイ 2（2 段目のトレイ）を選択してプリンタ名「4150PS」にプリントする場合、次のように指定します。

```
% lp -d 4150PS -y tray2 filename
```

注記 ▶ Solaris のプリント環境では、システムの構造上バナーシートがデフォルトのトレイから出力されます。例えば、lp の-y オプションで A3 を指定した場合であってもバナーシートはデフォルトのトレイ（出荷時はトレイ 1）から出力されます。なお、バナーシートの出力の抑制には、/etc/lp/interfaces/プリンタ名ファイルの、「nobanner=no」を「nobanner=yes」に変更して下さい。

3.3　論理プリンタからのプリント操作（HP-UX）

この節では、インストール時に登録した論理プリンタを使ったプリント操作について説明します。使用できるオプションについては「3.3.2　共通オプション一覧」以降の項を参照してください。各ユーティリティの詳細については、「3.5　euc2ps2」以降を参照してください。

3.3.1　論理プリンタから印刷する場合（HP-UX）

デフォルトのプリンタにプリントする場合

デフォルトのプリンタとして登録した場合は、次のようにプリンタ名の指定を省略することができます。

```
% lp filename
```

補足 ▸　デフォルトプリンタは「lpadmin -d プリンタ名」を実行することにより、変更できます。

デフォルト以外のプリンタにプリントする場合

プリンタ名「UFILTER」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp –dUFILTER filename
```

デフォルトのプリンタを一時的に変更してプリントする場合

デフォルトのプリンタを変更するには、環境変数 PRINTER にプリンタ名を設定します。

プリンタ名「UFILTER」をデフォルトのプリンタにしてプリントする場合、次のように入力します。

```
% setenv PRINTER UFILTER
% lp filename
```

オプションを付加してプリントする場合

例えば、トレイ 2（2 段目のトレイ）を選択してプリントする場合、オプションを使って、トレイ 2 から給紙するように定義します。オプションは以下のように「-o」を用いて定義します。各フィルターのオプションについては「3.3.2　共通オプション一覧」、および「3.3.3　プリンタ固有のオプション」を参照してください。

```
% lp –oI2 filename
```

日本語のテキストファイルをプリントする場合

EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostScript 言語プログラムに変換するフィルターが、自動的に動作します。このため、特別な操作は必要ありません。英語のテキストファイルを出力する場合と同じように lp コマンドを指定します。

論理プリンタ名「UFILTER」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -dUFILTER filename
```

XWD フォーマットのファイルをプリントする場合

XWD フォーマットで表現された XWD フォーマットファイルを PostScript 言語プログラムに変換するフィルターを起動します。オプションにて XWD フォーマット用のフィルターファイル起動を指定する必要があります。

論理プリンタ名「UFILTER」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -dUFILTER -o XWD filename
```

XWD フォーマットのファイルをＧ４圧縮してプリントする場合

XWD フォーマットで表現された XWD フォーマットファイルを G4 圧縮形式の PostScript 言語プログラムに変換するフィルターを起動します。この場合、スプーラに送られるデータ量は圧縮しない場合よりも少なくなります。ただし、圧縮を行うのは画素の深さが 1 ビットの XWD イメージのみです。オプションにて XWD フォーマット G4 圧縮用のフィルターファイル起動を指定する必要があります。

論理プリンタ名「UFILTER」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -dUFILTER -o XG4 filename
```

TIFF フォーマットのファイルをプリントする場合

TIFF フォーマットで表現された TIFF フォーマットファイルを PostScript 言語プログラムに変換するフィルターを起動します。オプションにて TIFF フォーマット用のフィルターファイル起動を指定する必要があります。

論理プリンタ名「UFILTER」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -dUFILTER -o TIF filename
```

TIFF フォーマットのファイルを G4 圧縮してプリントする場合

TIFF フォーマットで表現された TIFF フォーマットファイルを G4 圧縮形式の PostScript 言語プログラムに変換するフィルターを起動します。この場合、スプーラに送られるデータ量は圧縮しない場合よりも少なくなります。ただし、圧縮を行うのは画素の深さが 1 ビットの TIFF イメージのみです。オプションにて TIFF フォーマット G4 圧縮用のフィルターファイル起動を指定する必要があります。

論理プリンタ名「UFILTER」にプリントする場合、次のように入力します。

```
% lp -dUFILTER -o TG4 filename
```

PostScript ファイルをプリントする場合

PostScript ファイルを印刷する場合、特別な操作は必要ありません。英語のテキストファイルを出力する場合と同じように lp コマンドを指定します。
PostScript ファイルを「UFILTER」にプリントする場合、次のように指定します。

```
% lp -dUFILTER filename
```

ただし、用紙指定等のオプションが設定された PostScript ファイルに対して、同様のオプションを指定した場合、そのオプションは無視されます。
また、PostScript ファイルをテキストファイルとして出力したい場合にはオプション「TX」を指定します。これにより PostScript ファイルはテキストファイルとして処理されます。
PostScript ファイルをテキストファイルとして「UFILTER」にプリントする場合、次のように指定します。

```
% lp -dUFILTER -o TX filename
```

3.3.2　共通オプション一覧（HP-UX）

lp コマンド実行時に、インストール時に設定した論理プリンタを指定した場合には lp コマンドの機能に加えて以下のオプションが使用できるようになります。以下に示すオプションは本フィルターが対応している全てのプリンタで使用できます。プリンタ固有のオプションについては「3.3.3　プリンタ固有のオプション」以降を参照してください。また、lp コマンドにおけるオプションの指定方法は HP-UX 関連のマニュアルを参照してください。

◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

[XWD]

XWD イメージファイルを PostScript 言語のファイルに変更するフィルターを起動します。XWD イメージファイルをプリントする場合に必ず指定して下さい。

[XG4]

XWD イメージファイルを、G4 圧縮を行った PostScript 言語のファイルに変更するフィルターを起動します。XWD イメージファイルを G4 圧縮してプリントする場合に必ず指定して下さい。

[TIF]

TIFF イメージファイルを PostScript 言語のファイルに変更するフィルターを起動します。TIFF イメージファイルをプリントする場合に必ず指定して下さい。

[TG4]

TIFF イメージファイルを、G4 圧縮を行った PostScript 言語のファイルに変更するフィルターを起動します。TIFF イメージファイルを G4 圧縮してプリントする場合に必ず指定して下さい。

[TX]

PostScript 言語のファイルをテキストファイルとしてプリントする場合に必ず指定して下さい。

補足 ▶ 上記の 5 オプションを指定しない場合は EUC テキストファイルもしくは PostScript 言語のファイルとしてフィルターが起動されます。

[Nc=*copies*]

出力部数の指定を行います（copies は正の整数です)。

[Hd=*position*:*format*:*page*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザー情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。但し、PostScript ファイルを変換する場合は常に左下に出力します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。
省略した場合は uh がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を tuh と指定した場合は次のように出力します。

2002/11/11 Fri 01:23:45 JST User:*username* Host:*hostname*

page は出力するページを指定します。この指定は省略可能です。
XWD,TIFF イメージではこの指定は無視されます。

f	先頭ページのみ出力（PostScript ファイル変換時デフォルト）
a	全ページ出力（テキストファイル変換時デフォルト）

指定は次のように行います。

左下に日時、ホスト名の順番で先頭ページのみに出力する場合。

Hd=dl:th:f

注記 ▸ PostScript ファイル変換時に全ページ出力指定を行っても出力されない場合があります。その際は、先頭ページのみ出力の指定を行ってください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[Hf*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▸ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。
ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。

※以下のオプションは、EUC テキストを印刷する際に指定可能です。

[2]

2 段組で印刷します。

[r]

出力を 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

[g]

日本語文字をゴシック体で印刷します。このオプションを省略した場合は、明朝体で印刷します。

[F]

改ページコード（FF）を無視します。

[l*lines*]

1 ページ当たりの行数を lines 行とします。

[w*columns*]

1 行当たりの桁数を columns 桁とします。

[o*outcolumns*]

半角文字に換算して outcolumns 桁目から文字を印刷します。

[L*outlines*]

outlines 桁目から文字を印刷します。

[e*n*]

水平タブを n 桁の空白（スペース）に展開します。デフォルトは 8 です。

[s*size*]

フォントサイズを *size* ポイントとします。デフォルトは 10 ポイントです。

[mg=*upmargin:bottommargin:rightmargin:leftmargin*]

ページの余白をインチ単位で指定します。upmargin（上余白）、bottommargin（下余白）、rightmargin（右余白）、leftmargin（左余白）は、正の実数（小数点第二位まで有効）です。デフォルトは 0 です。

-mg=0:0:0:3　　左余白を 3 インチにします。

-mg=3:3:0:5　　上余白を 3、下余白を 3、左余白を 5 インチにします。

余白が 0 インチの場合値を省略できます。

-mg=:::3　　　左余白を 3 インチにします。

[f*font*]

半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。

フォントの指定は、「-o f」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

% lp –o fCourier - Oblique *filename*

[jf*font*]

日本語を印刷するためのフォントを指定します。

フォントの指定は、「-o jf」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

% lp –o jfHeiseiMin-W3-H *filename*

参照 ▸　使用できるフォントについては、付録または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[ps]

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルか否かに関わらず、その他の EUC テキストファイル用のオプションは無視されます。

※ 以下のオプションは XWD、TIFF イメージを印刷する際に指定可能です。

[r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[l=*left,bottom*]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom ともに 0.25 インチです。

[s=*width,height*]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[S=*width*]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

参照 ▸ オプションの注意事項については、「第４章　注意制限事項」を参照してください。

3.3.3　プリンタ固有のオプション（HP-UX）

HP-UX ではlp コマンド実行時に、インストール時に設定した論理プリンタを指定した場合には、lp コマンドの機能に加えて以下のオプションが使用できるようになります。以下に示すオプションは、ご使用のプリンタの機能により使用できないものがあります。プリンタ固有の機能について、プリンタモデル毎に記述しています。ご使用のプリンタがどのプリンタモデルに含まれるかは、「2.1.3　インストールによって選択するプリンタモデル」を参照してください。

◆Laser Press 4150/4150PS/4150PSII/4150II

Laser Press 4150/4150PS/4150PSII/4150II をご使用の場合、この項を参照してください。

◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

[-I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。

MSI-DL　　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▸ 封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

注記 ▸ 手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

◇使用例

手差しトレイよりハガキを選択してプリンタ名「4150PS」に出力する場合

```
% lp -d 4150PS -oIMSI-PC filename
```

◆Laser Press 4160/4160II/4161/4161II

◆Able Model-PR

Laser Press 4160/4160II/4161/4161II および Able Model-PR シリーズをご使用の場合、この項を参照してください。

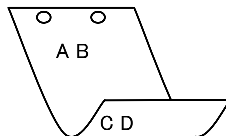
◇実行形式

lp [**-o***option*] *filename*

◇オプション

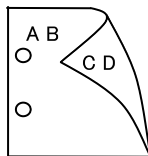
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。

B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▶ 封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

注記 ▶ 手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	フェースダウントレイへ排紙します。
fu	フェースアップトレイへ排紙します。
m*n*	メールボックスのビンｎへ排紙します。ｎは１以上 10 以下の値です。
st*n*	ソーターにｎ部コピーして排紙します。ｎは１以上 10 以下の値です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

LaserPress4160、Able Model-PR シリーズでは、メールボックスとソーターに排紙するときには、プリンタの操作パネルで設定された動作モードと一致していなければなりません。一致していないときには、デフォルトのトレイに排紙されます。手差しトレイから給紙するときには、メールボックスとソーターに排紙することができません。メールボックスとソーターが指定されていると、フェイスダウントレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

◇使用例

Ａ３トレイより長辺とじ両面印刷でプリンタ名「4160PS」に出力する場合

```
% lp –d 4160PS –oIA3 -oD filename
```

◆Laser Press 4200/4300

◆Able Model-PRⅡ

Laser Press 4200/4300 および Able Model-PRⅡシリーズをご使用の場合、この節を参照してください。

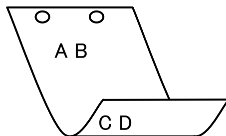
◇実行形式

lp [**-o***option*] *filename*

◇オプション

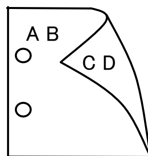
[**d**]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[**D**]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[**I***tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。

LT　　レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD　　レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　はがきを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▶ 封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

注記 ▶ 手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　　フェースダウントレイへ排紙します。
fu　　フェースアップトレイへ排紙します。
m*n*　　メールボックスのビン n へ排紙します。n は 1 以上 10 以下の値です。
fs　　ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
fs*n*　　ステープルフィニッシャーのビン n に排紙します。
　　　n は 1 以上 3 以下の値です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

手差しトレイから給紙するときには、メールボックスとソーターに排紙することができません。メールボックスとソーターが指定されていると、フェイスダウントレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

◇使用例

Ａ４トレイより長辺とじ両面印刷でプリンタ名「4200PS」に出力する場合

```
% lp –d 4200PS –oIA4 -oD filename
```

◆Laser Press 4210/4410

◆DocuCentre 250/350/400

◆DocuCentre 251/351/401

◆DocuCentre 402/352

◆DocuPrint 400/250

◆DocuPrint 401

Laser Press 4210/4410、DocuCentre 250/350/400、DocuCentre 251/351/401、DocuCentre 402/352、DocuPrint 400/250、DocuPrint 401 プリンタをご使用の場合、この項を参照してください。

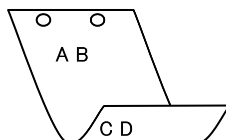
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

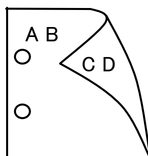
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル“14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
Pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-Pakai	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▶　封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

注記 ▶　手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	フェースダウントレイへ排紙します。
fu	フェースアップトレイへ排紙します。
m*n*	メールボックスのビン n へ排紙します。n は 1 以上 10 以下の値です。
fs	ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
fs*n*	ステープルフィニッシャーのビン n に排紙します。n は 1 以上 3 以下の値です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

手差しトレイから給紙するときには、メールボックスとソーターに排紙することができません。メールボックスとソーターが指定されていると、フェイスダウントレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

八開トレイより短辺とじ両面印刷でプリンタ名「DocuCentre」に出力する場合

```
% lp –d DocuCentre –oIPakai –od filename
```

◆Laser Press 2100PS

Laser Press 2100PS をご使用の場合、この項を参照してください。

◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

[Itray_input]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 1 から給紙します。
3	トレイ 2 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▶ 封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[C*policy*]

要求された PageSize が使用可能な用紙のいずれにも一致しないときに使う回復方針を指定します。パラメーターは 0 から 6 までの数値を選択することができますが、2 もしくは 3 を使用されることをお勧めします。プリンタの初期値は 3 に設定されています。

0　印刷が中止され、configration エラーを生成します。

1　プリント指示した PageSize を無視して印刷します。

2　トレイに指定した用紙が 180 秒以内に補給されなかった場合、印刷が中止され、configration エラーを生成し、印刷は中止されます。

3　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択し、拡大または、縮小して印刷します。

4　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択し、拡大して印刷します。

5　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

6　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

◇使用例

A4 トレイを選択、A4 がセットされていない場合はセットされるまで 180 秒間待つプリンタ名「2100PS」に出力する場合

```
% lp -d 2100PS -oIA4 -oC2 filename
```

◆DocuCentre 450/550

◆DocuCentre 450E/550E/600

DocuCentre 450/451/550/551/600/601 をご使用の場合、この項を参照してください。

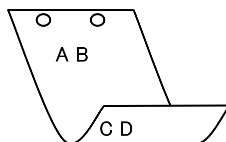
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

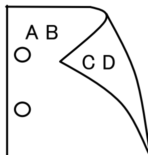
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
m1	マルチトレイ 1 から給紙します。
m2	マルチトレイ 2 から給紙します。
m3	マルチトレイ 3 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。

A5　A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6　A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4　B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5　B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6　B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT　レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD　レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL　フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG　リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST　ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
Pakai　八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
PC　ハガキがセットされたトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▶　封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[Otray_output]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　フェースダウントレイへ排紙します。
m*n*　メールボックスのビン n へ排紙します。*n* は 1 以上 10 以下の値です。
fs　ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

手差しトレイから給紙するときには、メールボックスとソーターに排紙することができません。メールボックスとソーターが指定されていると、フェイスダウントレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

マルチトレイ１より給紙しプリンタ名「DocuCentre450」に出力する場合

% lp -d DocuCentre450 -oIm1 *filename*

◆DocuCentre 505/605/705

DocuCentre 505/506/605/606/705/706 をご使用の場合、この項を参照してください。

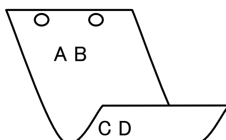
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

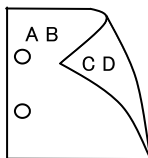
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
m1	マルチトレイ 1 から給紙します。
m2	マルチトレイ 2 から給紙します。
m3	マルチトレイ 3 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。

B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
Pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-Pakai	八開用紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▶ 封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	フェースダウントレイへ排紙します。
fs	ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
fs1	ステープルフィニッシャーのビン 1 に排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

手差しトレイから給紙するときには、メールボックスとソーターに排紙することができません。メールボックスとソーターが指定されていると、フェイスダウントレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

マルチトレイ 1 より給紙しプリンタ名「DocuCentre505」に出力する場合

% lp -d DocuCentre505 -oIm1 *filename*

◆DocuCentre 507/607/707

DocuCentre 507/508/607/608/707/708 をご使用の場合、この項を参照してください。

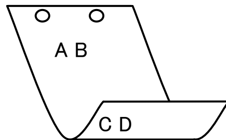
◇実行形式

lp [**-o***option*] *filename*

◇オプション

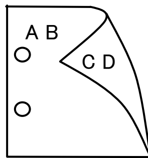
[**d**]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[**D**]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[**I***tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
m1	マルチトレイ 1 から給紙します。
m2	マルチトレイ 2 から給紙します。
m3	マルチトレイ 3 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。

B5　　B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT　　レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD　　レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL　　フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG　　リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST　　ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから
給紙します。
Pakai　　八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6　　A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6　　B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-Pakai　八開用紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　　ハガキを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。
封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▶ 封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。
排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　　フェースダウントレイへ排紙します。
fs　　ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。
手差しトレイから給紙するときには、メールボックスとソーターに排紙することができません。メールボックスとソーターが指定されていると、フェイスダウントレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

マルチトレイ 1 より給紙しプリンタ名「DC507」に出力する場合

% lp -d DC507 -oIm1 *filename*

◆DocuCentre 719/659/559

DocuCentre 719/659/559 をご使用の場合、この項を参照してください。

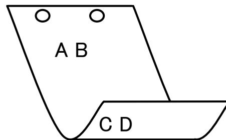
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

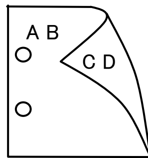
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。

FL　　フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG　　リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST　　ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
Pakai　　八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6　　A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6　　B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-Pakai　八開用紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　　ハガキを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。
封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▶　封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。
排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　　フェースダウントレイへ排紙します。
fs　　ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。
手差しトレイから給紙するときには、メールボックスとソーターに排紙することができません。メールボックスとソーターが指定されていると、フェイスダウントレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DC719」に出力する場合

% lp -d DC719 -oI1 *filename*

◆DocuCentre 230/280

DocuCentre 230/280 をご使用の場合、この項を参照してください。

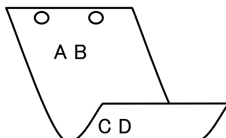
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

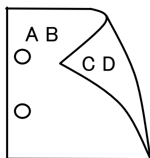
[**d**]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[**D**]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。また、手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。



[**I***tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。

FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされた手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長型 3 号を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▶ 封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	フェースダウントレイへ排紙します。
fu	フェースアップトレイへ排紙します。
fs	ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
fs1	ステープルフィニッシャーのビン 1 に排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

手差しトレイから給紙するときには、メールボックスとソーターに排紙することができません。メールボックスとソーターが指定されていると、フェイスダウントレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

トレイ１より給紙しプリンタ名「DC230」に出力する場合

% lp -d DC230 -oI1 *filename*

◆DocuPrint 201PS

DocuPrint 201PS をご使用の場合、この項を参照してください。

◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▸ **封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。**

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[C*policy*]

要求された PageSize が使用可能な用紙のいずれにも一致しないときに使う回復方針を指定します。パラメーターは 0 から 6 までの数値を選択することができますが、2 もしくは 3 を使用されることをお勧めします。プリンタの初期値は 2 に設定されています。

0　印刷が中止され、configration エラーを生成します。
1　プリント指示した PageSize を無視して印刷します。
2　トレイに指定した用紙が存在しない場合、指定した用紙の補給を促すメッセージをプリンタのパネルに表示し、用紙の補給を待ちます。
3　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択し、拡大または、縮小して印刷します。
4　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択し、拡大して印刷します。
5　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。
6　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

◇使用例

A４トレイを選択、A4 がセットされていない場合はセットされるまで待つプリンタ名「201PS」に出力する場合

```
% lp –d 201PS –oIA4 –oC2 filename
```

◆DocuPrint 280

DocuPrint 280 をご使用の場合、この節を参照してください。

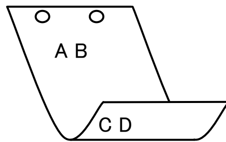
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

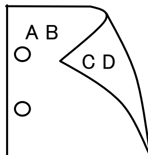
[**d**]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[**D**]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[**I***tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。

MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　はがきを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▶ **封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。**

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　フェースダウントレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DocuPrint280」に出力する場合

% lp –d DocuPrint280 –oI1 *filename*

◆DocuPrint 260/360

DocuPrint 260/360 をご使用の場合、この節を参照してください。

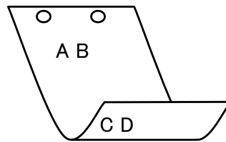
◇実行形式

lp [**-o***option*] *filename*

◇オプション

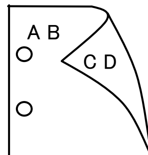
[**d**]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[**D**]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[**I***tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
PC	はがきがセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。

MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-LP　長尺紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

封筒サイズでの出力が不可能な機種では、印刷指示をした場合、デフォルトのトレイで使用している用紙サイズで出力されます。

参照 ▸ **封筒サイズでの出力が不可能な機種については、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。**

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　フェースダウントレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

[JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。また XJCL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

トレイ１より給紙しプリンタ名「DP260」に出力する場合

```
% lp -d DP260 -oI1 filename
```

◆DocuPrint 205/255/305

DocuPrint 205/255/305 をご使用の場合、この節を参照してください。

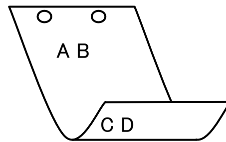
◇実行形式

lp [**-o***option*] *filename*

◇オプション

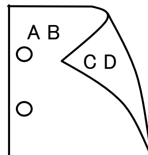
[**d**]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[**D**]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[**I***tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。

MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE　Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-EY4　封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 76.2x98.4mm、最大 304.8x508.0mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

297x900mm
210x900mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　センタートレイへ排紙します。
fu　リアトレイへ排紙します。
of　オフセット排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP 用紙

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DP260」に出力する場合

% lp -d DP205 -oI1 *filename*

◆DocuPrint 340A

DocuPrint 340A をご使用の場合、この節を参照してください。

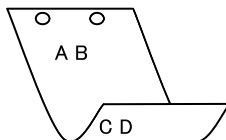
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

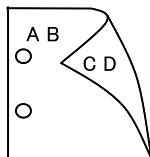
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
PC	はがきがセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 76.2x127.0mm、最大 215.9x355.6mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	リアトレイへ排紙します。
of	オフセット排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP 用紙

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[**Pr=***resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[**JOAU=***username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

トレイ１より給紙しプリンタ名「DP340Ａ」に出力する場合

```
% lp -d DP340A -oI1 filename
```

◆DocuPrint 350JM

DocuPrint 350JM をご使用の場合、この節を参照してください。

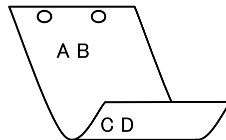
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

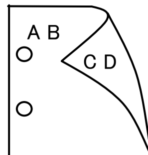
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
PC	はがきがセットされたトレイから給紙します。
KNS	かんばん S セットされたトレイから給紙します。
KN	かんばんがセットされたトレイから給紙します。
KNL	かんばん L がセットされたトレイから給紙します。

GN　　　現品票がセットされたトレイから給紙します。
GNL　　現品票 L がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 76.2x127.0mm、最大 215.9x355.6mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　　センタートレイへ排紙します。
fu　　リアトレイへ排紙します。
of　　オフセット排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP 用紙

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DP350JM」に出力する場合

% lp -d DP350JM -oI1 *filename*

◆DocuPrint 405/505

DocuPrint 405/505 をご使用の場合、この節を参照してください。

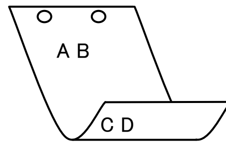
◇実行形式

lp [-o*option* **]** *filename*

◇オプション

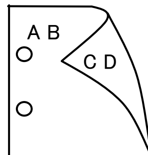
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input***]**

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。

LG　リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。

11x15in　11x15in がセットされたトレイから給紙します。

5x7in　5x7in がセットされたトレイから給紙します。

PC　ハガキがセットされたトレイから給紙します。

DPC　往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。

EC3Y　封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。

Monarc　封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。

COM10　封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。

DL　封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。

C5　封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。

C4　封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。

CA4　表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。

CLT　表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。

*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。

MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。

MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。

MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。

MSI-A6　A6 を手差しトレイから給紙します。

MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。

MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。

MSI-B6　B6 を手差しトレイから給紙します。

MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。

MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。

MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。

MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。

MSI-11x15in　11x15in を手差しトレイから給紙します。

MSI-5x7in 5x7in を手差しトレイから給紙します。

MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。

MSI-DPC 往復ハガキを手差しトレイから給紙します。

MSI-EC3Y　封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。

MSI- Monarc　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。

MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。

MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。

MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。

MSI-C4　封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。

MSI-CA4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。

MSI-CLT　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。

MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 88.9x98.4mm、最大 296.7x431.8mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。
fst	排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル紙

[CO=*type*･･･]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DP505」に出力する場合

% lp -d DP505 -oI1 *filename*

◆DocuPrint 2060/3050

DocuPrint 2060/3050 をご使用の場合、この節を参照してください。

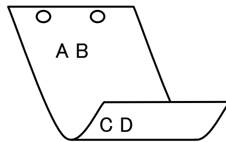
◇実行形式

lp［-o*option*］*filename*

◇オプション

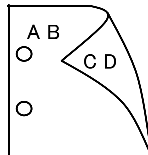
［d］

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



［D］

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



［I*tray_input*］

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。

EXE　Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
PC　ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC　往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3Y　封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EY4　封筒洋形 4 号をセットされたトレイから給紙します。
Monarc　封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10　封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL　封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5　封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE　Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC　往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y　封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EY4　封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 74.8x147.8mm、最大 297.0x900.3mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　センタートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DP2060」に出力する場合

% lp -d DP2060 -oI1 *filename*

◆DocuPrint 3100/3000

DocuPrint 3100/3000 をご使用の場合、この節を参照してください。

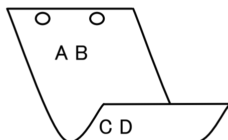
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

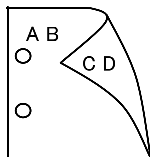
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。

PC　ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC　往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3　封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EY4　封筒洋形 4 号をセットされたトレイから給紙します。
Monarc　封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10　封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL　封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5　封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE　Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC　往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3　封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EY4　封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LP　長尺紙を手差しトレイから給紙します。

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

297x900mm

MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 75.2x98.1mm、最大 296.6x899.9mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[-t2=*tonersave*]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1	ややうすい(節約量小)
Mode2	うすい(節約量大)
Mode3	かなりうすい(ドラフト)

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として

記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DP3100」に出力する場合

% lp -d DP3100 -oI1 *filename*

◆DocuPrint 4050

DocuPrint 4050 をご使用の場合、この節を参照してください。

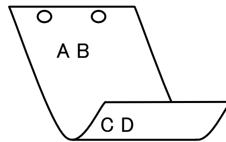
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

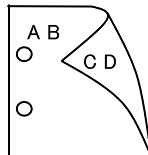
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。

EXE　Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
PC　ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC　往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3　封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EY4　封筒洋形 4 号をセットされたトレイから給紙します。
Monarc　封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10　封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL　封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5　封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE　Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC　往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3　封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EY4　封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LP　長尺紙を手差しトレイから給紙します。

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

297x900mm

MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 75.0x98.0mm、最大 297.0x900.0mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙

[CO=*type*･･]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用で

きません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DP4050」に出力する場合

% lp -d DP4050 -oI1 *filename*

◆DocuPrint 5060/4060

DocuPrint 5060/4060 をご使用の場合、この節を参照してください。

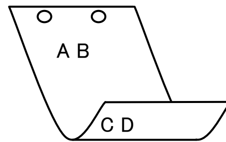
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

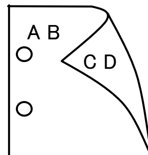
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。

LG　　　リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST　　　ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから
　　　　給紙します。
EXE　　Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in　　4x6in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in　8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in 8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in　11x15in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in　　5x7in がセットされたトレイから給紙します。
PC　　　ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC　　往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3Y　　封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT　　八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT　十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC　　八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC　十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
Monarc　封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10　封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL　　　封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5　　　封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
C4　　　封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
CA4　　表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT　　表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6　A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6　B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE　Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in 4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in 8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in　8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in　11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in 5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。

MSI-DPC 往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y 封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT 八開（267x388mm）を手差しトレイから 給紙します。
MSI-16kaiT 十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC 八開（270x390mm）を手差しトレイから 給紙します。
MSI-16kaiC 十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc 封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10 封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL 封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5 封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4 封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4 表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT 表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm *M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 88.9x98.4mm、最大 297.0x432.0mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd センタートレイへ排紙します。
fs フィニッシャートレイへ排紙します。
fst 排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job ジョブ単位
SE set セット単位

[**M=***type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル紙

[**CO=***type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[**Pr=***resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[**JOAU=***username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[**ACNA=***documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DP5060」に出力する場合

```
% lp -d DP5060 -oI1 filename
```

◆DocuCentre 1085/1055/185/155

DocuCentre 1085/1055/185/155 をご使用の場合、この節を参照してください。

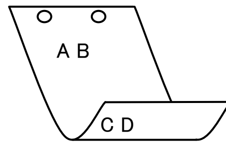
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

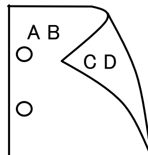
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。

EXE　Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in　4x6in がセットされたトレイから給紙します。
PC　ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3Y　封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT　八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT　十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC　八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC　十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
Monarc　封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10　封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL　封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5　封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE　Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y　封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT　八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT 十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC　八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC 十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 88.9x98.4mm、最大 297.0x431.8mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル紙

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DC185」に出力する場合

```
% lp -d DC185 -oI1 filename
```

◆DocuCentre f285/f235/a285/a235

DocuCentre f285/f235/a285/a235 をご使用の場合、この節を参照してください。

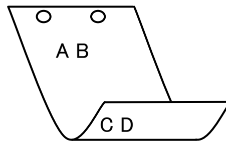
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

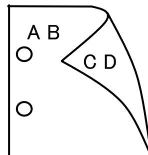
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。

ST　ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
EXE　Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in　4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in　5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in　8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in 8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
PC　ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC　往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3Y　封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT　八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT　十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC　八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC　十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
Monarc　封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10　封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL　封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5　封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
C4　封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
CA4　表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT　表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6　A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6　B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE　Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in 4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in 5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in 8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in　8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC　往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y　封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT　八開（267x388mm）を手差しトレイから 給紙します。

MSI-16kaiT 十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC　八開（270x390mm）を手差しトレイから 給紙します。
MSI-16kaiC 十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-Monarc　　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10　　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4　封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 89.3x98.4mm、最大 296.7x431.8mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　　センタートレイへ排紙します。
ce2　　センタートレイ上段へ排紙します。
fu2　　サイドトレイへ排紙します。
fs　　フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB　job　　ジョブ単位
SE　set　　セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル紙

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DCf285」に出力する場合

% lp –d DCf285 –oI1 *filename*

◆DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000

DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000 をご使用の場合、この節を参照してください。

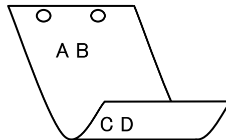
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

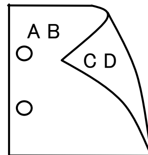
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
7	トレイ 7 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。

SRA3　SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。
LT　レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD　レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL　フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG　リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
5x7in　5x7in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in　11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in　12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in 12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in　13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in　13x19in がセットされたトレイから給紙します。
PC　ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC　往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3　封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
CA4　表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT　表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6　A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6　B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-SRA3　SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in　5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in　11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in　12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12.6x19.2in　12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in　13x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x19in　13x19in を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC　往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3　封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.0x148.0mm、最大 330.0x488.0mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル紙

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DCf1100」に出力する場合

```
% lp -d DCf1100 -oI1 filename
```

◆ApeosPort 450 I/350 I

◆DocuCentre 450 I/350 I

ApeosPort 450 I/350 I、DocuCentre 450 I/350 I をご使用の場合、この節を参照してください。

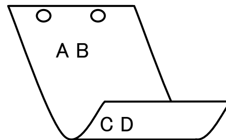
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

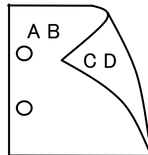
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。

DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5 インチ）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC	往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4	封筒 C4 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。

MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE Executive(7.25x10.5 インチ) を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in 4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in 5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in 8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in 8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in 11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT 八開(267x388mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT 十六開(267x194mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC 八開(270x390mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC 十六開(270x195mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4 表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT 表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm *M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 89.3x98.4mm、最大 296.7x431.8mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　センタートレイへ排紙します。
fu2　サイドトレイへ排紙します。
fs　フィニッシャートレイへ排紙します。
ce2　センタートレイ上段へ排紙します。
fst　排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル紙

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「AP450I」に出力する場合

% lp -d AP450I -oI1 *filename*

◆ApeosPort 750 I/650 I/550 I

◆DocuCentre 750 I/650 I/550 I

ApeosPort 750 I/650 I/550 I、DocuCentre 750 I/650 I/550 I をご使用の場合、この節を参照してください。

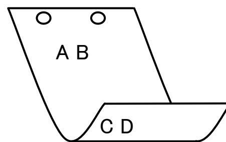
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

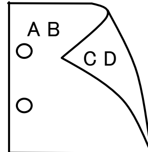
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。

SRA3	SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5 インチ）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in	12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in	13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in	13x19in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-SRA3	SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC	往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。

MSI-C4　封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE Executive(7.25x10.5 インチ) を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in 4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in 5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in 8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in　8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in　11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in　12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12.6x19.2in　12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in　13x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x19in　13x19in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT 八開(267x388mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT 十六開(267x194mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC 八開(270x390mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC 十六開(270x195mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4 表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT 表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm

[O *tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　センタートレイへ排紙します。
fs　フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴と

して記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「AP750I」に出力する場合

% lp -d AP750I -oI1 *filename*

◆ApeosPort-II 4000/3000

◆DocuCentre-II 4000/3000

ApeosPort-II 4000/3000、DocuCentre-II 4000/3000 をご使用の場合、この節を参照してください。

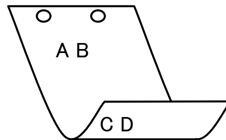
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

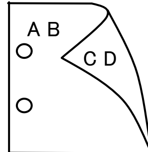
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。

PC　ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC　往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3Y　封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
Monarc　封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10　封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL　封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5　封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。
C4　封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。
LT　レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
FL　フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG　リーガル"14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
LD　レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
ST　ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5 インチ）がセットされたトレイから給紙します。
EXE　Executive(7.25x10.5 インチ)がセットされたトレイから給紙します。
4x6in　4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in　5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in　8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in 8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in　11x15in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT　八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT　十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC　八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC　十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
CA4　表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT　表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6　A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6　B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC 往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y　封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-Monarc　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4　封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。

MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE　Executive(7.25x10.5 インチ）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in　4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in　5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in 8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in　8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in　11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT　八開(267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT 十六開(267x194mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC　八開(270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC 十六開(270x195mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 89.3x98.4mm、最大 296.7x431.8mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　センタートレイへ排紙します。
fu2　サイドトレイへ排紙します。
fs　フィニッシャートレイへ排紙します。
ce2　センタートレイ上段へ排紙します。
fst　排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル紙

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「AP24000」に出力する場合

% lp -d AP24000 -oI1 *filename*

◆ApeosPort-II 7000/6000/5000

◆DocuCentre-II 7000/6000/5000

ApeosPort-II 7000/6000/5000、DocuCentre-II 7000/6000/5000 をご使用の場合、この節を参照してください。

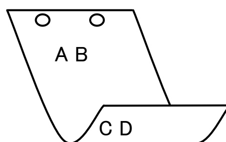
◇実行形式

lp [**-o***option*] *filename*

◇オプション

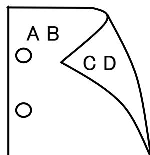
[**d**]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[**D**]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[**I***tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
7	トレイ 7 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。

B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC	往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4	表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT	表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.2x148.2mm、最大 304.8x456.8mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd	センタートレイへ排紙します。
fs	フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「AP27000」に出力する場合

% lp -d AP27000 -oI1 *filename*

◆DocuCentre-III 3000/2000

DocuCentre-III 3000/2000 をご使用の場合、この節を参照してください。

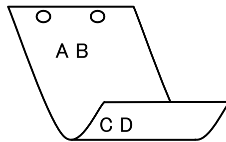
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

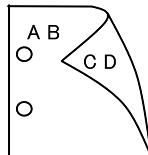
[**d**]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[**D**]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[**I***tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5 インチ）がセットされたトレイから給紙します。

EXE Executive(7.25x10.5 インチ)がセットされたトレイから給紙します。
FL フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in 4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in 5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in 8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in 8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in 11x15in がセットされたトレイから給紙します。
EC3 封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT 八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT 十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC 八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC 十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
PC ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC 往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
COM10 封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
Monarc 封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
DL 封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5 封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
C4 封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
CA4 表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT 表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm *M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3 A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5 A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6 A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4 B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5 B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6 B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE Executive(7.25x10.5 インチ）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in 4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in 5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in 8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in 8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。

MSI-11x15in　　11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT　　八開(267x388mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT 十六開(267x194mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC　　八開(270x390mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC 十六開(270x195mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　　ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC　　往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3　　封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10　　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc　　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4　　封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　　表紙レター(9x11in)を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 88.9x98.4mm、最大 297.0x432.0mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　　センタートレイへ排紙します。
fu2　　サイドトレイへ排紙します。
fs　　フィニッシャートレイへ排紙します。
ce2　　センタートレイ上段へ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
TN	thin	うす紙
OH	ohp	OHP フィルム
LB	label	ラベル紙

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DC33000」に出力する場合

```
% lp -d DC33000 -oI1 filename
```

◆ApeosPort-III 4000/3010

◆DocuCentre-III 4000/3010

ApeosPort-III 4000/3010、DocuCentre-III 4000/3010 をご使用の場合、この節を参照してください。

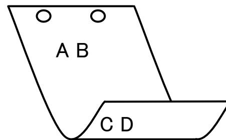
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

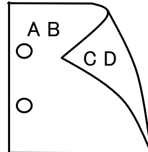
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。

LT　　レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD　　レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
ST　　ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5 インチ）がセットされたトレイから給紙します。
EXE　　Executive(7.25x10.5 インチ)がセットされたトレイから給紙します。
FL　　フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG　　リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in　　4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in　　5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in　　8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in 8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in　　11x15in がセットされたトレイから給紙します。
EC3Y　　封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT　　八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT　　十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC　　八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC　　十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
PC　　ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC　　往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
COM10　　封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
Monarc　　封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
DL　　封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5　　封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
C4　　封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
CA4　　表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT　　表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6　　A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6　　B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE　　Executive(7.25x10.5 インチ）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in　　4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。

MSI-5x7in　5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in　8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in　8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in　11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT　八開(267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT 十六開(267x194mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC　八開(270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC 十六開(270x195mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC　往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y　封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4　封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 88.9x98.4mm、最大 297.0x432.0mm

[O *tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　センタートレイへ排紙します。
fu2　サイドトレイへ排紙します。
fs　フィニッシャートレイへ排紙します。
ce2　センタートレイ上段へ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
TN	thin	うす紙
OH	ohp	OHP フィルム
LB	label	ラベル紙

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「AP34000」に出力する場合

```
% lp -d AP34000 -oI1 filename
```

◆ApeosPort-III 7000/6000/5000

◆DocuCentre-III 7000/6000/5000

ApeosPort-III 7000/6000/5000、DocuCentre-III 7000/6000/5000 をご使用の場合、この節を参照してください。

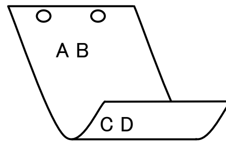
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

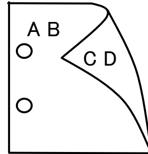
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
7	トレイ 7 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。

B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5 インチ）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC	往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE	Executive(7.25x10.5 インチ）を手差しトレイから給紙します。

MSI-4x6in　4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in　5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in　8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in　8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in　11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in　12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT　八開(267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT　十六開(267x194mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC　八開(270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC　十六開(270x195mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.2x148.2mm、最大 304.8x456.8mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　センタートレイへ排紙します。
fs　フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB　job　ジョブ単位
SE　set　セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「AP37000」に出力する場合

% lp -d AP37000 -oI1 *filename*

◆DocuCentre-IV 3060/2060

DocuCentre-IV 3060/2060 をご使用の場合、この節を参照してください。

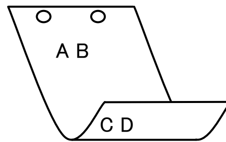
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

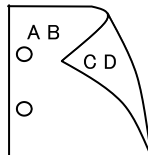
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EK2	封筒角形 2 号がセットされたトレイから給紙します。

Monarc　封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10　封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL　封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5　封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。
LT　レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
FL　フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG　リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
LD　レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
ST　ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5 インチ）がセットされたトレイから給紙します。
EXE　Executive(7.25x10.5 インチ)がセットされたトレイから給紙します。
4x6in　4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in　5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in　8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in 8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in　11x15in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT　八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT　十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC　八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC　十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
CA4　表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT　表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6　A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6　B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC　往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3　封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EK2　封筒角形 2 号を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。

MSI-ST　 ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE Executive(7.25x10.5 インチ) を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in　　　　4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in　　　　5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in　　　8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in　 8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in　　 11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT　　　　八開(267x388mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT　　　十六開(267x194mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC　　　　八開(270x390mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC　　　十六開(270x195mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4 表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT 表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　　　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 89.3x98.1mm、最大 296.6x431.8mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

ce2　　　　センタートレイ上段へ排紙します。
fu2　　　　サイドトレイへ排紙します。
fs　　　　 フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB　job　　　　ジョブ単位
SE　set　　　　セット単位

[**M=***type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル紙

[**CO=***type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[**Pr=***resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[**JOAU=***username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[**ACNA=***documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「DC43060」に出力する場合

% lp -d DC43060 -oI1 *filename*

◆ApeosPort-IV 4070/3070

◆DocuCentre-IV 4070/3070

ApeosPort-IV 4070/3070、DocuCentre-IV 4070/3070 をご使用の場合、この節を参照してください。

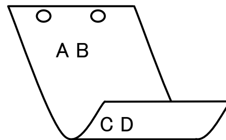
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

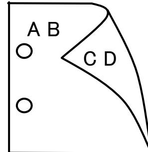
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。

LT　レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD　レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
ST　ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5 インチ）がセットされたトレイから給紙します。
EXE　Executive(7.25x10.5 インチ)がセットされたトレイから給紙します。
FL　フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG　リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in　4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in　5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in　8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in 8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in　11x15in がセットされたトレイから給紙します。
EC3Y　封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT　八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT　十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC　八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC　十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
PC　ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC　往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
COM10　封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
Monarc　封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
DL　封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5　封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
C4　封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
CA4　表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT　表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6　A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6　B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE　Executive(7.25x10.5 インチ) を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in　4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。

MSI-5x7in　5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in　8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in　8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in　11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT　八開(267x388mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT 十六開(267x194mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC　八開(270x390mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC 十六開(270x195mm) を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC　往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y　封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4　封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 88.9x98.1mm、最大 296.6x431.8mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

ce2　センタートレイ上段へ排紙します。
fu2　サイドトレイへ排紙します。
fs　フィニッシャートレイへ排紙します。
fst　排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
TN	thin	うす紙
OH	ohp	OHP フィルム
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙

[CO=*type*･･]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ１より給紙しプリンタ名「AP44070」に出力する場合

% lp –d AP44070 –oI1 *filename*

◆ApeosPort-IV 7080/6080/5080

◆DocuCentre-IV 7080/6080/5080

ApeosPort-IV 7080/6080/5080、DocuCentre-IV 7080/6080/5080 をご使用の場合、この節を参照してください。

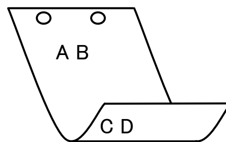
◇実行形式

lp [-o*option*] *filename*

◇オプション

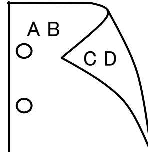
[d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
7	トレイ 7 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。

B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 号がセットされたトレイから給紙します。
C4	封筒 C4 号がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5 インチ）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive(7.25x10.5 インチ)がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC	往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE	Executive(7.25x10.5 インチ）を手差しトレイから給紙します。

MSI-4x6in　　4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in　　5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in　　8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in　　8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in　　11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in　　12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT　　八開(267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT　　十六開(267x194mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC　　八開(270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC　　十六開(270x195mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.2x148.2mm、最大 304.8x456.8mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fs　　フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「AP47080」に出力する場合

```
% lp -d AP47080 -oI1 filename
```

◆4112/4127

4112/4127 をご使用の場合、この節を参照してください。

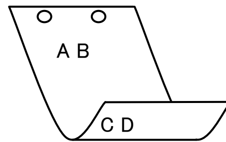
◇実行形式

lp [**-o***option*] *filename*

◇オプション

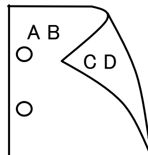
[**d**]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[**D**]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。



[**I***tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
7	トレイ 7 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。

PC　ハガキがセットされたトレイから給紙します。
DPC　往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
LT　レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD　レジャー（11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
ST　ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5 インチ）がセットされたトレイから給紙します。
EXE　Executive(7.25x10.5 インチ)がセットされたトレイから給紙します。
FL　フォリオ（8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG　リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in　4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in　5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in　8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in 8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in　11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in　12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in 12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in　13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in　13x19in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT　八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT　十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC　八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC　十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
CA4　表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT　表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3　A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4　A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5　A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6　A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4　B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5　B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6　B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-SRA3　SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC 往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-LT　レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD　レジャー（11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL　フォリオ（8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE　Executive(7.25x10.5 インチ）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in　4x6in を手差しトレイから給紙します。

MSI-ST　　　　　　　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in　　　　　5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in　　　　8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in　　8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in　　　　11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT　　　　　八開(267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT 十六開(267x194mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC　　　　　八開(270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC 十六開(270x195mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in　　　　12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12.6x19.2in　　12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in　　　　13x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x19in　　　　13x19in を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　　　　　　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　　　　　　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　　　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.0x148.0mm、最大 330.0x488.0mm

[O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

fd　　　　排出トレイへ排紙します。
fs　　　　フィニッシャートレイへ排紙します。
stc　　　 スタッカートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

[Cl]

部単位での印刷を行います。部数指定オプションが指定されない場合、このオプションは無視されます。

[t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

[E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
TN	thin	うす紙
OH	ohp	OHP フィルム
HO	holed	穴あき紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

[CO=type…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument

で記録されます。

◇使用例

トレイ 1 より給紙しプリンタ名「4112」に出力する場合

```
% lp -d 4112 -oI1 filename
```

3.4　ユーティリティ概要

3.4.1　ユーティリティ一覧

利用可能なユーティリティは次のとおりです。

[SunOS 4.x]

ファイル名	機能説明	参照節
euc2ps2	EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.5
sunras2ps2	SunRaster 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.6
sunras2g4	SunRaster 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.7
tiff2ps2	TIFF 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.8
tiff2g4	TIFF 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.9
xwd2ps2	XWD 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.10
xwd2g4	XWD 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.11
fxpif	lpr コマンドにより起動される文字列出力フィルターです。	3.12
fxpvf	lpr コマンドにより起動されるラスターデータ出力フィルターです。	3.13
fxpg4f	lpr コマンドにより起動されるラスターデータを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.14
fxpof	lpr コマンドにより起動されるバナー出力フィルターです。	3.15
fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンドです。	3.16
.fxpsdefault .fxpsdefault205	デフォルトコマンドオプションファイルです。fxpif、fxpvf、fxpof フィルターの独自オプションが設定できます。	3.16

[Solaris]

ファイル名	機能説明	参照節
euc2ps2	EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.5
sunras2ps2	SunRaster 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.6
sunras2g4	SunRaster 形式のイメージファイルを G4 形式に変換します。	3.7
tiff2ps2	TIFF 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.8
tiff2g4	TIFF 形式のイメージファイルを G4 形式に変換します。	3.9
xwd2ps2	XWD 形式のイメージファイルを PostScript 言語のプログラムに変換します。	3.10
xwd2g4	XWD 形式のイメージファイルを G4 形式に変換します。	3.11
fxpif	PostScript 言語プログラムデータに給紙トレイ指定を行うオ	3.12

	ペレーターを付加します。	
posteuc.fd	euc2ps2 用フィルター記述ファイルです。	3.18
Posteuc205.fd	euc2ps2 用フィルター記述ファイルです。	3.19
FX4150.fd	Laser Press 4150 シリーズ用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.20
FX4160.fd AblePR.fd	Laser Press 4160、Able Model-PR シリーズ用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.21
FX4200.fd AblePR2.fd	Laser Press 4200/4300 シリーズ、 Able Model-PRⅡ用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.22
FX4210.fd FXDC250.fd FXDC251.fd FXDC352.fd FXDP400.fd FXDP401.fd	Laser Press 4210/4410 シリーズ、 DocuCentre 250/350/400、DocuCentre 251/351/401、 DocuCentre 352/402、Docu Print 400/250、 DocuPrint 401 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.23
FX2100.fd	Laser Press 2100PS 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.24
FXDC450.fd FXDC450E.fd	DocuCentre 450/550 CP、DocuCenter 450E/550E/600 CP 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.25
FXDC505.fd	DocuCentre 505/605/705 CP 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.26
FXDC507.fd	DocuCentre 507/607/707 CP 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.27
FXDC719.fd	DocuCentre 719/659/559 CP 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.28
FXDC230.fd	DocuCentre 230/280 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.29
FXDP201.fd	DocuPrint 201PS 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.30
FXDP280.fd	DocuPrint 280 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.31
FXDP260.fd	DocuPrint 260/360 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.32
FXDP205.fd	DocuPrint 205/255/305 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.33
FXDP340A.fd	DocuPrint 340A 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.34
FXDP350JM.fd	DocuPrint 350JM 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.35
FXDP505.fd	DocuPrint 405/505 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.36
FXDP2060.fd	DocuPrint 2060/3050 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.37
FXDP3100.fd	DocuPrint 3100/3000 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.38
FXDP4050.fd	DocuPrint 4050 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.39
FXDP5060.fd	DocuPrint 5060/4060 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.40
FXDC185.fd	DocuCentre 1085/1055/185/155 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.41
FXDCf285.fd	DocuCentre f285/f235/a285/a235 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.42
FXDCf1100.fd	DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.43
FXAP450I.fd FXDC450I.fd	ApeosPort 450 I/350 I、DocuCentre 450 I/350 I 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.44
FXAP750I.fd FXDC750I.fd	ApeosPort 750 I/650 I/550 I、DocuCentre 750 I/650 I/550 I 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.45
FXAP24000.fd FXDC24000.fd	ApeosPort-II 4000/3000、DocuCentre-II 4000/3000 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.46
FXAP27000.fd FXDC27000.fd	ApeosPort-II 7000/6000/5000、	3.47

	DocuCentre-II 7000/6000/5000 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	
FXDC33000.fd	DocuCentre-III 3000 / 2000 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.48
FXAP34000.fd FXDC34000.fd	ApeosPort-III 7000/6000/5000、 DocuCentre-III 7000/6000/5000 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.49
FXAP37000.fd FXDC37000.fd	ApeosPort-III 7000/6000/5000、 DocuCentre-III 7000/6000/5000 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.50
FXDC43060.fd	DocuCentre-IV 3060/2060 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.51
FXAP44070.fd FXDC44070.fd	ApeosPort-IV 4070/3070、 DocuCentre-IV 4070/3070 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.52
FXAP47080.fd FXDC47080.fd	ApeosPort-IV 7080/6080/5080、 DocuCentre-IV 7080/6080/5080 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.53
FX4112.fd	4112/4127 用 fxpif フィルター記述ファイルです。	3.54

[Linux]

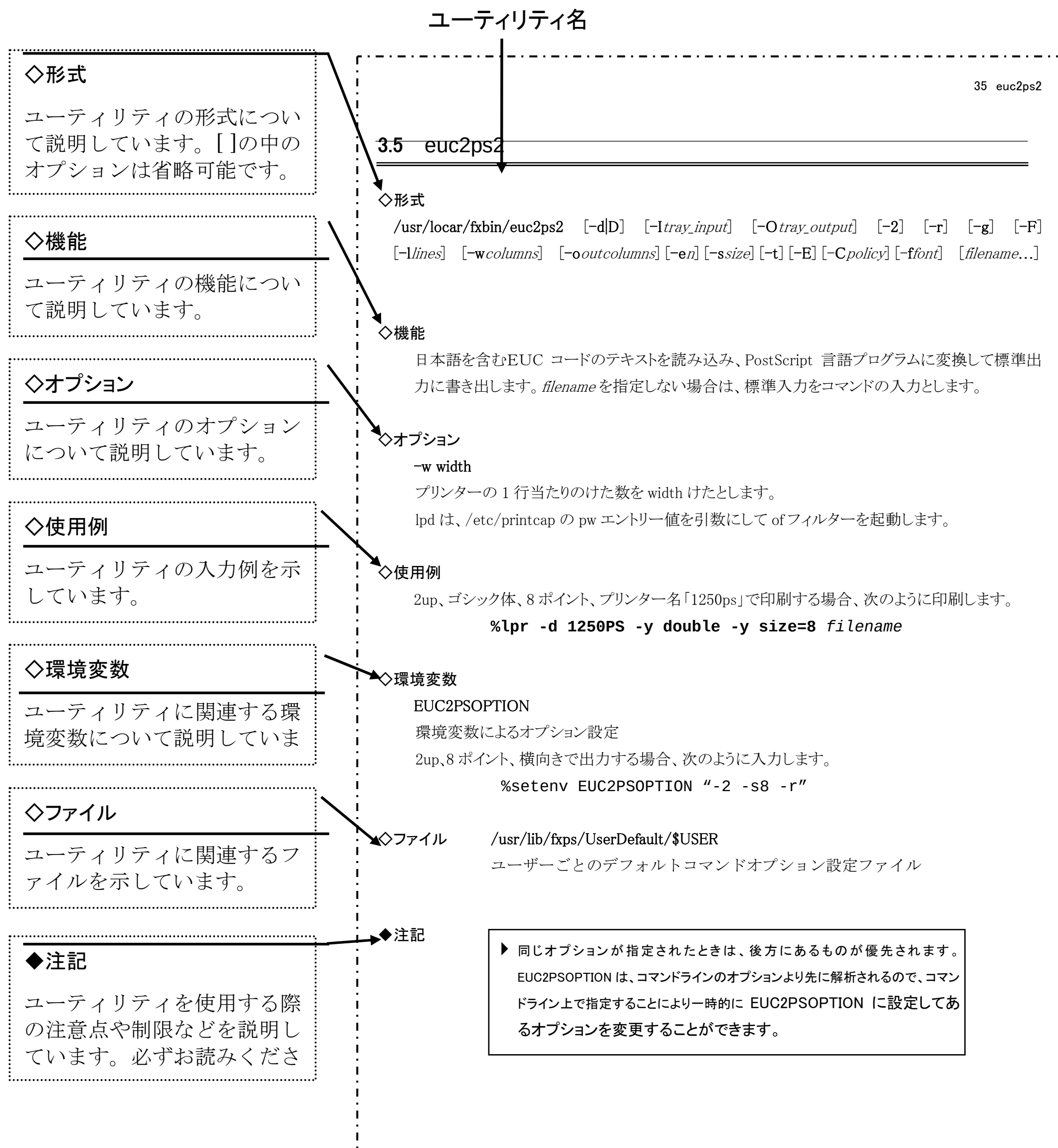
ファイル名	機能説明	参照節
euc2ps2	EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.5
tiff2ps2	TIFF 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.8
tiff2g4	TIFF 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.9
xwd2ps2	XWD 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.10
xwd2g4	XWD 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.11
fxpif	lpr コマンドにより起動される文字列出力フィルターです。	3.12
fxpvf	lpr コマンドにより起動されるラスターデータ出力フィルターです。	3.13
fxpg4f	lpr コマンドにより起動されるラスターデータを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.14
fxpof	lpr コマンドにより起動されるバナー出力フィルターです。	3.15
fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンドです。	3.16
.fxpsdefault .fxpsdefault205	デフォルトコマンドオプションファイルです。fxpif、fxpvf、fxpof フィルターの独自オプションが設定できます。	3.16

[HP-UX]

ファイル名	機能説明	参照節
euc2ps2	EUC コードで表現された日本語のテキストファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.5
tiff2ps2	TIFF 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.8
tiff2g4	TIFF 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.9
xwd2ps2	XWD 形式のイメージファイルを PostScript 言語プログラムに変換します。	3.10
xwd2g4	XWD 形式のイメージファイルを G4 形式の PostScript 言語プログラムに変換します。	3.11

3.4.2　ユーティリティフォーマット

「3.5　euc2ps2」以降、次の形式で、ユーティリティの使用方法を説明しています。



3.5　euc2ps2（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

◇形式

/usr/local/fxbin/euc2ps2 [-d | -D] [-I*tray_input*] [-O*tray_output*] [-2] [-r] [-g] [-F] [-l*lines*] [-wcolumns] [-o*outcolumns*] [-L*outlines*] [-e*n*] [-s*size*] [-t] [-E] [-C*policy*][-mg=*upmargin:bottommargin:rightmargin:leftmargin*] [-f*font*] [-jf*jfont*] [-Nc=*copies*] [-Cl] [-ps] [-TX] [-Hd=*position:format:page*] [-Hf*headerfont*] [*filename*...]

/usr/local/fxbin205/euc2ps2 [-d | -D] [-I*tray_input*] [-O*tray_output*] [-2] [-r] [-g] [-F] [-l*lines*] [-wcolumns] [-o*outcolumns*] [-L*outlines*] [-e*n*] [-s*size*] [-t] [-t2=*tonersave*] [-E] [-mg=*upmargin:bottommargin:rightmargin:leftmargin*] [-f*font*] [-jf*jfont*] [-Nc=*copies*] [-Cl] [-ps] [-TX] [-Hd=*position:format:page*] [-Hf*headerfont*] [-Jo=*type*] [-M=*type*] [-Pr=*resolution*] [-CO=*type*…] [-JOAU=*username*] [-ACNA=*documentname*] [*filename*...]

◇機能

日本語を含む EUC コードのテキストを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。

環境変数 EUC2PSOPTION に文字列を設定することで、コマンドラインのオプションの入力を省略することができます。

環境変数 EUC2PSOPTION およびコマンドラインで、何もオプションを指定していなければ、フォントサイズ 10 ポイントで用紙を縦長に使用して出力します。

環境変数 EUC2PSOPTION とコマンドラインで同じオプションが指定されている場合は、コマンドラインで指定したオプションが優先されます。

euc2ps2 は、用紙サイズに従って行けたを調整する PostScript 言語プログラムを出力します。このため特に用紙サイズを意識する必要はありません。行けたを指定するオプションがある場合は、用紙サイズによる自動改行を行わず、指定された行けたの指定に従って出力します。

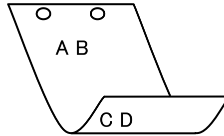
euc2ps2 は次の制御コードを解釈します。その他の制御コード/未定義コードについては、8 進数へ変換し、そのまま出力します。

LF	改行
FF	改ページ（オプションで変更可）
TAB	8 けたタブストップ（オプションで変更可）
BS	1 文字戻る

◇オプション

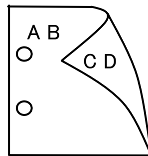
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
m1	マルチトレイ 1 から給紙します。
m2	マルチトレイ 2 から給紙します。
m3	マルチトレイ 3 から給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから

	給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
Pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Pakai	八開用紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長型 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-LP	長尺紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

Mono2 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
7	トレイ 7 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。

B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in	12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in	13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in	13x19in がセットされたトレイから給紙します。
PC	はがきがセットされたトレイから給紙します。
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3Y	封筒洋長形３号がセットされたトレイから給紙します。
EY4	封筒洋形４号をセットされたトレイから給紙します。
EC3	封筒長形３号がセットされたトレイから給紙します。
EK2	封筒角形２号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
C4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
KNS	かんばん S セットされたトレイから給紙します。

KN	かんばんがセットされたトレイから給紙します。
KNL	かんばん L がセットされたトレイから給紙します。
GN	現品票がセットされたトレイから給紙します。
GNL	現品票 L がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-SRA3	SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12.6x19.2in	12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x19in	13x19in を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC	往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EY4	封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EK2	封筒角形 2 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。

MSI-DL　　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4　　封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

Mono 用の場合

最小 86.1x148.2mm、最大 304.8x508.0mm
範囲外のサイズを指定した場合、エラーとなります。

Mono2 用の場合

最小 74.8x98.4mm、最大 304.8x900.3mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。
（長尺紙が給紙可能な機種のみ）

297x900mm
210x900mm

AutoPT　　[M=*type*]オプションで指定する用紙種別がセットされたトレイから給紙します。

参照 ▶　出力可能な用紙サイズについては、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[-O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

fd　　フェースダウントレイ／センタートレイへ排紙します。
fu　　フェースアップトレイ／サイドトレイへ排紙します。
m*n*　　メールボックスのビン n へ排紙します。
　　n は 1 以上 10 以下の値です。
st*n*　　ソーターに n 部コピーして排紙します。
　　n は 1 以上 10 以下の値です。
fs　　ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
fs*n*　　ステープルフィニッシャーのビン n に排紙します。
　　n は 1 以上 3 以下の値です。

Mono2 用の場合

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
of	オフセット排出トレイへ排紙します。
fst	排出トレイへ排紙します。
ce2	センタートレイ上段へ排紙します。
stc	スタッカートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。

Laser Press 4160、Able Model-PR シリーズでは、メールボックスとソーターに排紙するときには、プリンタの操作パネルで設定された動作モードと一致していなければなりません。一致していないときには、デフォルトのトレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスやパンチを打つことはできません。

[-r]

出力を 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

[-Nc=*copies*]

出力部数の指定を行います（copies は正の整数です）。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。このオプションは、部単位での印刷が使用できるプリンタのみ有効です。また部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

[-2]

2 段組で印刷します。

[-F]

改ページコード（FF）を無視します。

[-l*lines*]

1 ページ当たりの行数を lines 行とします。

[-w*columns*]

1 行当たりのけた数を columns けたとします。

[-L*outlines*]

outlines 行目から文字を印刷します。

[-o*outcolumns*]

半角文字に換算して outcolumns けた目から文字を印刷します。

[-mg=*upmargin:bottommargin:rightmargin:leftmargin*]

ページの余白をインチ単位で指定します。upmargin（上余白）、bottommargin（下余白）、rightmargin（右余白）、leftmargin（左余白）は、正の実数（小数点第二位まで有効）です。デフォルトは 0 です。

-mg=0:0:0:3	左余白を 3 インチにします。
-mg=3:3:0:5	上余白を 3、下余白を 3、左余白を 5 インチにします。 余白が 0 インチの場合値を省略できます。
-mg=:::3	左余白を 3 インチにします。

[-e*n*]

水平タブを n けたの空白（スペース）に展開します。デフォルトは 8 です。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=*tonersave*]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1	ややうすい(節約量小)
Mode2	うすい(節約量大)
Mode3	かなりうすい(ドラフト)

（DocuPrint 3100/3000 用です。）

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[-g]

日本語文字をゴシック体で印刷します。このオプションを省略した場合は、明朝体で印刷します。

[-s*size*]

フォントサイズを size ポイントとします。デフォルトは 10 ポイントです。

[-f*font*]

半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。

[-jf*jfont*]

日本語を印刷するためのフォントを指定します。ゴシック指定オプションと同時に使用される場合は、後方にあるものが優先されます。また、誤ったフォント名や、プリンタが使用できないフォント名を入力された場合は、デフォルトの欧文フォントが使用されます。

- フォントの指定は、「-f」または「-jf」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

```
% euc2ps2 –fCourier-Oblique filename
% euc2ps2 -jfHeiseiMin-W3-H filename
```

参照 ▶ 使用できるフォントについては、「付録 B　使用できるフォント」または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[-C*policy*]

Laser Press 2100P および DocuPrint 201PS で使用します。要求された PageSize が使用可能な用紙のいずれにも一致しないときに使う回復方針を指定します。

パラメーターは 0 から 6 までの数値を選択することができますが、2 もしくは 3 を使用されることをお勧めします。

プリンタの初期値は Laser Press 2100PS が 3、DocuPrint 201PS が 2 に設定されています。

0　印刷が中止され、configration エラーを生成します。

1　プリント指示した PageSize を無視して印刷します。

2　Laser Press 2100PPS では、トレイに指定した用紙が 180 秒以内に補給されなかった場合、印刷が中止され、configration エラーを生成し、印刷は中止されます。

DocuPrint 201PS では、トレイに指定した用紙が存在しない場合、指定した用紙の補給を促すメッセージがプリンタのパネルに表示され、用紙の補給を待ちます。

3　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択し、拡大または、縮小して印刷します。

4　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択し、拡大して印刷します。

5　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

6　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

[-ps]

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合は fxpif と同様の処理を行います。

[-Hd=*position:format:page*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザー情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。但し、この指定はテキストファイルを変換する場合のみ有効で、PostScript ファイルを変換する場合は常に左下に出力します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。
省略した場合は uh がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を tuh と指定した場合は次のように出力します。

2002/11/11 Fri 01:23:45 JST User:*username* Host:*hostname*

page は出力するページを指定します。この指定は省略可能です。

f	先頭ページのみ出力（PostScript ファイル変換時デフォルト）
a	全ページ出力（テキストファイル変換時デフォルト）

指定は次のように行います。

テキストファイル変換で右上にユーザー名、ホスト名の順番で全ページに出力する場合

（ユーザー名、ホスト名、全ページ出力はデフォルトなので指定は必要ありません。）

-Hd=ur

-Hd=ur:uh

-Hd=ur:uh:a

PostScript ファイル変換で左下に日時、ホスト名の順番で全ページに出力する場合

（PostScript 変換時は先頭ページ出力がデフォルトなので必ず a 指定が必要です）

-Hd=dl:th:a

注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は euc2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。

PostScript ファイル変換時に全ページ出力指定を行っても出力されない場合があります。その際は、先頭ページのみ出力の指定を行ってください。

日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▸ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。

以下のオプションは Mono2 用です。

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

[-JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。
XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。(HP-UX のみ使用可能です。)

[-ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。

XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。

プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。(HP-UX のみ使用可能です。)

◇ 使用例

「file1.c」ファイルのプログラムリストを、紙を横向きにして、2up で印刷する PostScript 言語プログラムに変換しプリントする場合、次のように入力します。

```
% euc2ps -2r file1.c
```

file1 を PostScript 言語プログラムに変換し、ファイル file1.ps に出力する場合、次のように入力します。

```
% euc2ps2 file1 > file1.ps
```

コマンドの出力結果を euc2ps2 で PostScript 言語プログラムに変換し、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% ls | euc2ps2 | lpr        (Sun /Linux の場合)
% ls | euc2ps2 | lp         (Solaris /HP-UX の場合)
```

◇ 環境変数

EUC2PSOPTION 環境変数によるオプション設定

2up､8 ポイント、横向きで出力する場合、次のように入力します。

```
% setenv EUC2PSOPTION "-2 -s8 -r"
```

printcap で指定する fxpif フィルターと同じオプションを使用する場合、次のように入力します。(Sun /Linux のみ使用可能です。)

```
% setenv EUC2PSOPTION "<fxpif>"
```

◇ファイル

$HOME/.fxpsdefault

$HOME/.fxpsdefault205

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル(Sun/Linux)

◆ 注記

- 同じオプションが指定されたときは、後方にあるものが優先されます。EUC2PSOPTION は、コマンドラインのオプションより先に解析されるので、コマンドライン上で指定することにより一時的に EUC2PSOPTION に設定してあるオプションを変更することができます。
- euc2ps2 のデフォルトオプションで出力した PostScript プログラムファイルには、ページ番号のコメント記述（%%page:m n）を出力しません。したがって、euc2ps2 の出力を他のアプリケーション（TRANSCRIPT の psrev 等）の入力とするときには、行数指定（-l*lines*）を入れてページ番号記述を付加してください。
- BS コードが行頭にあると、次の文字の印刷位置が行頭より左側になってしまいます。
- 1 行内にタブコードが複数ある場合に、自動改行によりタブ位置がずれることがあります。このような場合には、-l や-w オプションを指定してください。
- -w オプションで指定する桁数（columns）は、実際に印刷される文字数ではありません。-w オプションで指定する桁数から-o オプションで指定する出力カラム位置（outcolumns）を引いた値が、実際に印刷される半角文字数となります。
  -w、-l、-o、-L オプションと同時に、-mg オプションを指定することはできません。
  余白指定オプション（-mg=u:b:r:l）の余白の開始位置は、用紙の端からではなく、
  各用紙に対するプリンタの印刷可能領域からの余白を設定します。
  なお印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体の
  マニュアルを参照してください。
  -ps オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、
  ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。
  通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。
- HP-UX では euc2ps2 は PostScript 言語で書かれたファイル（%!で始まるファイル）を指定されると、自動的に PostScript ファイルと判断し、もともとのファイルにオプションのみを付加して出力します。PostScript 言語で書かれたファイルをテキストとして出力したい場合にはオプション「TX」を指定します。

3.6　sunras2ps2（Sun/Solaris）

◇形式

/usr/local/fxbin/sunras2ps2 [-d｜-D] [-I*tray_input*] [-O*tray_output*] [-r] [-n]
[-l *left bottom*] [-s *width height*] [-S *width*] [-t] [-E] [-C*policy*] [-Nc=*copies*] [-Cl]
[-G4] [-Hd= *position:format*] [-Hf*headerfont*]
[*filename*...]

/usr/local/fxbin205/sunras2ps2 [-d｜-D] [-I*tray_input*] [-O*tray_output*] [-r] [-n]
[-l *left bottom*] [-s *width height*] [-S *width*] [-t] [-t2=*tonersave*] [-E] [-Nc=*copies*]
[-Cl] [-G4] [-Hd= *position:format*] [-Hf*headerfont*]
[-Jo=*type*] [-M=*type*] [-Pr=*resolution*] [-CO=*type*…]
[*filename*...]

◇機能

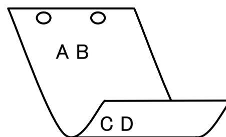
SunRaster フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、8、24、32 ビットの SunRaster フォーマットのファイルを指定することができます。

sunran2ps2 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された SunRaster フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション（-s,-S）を指定して変換してください。

◇オプション

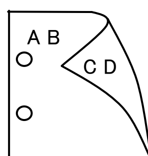
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
m1	マルチトレイ 1 から給紙します。
m2	マルチトレイ 2 から給紙します。
m3	マルチトレイ 3 から給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
Pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。

MSI-FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Pakai	八開用紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長型 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-LP	長尺紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

Mono2 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
7	トレイ 7 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。

5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in	12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in	13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in	13x19in がセットされたトレイから給紙します。
PC	はがきがセットされたトレイから給紙します。
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3Y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EY4	封筒洋形 4 号がセットされたトレイから給紙します。
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EK2	封筒角形 2 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
C4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
KNS	かんばん S セットされたトレイから給紙します。
KN	かんばんがセットされたトレイから給紙します。
KNL	かんばん L がセットされたトレイから給紙します。
GN	現品票がセットされたトレイから給紙します。
GNL	現品票 L がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-SRA3	SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を

手差しトレイから給紙します。

MSI-LG　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST　ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE　Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in　4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in　5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in　8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in　8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in　11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in　12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12.6x19.2in　12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in　13x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x19in　13x19in を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC　はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC　往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y　封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EY4　封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3　封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EK2　封筒角形 2 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT　八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT　十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC　八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC　十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc　封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4　封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイが選択されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

Mono 用の場合

最小 86.1x148.2mm、最大 304.8x508.0mm
範囲外のサイズを指定した場合、エラーとなります。

Mono2 用の場合

最小 74.8x98.4mm、最大 304.8x900.3mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

（長尺紙が給紙可能な機種のみ）

	297x900mm
	210x900mm
AutoPT	**[M=*type*]**オプションで指定する用紙種別がセットされたトレイから給紙します。

参照 ▶ 出力可能な用紙サイズについては、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[-O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

fd	フェースダウントレイ／センタートレイへ排紙します。
fu	フェースアップトレイ／サイドトレイへ排紙します。
m*n*	メールボックスのビン n へ排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。
st*n*	ソーターに n 部コピーして排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。
fs	ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
fs*n*	ステープルフィニッシャーのビン n に排紙します。 n は 1 以上 3 以下の値です。

Mono2 用の場合

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
of	オフセット排出トレイへ排紙します。
fst	排出トレイへ排紙します。
ce2	センタートレイ上段へ排紙します。
stc	スタッカートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。

Laser Press 4160、Able Model-PR シリーズでは、メールボックスとソーターに排紙するときには、プリンタの操作パネルで設定された動作モードと一致していなければなりません。一致していないときには、デフォルトのトレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスやパンチを打つことはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=*copies*]

出力部数の指定を行います（copies は正の整数です）。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。このオプションは、部単位での印刷が使用できるプリンタのみ有効です。また部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-G4]

G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで sunras2g4 と同様の動作をします。

[-l *left bottom*]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom ともに 0.25 インチです。

[-s *width height*]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[-S *width*]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=*tonersave*]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1	ややうすい(節約量小)
Mode2	うすい(節約量大)
Mode3	かなりうすい(ドラフト)

（DocuPrint 3100/3000 用です。）

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[-C*policy*]

Laser Press 2100PS および DocuPrint 201PS で使用します。要求された PageSize が使用可能な用紙のいずれにも一致しないときに使う回復方針を指定します。パラメーターは 0 から 6 までの数値を選択することができますが、2 もしくは 3 を使用されることをお勧めします。

プリンタの初期値は Laser Press 2100PS が 3、DocuPrint 201PS が 2 に設定されています。

0	印刷が中止され、configration エラーを生成します。

1 プリント指示した PageSize を無視して印刷します。

2 Laser Press 2100PS では、トレイに指定した用紙が 180 秒以内に補給されなかった場合、印刷が中止され、configration エラーを生成します。
DocuPrint 201PS では､トレイに指定した用紙が存在しない場合、指定した用紙の補給を促すメッセージがプリンタのパネルに表示され、用紙の補給を待ちます。

3 指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合､使用可能な用紙で一番近いものを選択し､拡大または､縮小して印刷します。

4 指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合､使用可能な用紙で次に大きいものを選択し、拡大して印刷します。

5 指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合､使用可能な用紙で一番近いものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

6 指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合､使用可能な用紙で次に大きいものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

[-Hd=*position*:*format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザー情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。
省略した場合は uh がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を tuh と指定した場合は次のように出力します。

2002/11/11 Fri 01:23:45 JST User:*username* Host:*hostname*

指定は次のように行います。

右上にユーザー名、ホスト名の順番で出力する場合。
(ユーザー名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。)

-Hd=ur
-Hd=ur:uh
-Hd=dl:th

注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は sunras2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。

以下のオプションは Mono2 用です。

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

◇使用例

Sun の場合

表示画面イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2ps2 > file1.ps
```

表示画面イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% screendump | sunras2ps2 | lpr
```

Solaris の場合

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2ps2 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

```
% sunras2ps2 file1.rs > file1.ps
```

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2ps2 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% sunras2ps2 file1.rs | lp
```

◆ 注記

- -s と-S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- 出力サイズオプション（-s、-S）が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- 印刷位置指定オプション（-l left bottom）で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.7　sunras2g4（Sun/Solaris）

◇形式

/usr/local/fxbin/ sunras2g4 [**-d｜-D**] [**-I***tray_input*] [**-O***tray_output*] [**-r**] [**-n**]
[**-l** *left bottom*] [**-s** *width height*] [**-S** *width*] [**-t**] [**-E**] [**-C***policy*] [**-Nc=***copies*] [**-Cl**]
[**-Hd=** *position:format*] [**-Hf***headerfont*]
[*filename*...]

/usr/local/fxbin205/ sunras2g4 [**-d｜-D**] [**-I***tray_input*] [**-O***tray_output*] [**-r**] [**-n**]
[**-l** *left bottom*] [**-s** *width height*] [**-S** *width*] [**-t**] [**-t2=***tonersave*] [**-E**] [**-Nc=***copies*]
[**-Cl**] [**-Hd=** *position:format*] [**-Hf***headerfont*]
[**-Jo=***type*] [**-M=***type*] [**-Pr=***resolution*] [**-CO=***type*…]
[*filename*...]

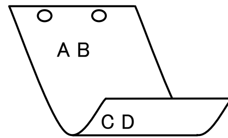
◇機能

SunRaster フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、8、24、32 ビットの SunRaster フォーマットのファイルを指定することができます。
sunras2g4 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された SunRaster フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション（-s,-S）を指定して変換してください。
sunras2g4 は、画素の深さが 1 ビットの場合、CCITT グループ 4 形式の圧縮を行います。生成される PostScript 言語プログラムサイズは、sunras2ps2 に比べて小さくなります。
sunras2g4 は sunras2ps2 のハードリンクファイルです。

◇オプション

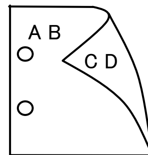
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
m1	マルチトレイ 1 から給紙します。
m2	マルチトレイ 2 から給紙します。
m3	マルチトレイ 3 から給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。

LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
Pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Pakai	八開用紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長型 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-LP	長尺紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

Mono2 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
7	トレイ 7 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。

A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in	12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in	13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in	13x19in がセットされたトレイから給紙します。
PC	はがきがセットされたトレイから給紙します。
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3Y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EY4	封筒洋形 4 号がセットされたトレイから給紙します。
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EK2	封筒角形 2 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
C4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。

KNS	かんばん S セットされたトレイから給紙します。
KN	かんばんがセットされたトレイから給紙します。
KNL	かんばん L がセットされたトレイから給紙します。
GN	現品票がセットされたトレイから給紙します。
GNL	現品票 L がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-SRA3	SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12.6x19.2in	12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x19in	13x19in を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC	往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EY4	封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EK2	封筒角形 2 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。

MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4　封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイが選択されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

Mono 用の場合

最小 86.1x148.2mm、最大 304.8x508.0mm
範囲外のサイズを指定した場合、エラーとなります。

Mono2 用の場合

最小 74.8x98.4mm、最大 900.3x508.0mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。
（長尺紙が給紙可能な機種のみ）

297x900mm
210x900mm

AutoPT　[M=*type*]オプションで指定する用紙種別がセットされたトレイから給紙します。

参照 ▶ 出力可能な用紙サイズについては、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[-O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。
排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

fd　フェースダウントレイ／センタートレイへ排紙します。
fu　フェースアップトレイ／サイドトレイへ排紙します。
m*n*　メールボックスのビン n へ排紙します。
n は 1 以上 10 以下の値です。
st*n*　ソーターに n 部コピーして排紙します。
n は 1 以上 10 以下の値です。
fs　ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
fs*n*　ステープルフィニッシャーのビン n に排紙します。
n は 1 以上 3 以下の値です。

Mono2 用の場合

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
of	オフセット排出トレイへ排紙します。
fst	排出トレイへ排紙します。
ce2	センタートレイ上段へ排紙します。
stc	スタッカートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。

Laser Press 4160、Able Model-PR シリーズでは、メールボックスとソーターに排紙するときには、プリンタの操作パネルで設定された動作モードと一致していなければなりません。一致していないときには、デフォルトのトレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスやパンチを打つことはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、紙を横向きに使用します。

[-Nc=*copies*]

出力部数の指定を行います（copies は正の整数です）。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。このオプションは、部単位での印刷が使用できるプリンタのみ有効です。また部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-l *left bottom*]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom ともに 0.25 インチです。

[-s *width height*]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[-S *width*]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=*tonersave*]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1　　　ややうすい(節約量小)

Mode2　　　うすい(節約量大)

Mode3　　　かなりうすい(ドラフト)

（DocuPrint 3100/3000 用です。）

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[-C*policy*]

Laser Press 2100P および DocuPrint 201PS で使用します。要求された PageSize が使用可能な用紙のいずれにも一致しないときに使う回復方針を指定します。パラメーターは 0 から 6 までの数値を選択することができますが、2 もしくは 3 を使用されることをお勧めします。

プリンタの初期値は Laser Press 2100PS が 3、DocuPrint 201PS が 2 に設定されています。

0　　印刷が中止され、configration エラーを生成します。

1　　プリント指示した PageSize を無視して印刷します。

2　　Laser Press 2100PS では、トレイに指定した用紙が 180 秒以内に補給されなかった場合、印刷が中止され、configration エラーを生成します。

DocuPrint 201PS では､トレイに指定した用紙が存在しない場合、指定した用紙の補給を促すメッセージがプリンタのパネルに表示され、用紙の補給を待ちます。

3　　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合､使用可能な用紙で一番近いものを選択し、拡大または、縮小して印刷します。

4　　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合､使用可能な用紙で次に大きいものを選択し、拡大して印刷します。

5　　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合､使用可能な用紙で一番近いものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

6　　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合､使用可能な用紙で次に大きいものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザー情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は uh がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を tuh と指定した場合は次のように出力します。

2002/11/11 Fri 01:23:45 JST User:*username* Host:*hostname*

指定は次のように行います。

右上にユーザー名、ホスト名の順番で出力する場合。

（ユーザー名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。）

-Hd=ur

-Hd=ur:uh

注記 ▸ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は sunras2g4 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。

日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▸ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。

以下のオプションは Mono2 用です。

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙

PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

[**CO=***type*･･]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[**Pr=***resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

◇使用例

Sun の場合

表示画面イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

% screendump | sunras2g4 > file1.ps

表示画面イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

% screendump | sunras2g4 | lpr

Solaris の場合

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2g4 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

% sunras2g4 file1.rs > file1.ps

snapshot コマンドを使って表示画面のイメージをファイルに出力し、sunras2g4 コマンドでこのファイルを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

% sunras2g4 file1.rs | lp

◆ 注記

- -s と-S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- 出力サイズオプション（-s、-S）が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- 印刷位置指定オプション（-l left bottom）で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.8　tiff2ps2（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

◇形式

/usr/local/fxbin/tiff2ps2 [-d｜-D] [-I*tray_input*] [-O*tray_output*] [-r] [-n]
[-l *left bottom*] [-s *width height*] [-S *width*] [-t] [-E] [-C*policy*] [-Nc=*copies*] [-Cl]
[-G4] [-Hd=*position:format*] [-Hf*headerfont*]
[*filename*...]

/usr/local/fxbin205/tiff2ps2 [-d｜-D] [-I*tray_input*] [-O*tray_output*] [-r] [-n]
[-l *left bottom*] [-s *width height*] [-S *width*] [-t] [-t2=*tonersave*] [-E] [-Nc=*copies*]
[-Cl] [-G4] [-Hd=*position:format*] [-Hf*headerfont*]
[-Jo=*type*] [-M=*type*] [-Pr=*resolution*] [-CO=*type*…]
[*filename*...]

◇機能

TIFF フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの TIFF フォーマットのファイルを指定することができます。

対応する圧縮形式は以下の 4 つです。

・ハフマン圧縮(CCITT Group 3 変形ハフマンランレングスエンコーディング)
・Fax-CCITT3 圧縮(ファクシミリ互換の CCITT Group 3)
・パックビット圧縮
・非圧縮

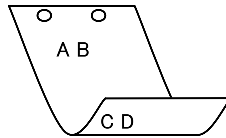
※上記圧縮形式であっても、 1 ファイルに複数画像を持つ TIFF ファイルには、対応していません。

tiff2ps2 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された TIFF フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション（-s,-S）を指定して変換してください。

◇オプション

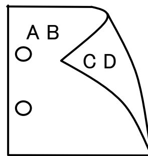
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
m1	マルチトレイ 1 から給紙します。
m2	マルチトレイ 2 から給紙します。
m3	マルチトレイ 3 から給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。

LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
Pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Pakai	八開用紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長型 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-LP	長尺紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

Mono2 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
7	トレイ 7 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。

A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in	12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in	13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in	13x19in がセットされたトレイから給紙します。
PC	はがきがセットされたトレイから給紙します。
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3Y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EY4	封筒洋形 4 号がセットされたトレイから給紙します。
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EK2	封筒角形 2 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
C4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。

KNS	かんばん S セットされたトレイから給紙します。
KN	かんばんがセットされたトレイから給紙します。
KNL	かんばん L がセットされたトレイから給紙します。
GN	現品票がセットされたトレイから給紙します。
GNL	現品票 L がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-SRA3	SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12.6x19.2in	12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x19in	13x19in を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC	往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EY4	封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EK2	封筒角形 2 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。

MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4　封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイが選択されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

Mono 用の場合

最小 86.1x148.2mm、最大 304.8x508.0mm
範囲外のサイズを指定した場合、エラーとなります。

Mono2 用の場合

最小 74.8x98.4mm、最大 304.8x900.3mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。
（長尺紙が給紙可能な機種のみ）

297x900mm
210x900mm

AutoPT　[M=*type*]オプションで指定する用紙種別がセットされたトレイから給紙します。

参照 ▶ 出力可能な用紙サイズについては、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[-O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。
排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

fd　フェースダウントレイ／センタートレイへ排紙します。
fu　フェースアップトレイ／サイドトレイへ排紙します。
m*n*　メールボックスのビン n へ排紙します。
n は 1 以上 10 以下の値です。
st*n*　ソーターに n 部コピーして排紙します。
n は 1 以上 10 以下の値です。
fs　ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
fs*n*　ステープルフィニッシャーのビン n に排紙します。
n は 1 以上 3 以下の値です。

Mono2 用の場合

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
of	オフセット排出トレイへ排紙します。
fst	排出トレイへ排紙します。
ce2	センタートレイ上段へ排紙します。
stc	スタッカートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）が選択されます。

Laser Press 4160、Able Model-PR シリーズでは、メールボックスとソーターに排紙するときには、プリンタの操作パネルで設定された動作モードと一致していなければなりません。一致していないときには、デフォルトのトレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスやパンチを打つことはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=*copies*]

出力部数の指定を行います（copies は正の整数です）。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。このオプションは、部単位での印刷が使用できるプリンタのみ有効です。また部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-G4]

G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで tiff2g4 と同様の動作をします。

[-l *left bottom*]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom ともに 0.25 インチです。

[-s *width height*]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[-S *width*]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=*tonersave*]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1　　　ややうすい(節約量小)

Mode2　　　うすい(節約量大)

Mode3　　　かなりうすい(ドラフト)

（DocuPrint 3100/3000 用です。）

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[-C*policy*]

Laser Press 2100PS および DocuPrint 201PS で使用します。要求された PageSize が使用可能な用紙のいずれにも一致しないときに使う回復方針を指定します。パラメーターは 0 から 6 までの数値を選択することができますが、2 もしくは 3 を使用されることをお勧めします。

プリンタの初期値は Laser Press 2100PS が 3、DocuPrint 201PS が 2 に設定されています。

0	印刷が中止され、configration エラーを生成します。
1	プリント指示した PageSize を無視して印刷します。
2	Laser Press 2100PS では、トレイに指定した用紙が 180 秒以内に補給されなかった場合、印刷が中止され、configration エラーを生成します。DocuPrint 201PS では、トレイに指定した用紙が存在しない場合、指定した用紙の補給を促すメッセージがプリンタのパネルに表示され、用紙の補給を待ちます。
3	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択し、拡大または、縮小して印刷します。
4	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択し、拡大して印刷します。
5	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。
6	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

[**-Hd=***position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザー情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は uh がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を tuh と指定した場合は次のように出力します。

2002/11/11 Fri 01:23:45 JST User:*username* Host:*hostname*

指定は次のように行います。

右上にユーザー名、ホスト名の順番で出力する場合。

（ユーザー名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。）

-Hd=ur

-Hd=ur:uh

注記 ▸ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は tiff2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。

日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[**-Hf***headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▸ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。

以下のオプションは Mono2 用です。

[**Jo=***type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[**M=***type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙

PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

[**CO=***type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[**Pr=***resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

◇使用例

Sun /Linux の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換し、ファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージを、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2ps2 file1.tiff | lp
```

◆ 注記

- -s と-S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- 出力サイズオプション（-s、-S）が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- 印刷位置指定オプション（-l left bottom）で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.9　tiff2g4（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

◇形式

/usr/local/fxbin/tiff2g4 [-d | -D] [-I*tray_input*] [-O*tray_output*] [-r] [-n]
[-l *left bottom*] [-s *width height*] [-S *width*] [-t] [-E] [-C*policy*] [-Nc=*copies*] [-Cl]
[-Hd=*position:format*] [-Hf*headerfont*]
[*filename*...]

/usr/local/fxbin205/tiff2g4 [-d | -D] [-I*tray_input*] [-O*tray_output*] [-r] [-n]
[-l *left bottom*] [-s *width height*] [-t] [-t2=*tonersave*] [-E] [-C*policy*] [-S *width*]
[-Nc=*copies*] [-Cl] [-Hd=*position:format*] [-Hf*headerfont*]
[-Jo=*type*] [-M=*type*] [-Pr=*resolution*] [-CO=*type*…]
[*filename*...]

◇機能

TIFF フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの TIFF フォーマットのファイルを指定することができます。

対応する圧縮形式は以下の 4 つです。

・ハフマン圧縮(CCITT Group 3 変形ハフマンランレングスエンコーディング)
・Fax-CCITT3 圧縮(ファクシミリ互換の CCITT Group 3)
・パックビット圧縮
・非圧縮

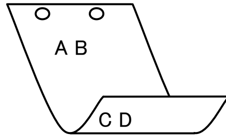
※上記圧縮形式であっても、 1 ファイルに複数画像を持つ TIFF ファイルには、対応していません。

tiff2g4 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された TIFF フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション（-s,-S）を指定して変換してください。
tiff2g4 は、画素の深さが 1 ビットの場合、CCITT グループ 4 形式の圧縮を行います。生成される PostScript 言語プログラムサイズは、tiff2ps2 に比べて小さくなります。
tiff2g4 は tiff2ps2 のハードリンクファイルです。

◇オプション

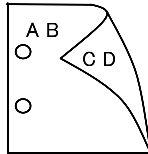
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
m1	マルチトレイ 1 から給紙します。
m2	マルチトレイ 2 から給紙します。
m3	マルチトレイ 3 から給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。

LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
Pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Pakai	八開用紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長型 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-LP	長尺紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

Mono2 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
7	トレイ 7 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。

A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル"14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in	12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in	13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in	13x19in がセットされたトレイから給紙します。
PC	はがきがセットされたトレイから給紙します。
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3Y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EY4	封筒洋形 4 号がセットされたトレイから給紙します。
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EK2	封筒角形 2 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
C4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。

KNS	かんばん S セットされたトレイから給紙します。
KN	かんばんがセットされたトレイから給紙します。
KNL	かんばん L がセットされたトレイから給紙します。
GN	現品票がセットされたトレイから給紙します。
GNL	現品票 L がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-SRA3	SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル"14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12.6x19.2in	12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x19in	13x19in を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC	往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EY4	封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EK2	封筒角形 2 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。

MSI-COM10　封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4　封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイが選択されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

Mono 用の場合

最小 86.1x148.2mm、最大 304.8x508.0mm
範囲外のサイズを指定した場合、エラーとなります。

Mono2 用の場合

最小 74.8x98.4mm、最大 304.8x900.3mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。
（長尺紙が給紙可能な機種のみ）

297x900mm
210x900mm

AutoPT　[M=*type*]オプションで指定する用紙種別がセットされたトレイから給紙します。

参照 ▸ **出力可能な用紙サイズについては、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。**

[-O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

fd　フェースダウントレイ／センタートレイへ排紙します。
fu　フェースアップトレイ／サイドトレイへ排紙します。
m*n*　メールボックスのビン n へ排紙します。
　n は 1 以上 10 以下の値です。
st*n*　ソーターに n 部コピーして排紙します。
　n は 1 以上 10 以下の値です。
fs　ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
fs*n*　ステープルフィニッシャーのビン n に排紙します。
　n は 1 以上 3 以下の値です。

Mono2 用の場合

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
of	オフセット排出トレイへ排紙します。
fst	排出トレイへ排紙します。
ce2	センタートレイ上段へ排紙します。
stc	スタッカートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）が選択されます。

Laser Press 4160、Able Model-PR シリーズでは、メールボックスとソーターに排紙するときには、プリンタの操作パネルで設定された動作モードと一致していなければなりません。一致していないときには、デフォルトのトレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスやパンチを打つことはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、紙を横向きに使用します。

[-Nc=*copies*]

出力部数の指定を行います（*copies* は正の整数です）。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。このオプションは、部単位での印刷が使用できるプリンタのみ有効です。また部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-l *left bottom*]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom ともに 0.25 インチです。

[-s *width height*]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[-S *width*]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=*tonersave*]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1	ややうすい(節約量小)
Mode2	うすい(節約量大)
Mode3	かなりうすい(ドラフト)

（DocuPrint 3100/3000 用です。）

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[-C*policy*]

Laser Press 2100PS および DocuPrint 201PS で使用します。要求された PageSize が使用可能な用紙のいずれにも一致しないときに使う回復方針を指定します。パラメーターは 0 から 6 までの数値を選択することができますが、2 もしくは 3 を使用されることをお勧めします。

プリンタの初期値は Laser Press 2100PS が 3、DocuPrint 201PS が 2 に設定されています。

0	印刷が中止され、configration エラーを生成します。
1	プリント指示した PageSize を無視して印刷します。
2	Laser Press 2100PS では、トレイに指定した用紙が 180 秒以内に補給されなかった場合、印刷が中止され、configration エラーを生成します。 DocuPrint 201PS では、トレイに指定した用紙が存在しない場合、指定した用紙の補給を促すメッセージがプリンタのパネルに表示され、用紙の補給を待ちます。
3	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択し、拡大または、縮小して印刷します。
4	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択し、拡大して印刷します。
5	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。
6	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

[-Hd=*position*:*format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザー情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul　　用紙の左上に出力します
ur　　用紙の右上に出力します
dl　　用紙の左下に出力します
dr　　用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。
省略した場合は uh がデフォルトとなります。

u　　ユーザー名
h　　ホスト名
t　　日時

出力内容を tuh と指定した場合は次のように出力します。

2002/11/11 Fri 01:23:45 JST User:*username* Host:*hostname*

指定は次のように行います。

右上にユーザー名、ホスト名の順番で出力する場合。
（ユーザー名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。）

-Hd=ur
-Hd=ur:uh

注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は tiff2g4 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。
ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。

以下のオプションは Mono2 用です。

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB　job　　ジョブ単位
SE　set　　セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

◇ 使用例

Sun /Linux の場合

TIFF イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換する場合､次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff > file1.ps
```

TIFF イメージを PostScript 言語プログラムに変換して、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% tiff2g4 file1.tiff | lp
```

◆ 注記

- -s と-S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- 出力サイズオプション（-s、-S）が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- 印刷位置指定オプション（-l left bottom）で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.10 xwd2ps2（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

◇形式

/usr/local/fxbin/xwd2ps2 [**-d** | **-D**] [**-I***tray_input*] [**-O***tray_output*] [**-r**] [**-n**]
[**-l** *left bottom*] [**-s** *width height*] [**-S** *width*] [**-t**] [**-E**] [**-C***policy*] [**-Nc=***copies*] [**-Cl**]
[**-G4**] [**-Hd=***position:format*] [**-Hf***headerfont*]
[*filename*...]

/usr/local/fxbin205/xwd2ps2 [**-d** | **-D**] [**-I***tray_input*] [**-O***tray_output*] [**-r**] [**-n**]
[**-l** *left bottom*] [**-s** *width height*] [**-S** *width*] [**-t**] [**-t2=***tonersave*] [**-E**] [**-Nc=***copies*]
[**-Cl**] [**-G4**] [**-Hd=***position:format*] [**-Hf***headerfont*]
[**-Jo=***type*] [**-M=***type*] [**-Pr=***resolution*] [**-CO=***type*…]
[*filename*...]

◇機能

XWD フォーマットのデータを読み込み、PostScript 言語プログラムに変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの XWD フォーマットのファイルを指定することができます。

対応するフォーマットは以下の 3 つです。

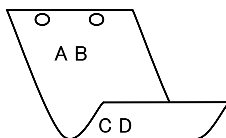
・ビジュアルクラスが StaticGray で画素が 1 ビット
・ビジュアルクラスが PseudoColor で画素が 4 ビットまたは 8 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式
・ビジュアルクラスが TrueColor で画素が 24 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式

xwd2ps2 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された XWD フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション（-s,-S）を指定して変換してください。

◇オプション

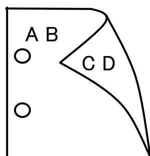
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
m1	マルチトレイ 1 から給紙します。
m2	マルチトレイ 2 から給紙します。
m3	マルチトレイ 3 から給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。

LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
Pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Pakai	八開用紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長型 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-LP	長尺紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

Mono2 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
7	トレイ 7 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。

A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル"14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in	12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in	13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in	13x19in がセットされたトレイから給紙します。
PC	はがきがセットされたトレイから給紙します。
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3Y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EY4	封筒洋形 4 号がセットされたトレイから給紙します。
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EK2	封筒角形 2 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
C4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。

KNS	かんばん S セットされたトレイから給紙します。
KN	かんばんがセットされたトレイから給紙します。
KNL	かんばん L がセットされたトレイから給紙します。
GN	現品票がセットされたトレイから給紙します。
GNL	現品票 L がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-SRA3	SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル"14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12.6x19.2in	12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x19in	13x19in を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC	往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EY4	封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EK2	封筒角形 2 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。

MSI-COM10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4	表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT	表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイが選択されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

Mono 用の場合

最小 86.1x148.2mm、最大 304.8x508.0mm

範囲外のサイズを指定した場合、エラーとなります。

Mono2 用の場合

最小 74.8x98.4mm、最大 304.8x900.3mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

（長尺紙が給紙可能な機種のみ）

297x900mm

210x900mm

AutoPT　[M=*type*]オプションで指定する用紙種別がセットされたトレイから給紙します。

参照 ▸ 出力可能な用紙サイズについては、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[-O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

fd	フェースダウントレイ／センタートレイへ排紙します。
fu	フェースアップトレイ／サイドトレイへ排紙します。
m*n*	メールボックスのビン n へ排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。
st*n*	ソーターに n 部コピーして排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。
fs	ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
fs*n*	ステープルフィニッシャーのビン n に排紙します。 n は 1 以上 3 以下の値です。

Mono2 用の場合

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
of	オフセット排出トレイへ排紙します。
fst	排出トレイへ排紙します。
ce2	センタートレイ上段へ排紙します。
stc	スタッカートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）が選択されます。

Laser Press 4160、Able Model-PR シリーズでは、メールボックスとソーターに排紙するときには、プリンタの操作パネルで設定された動作モードと一致していなければなりません。一致していないときには、デフォルトのトレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスやパンチを打つことはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、用紙を横向きに使用します。

[-Nc=*copies*]

出力部数の指定を行います（copies は正の整数です）。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。このオプションは、部単位での印刷が使用できるプリンタのみ有効です。また部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-G4]

G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで xwd2g4 と同様の動作をします。

[-l *left bottom*]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom ともに 0.25 インチです。

[-s *width height*]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[-S *width*]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=*tonersave*]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1　　　ややうすい(節約量小)

Mode2　　　うすい(節約量大)

Mode3　　　かなりうすい(ドラフト)

（DocuPrint 3100/3000 用です。）

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[-C*policy*]

Laser Press 2100PS および DocuPrint 201PS で使用します。要求された PageSize が使用可能な用紙のいずれにも一致しないときに使う回復方針を指定します。パラメーターは 0 から 6 までの数値を選択することができますが、2 もしくは 3 を使用されることをお勧めします。

プリンタの初期値は Laser Press 2100PS が 3、DocuPrint 201PS が 2 に設定されています。

0　　　印刷が中止され、configration エラーを生成します。

1　　　プリント指示した PageSize を無視して印刷します。

2　　　Laser Press 2100PS では、トレイに指定した用紙が 180 秒以内に補給されなかった場合、印刷が中止され、configration エラーを生成します。DocuPrint 201PS では、トレイに指定した用紙が存在しない場合、指定した用紙の補給を促すメッセージがプリンタのパネルに表示され、用紙の補給を待ちます。

3　　　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択し、拡大または、縮小して印刷します。

4　　　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択し、拡大して印刷します。

5　　　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

6　　　指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザー情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。

省略した場合は uh がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を tuh と指定した場合は次のように出力します。

2002/11/11 Fri 01:23:45 JST User:*username* Host:*hostname*

指定は次のように行います。

右上にユーザー名、ホスト名の順番で出力する場合。

（ユーザー名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。）

-Hd=ur

-Hd=ur:uh

注記 ▶ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は xwd2ps2 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。

日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▶ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。

以下のオプションは Mono2 用です。

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面

RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙１
H2	hwpaper2	厚紙２
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙１
LB2	label2	ラベル紙２
TB1	tabbed1	インデックス紙１
TB2	tabbed2	インデックス紙２

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

２つの値のうち、最初にある大文字２文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

◇ 使用例

Sun /Linux の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd | lpr
```

Solaris/HP-UX の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換し、ファイルに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd > file1.ps
```

XWD イメージを、プリンタに出力する場合、次のように入力します。

```
% xwd2ps2 file1.xwd | lp
```

◆ 注記

- -s と-S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- 出力サイズオプション（-s、-S）が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- 印刷位置指定オプション（-l left bottom）で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.11 xwd2g4（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

◇形式

/usr/local/fxbin/xwd2g4 [-d｜-D] [-I*tray_input*] [-O*tray_output*] [-r] [-n]
[-l *left bottom*] [-s *width height*] [-S *width*] [-t] [-E] [-C*policy*] [-Nc=*copies*] [-Cl]
[-Hd=*position:format*] [-Hf*headerfont*]
[*filename*...]

/usr/local/fxbin205/xwd2g4 [-d｜-D] [-I*tray_input*] [-O*tray_output*] [-r] [-n]
[-l *left bottom*] [-s *width height*] [-S *width*] [-t] [-t2=*tonersave*] [-E] [-Nc=*copies*]
[-Cl] [-Hd=*position:format*] [-Hf*headerfont*]
[-Jo=*type*] [-M=*type*] [-Pr=*resolution*] [-CO=*type*…]
[*filename*...]

◇機能

XWD フォーマットのデータを読み込み、G4 出力に変換して標準出力に書き出します。filename を指定しない場合は、標準入力をコマンドの入力とします。画素の深さが 1、4、8、24、32 ビットの XWD フォーマットのファイルを指定することができます。

対応するフォーマットは以下の 3 つです。

・ビジュアルクラスが StaticGray で画素が 1 ビット
・ビジュアルクラスが PseudoColor で画素が 4 ビットまたは 8 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式
・ビジュアルクラスが TrueColor で画素が 24 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式

xwd2g4 は、filename を 72dpi の解像度で作成されているとみなし、出力サイズを計算します。したがって、他の解像度で作成された XWD フォーマットのファイルを変換する場合は、明示的にサイズオプション（-s,-S）を指定して変換してください。

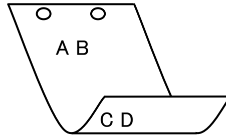
xwd2g4 は、画素の深さが 1 ビットの場合、CCITT グループ 4 形式の圧縮を行います。生成される PostScript 言語プログラムサイズは、xwd2ps2 に比べて小さくなります。

xwd2g4 は xwd2ps2 のハードリンクファイルです。

◇オプション

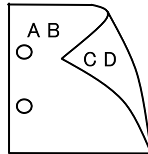
[-d]

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-D]

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。



[-I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。給紙トレイの選択には、直接トレイを指定する場合と、用紙サイズを指定する場合があります。用紙サイズを指定した場合は、指定の用紙がセットされたトレイを自動的に検索して選択します。

給紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
m1	マルチトレイ 1 から給紙します。
m2	マルチトレイ 2 から給紙します。
m3	マルチトレイ 3 から給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。

LG	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
PC	ハガキがセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
Pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-COM10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-Pakai	八開用紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長型 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-LP	長尺紙を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

Mono2 用の場合

1	トレイ 1 から給紙します。
2	トレイ 2 から給紙します。
3	トレイ 3 から給紙します。
4	トレイ 4 から給紙します。
6	トレイ 6 から給紙します。
7	トレイ 7 から給紙します。
A3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
A4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
A5	A5 がセットされたトレイから給紙します。

A6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
B4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
B5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
B6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
SRA3	SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。
LT	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
FL	フォリオ（リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
LG	リーガル"14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ST	ステートメント（5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
EXE	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in	12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in	13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in	13x19in がセットされたトレイから給紙します。
PC	はがきがセットされたトレイから給紙します。
DPC	往復ハガキがセットされたトレイから給紙します。
EC3Y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EY4	封筒洋形 4 号がセットされたトレイから給紙します。
EC3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
EK2	封筒角形 2 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
Monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
COM10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
DL	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
C5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
C4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
CA4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
CLT	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。

KNS	かんばん S セットされたトレイから給紙します。
KN	かんばんがセットされたトレイから給紙します。
KNL	かんばん L がセットされたトレイから給紙します。
GN	現品票がセットされたトレイから給紙します。
GNL	現品票 L がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
MSI-A3	A3 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A4	A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A5	A5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-A6	A6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B4	B4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B5	B5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-B6	B6 を手差しトレイから給紙します。
MSI-SRA3	SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LT	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LD	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-FL	フォリオ（リーガル"13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-LG	リーガル"14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-ST	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-EXE	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
MSI-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
MSI-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
MSI-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12x18in	12x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-12.6x19.2in	12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x18in	13x18in を手差しトレイから給紙します。
MSI-13x19in	13x19in を手差しトレイから給紙します。
MSI-PC	はがきを手差しトレイから給紙します。
MSI-DPC	往復ハガキを手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3Y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EY4	封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EC3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-EK2	封筒角形 2 号を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-8kaiC	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI-16kaiC	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
MSI- Monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。

MSI-COM10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
MSI-DL	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
MSI-C5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
MSI-C4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CA4	表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
MSI-CLT	表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
MSI-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイが選択されます。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

Mono 用の場合

最小 86.1x148.2mm、最大 304.8x508.0mm

範囲外のサイズを指定した場合、エラーとなります。

Mono2 用の場合

最小 74.8x98.4mm、最大 304.8x900.3mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

（長尺紙が給紙可能な機種のみ）

297x900mm

210x900mm

AutoPT	[M=*type*]オプションで指定する用紙種別がセットされたトレイから給紙します。

参照 ▶ 出力可能な用紙サイズについては、使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

[-O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

排紙トレイを選択するパラメーターは次のとおりです。

Mono 用の場合

fd	フェースダウントレイ／センタートレイへ排紙します。
fu	フェースアップトレイ／サイドトレイへ排紙します。
m*n*	メールボックスのビン n へ排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。
st*n*	ソーターに n 部コピーして排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。
fs	ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
fs*n*	ステープルフィニッシャーのビン n に排紙します。 n は 1 以上 3 以下の値です。

Mono2 用の場合

fd	センタートレイへ排紙します。
fu	サイドトレイへ排紙します。
fu2	サイドトレイへ排紙します。
of	オフセット排出トレイへ排紙します。
fst	排出トレイへ排紙します。
ce2	センタートレイ上段へ排紙します。
stc	スタッカートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）が選択されます。

Laser Press 4160、Able Model-PR シリーズでは、メールボックスとソーターに排紙するときには、プリンタの操作パネルで設定された動作モードと一致していなければなりません。一致していないときには、デフォルトのトレイに排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスやパンチを打つことはできません。

[-r]

イメージを 90 度回転させて、紙を横向きに使用します。

[-Nc=*copies*]

出力部数の指定を行います（copies は正の整数です）。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。このオプションは、部単位での印刷が使用できるプリンタのみ有効です。また部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

[-n]

showpage を付加しません。このオプションは、PostScript 言語プログラムに変換したファイルを、他のアプリケーションで作成したファイルと合成するときに使用します。

[-l *left bottom*]

印刷位置を指定します。紙の左からの left インチ、下からの bottom インチの位置から印刷します。デフォルトは、left、bottom ともに 0.25 インチです。

[-s *width height*]

出力サイズを指定します。幅 width インチ、高さ height インチで印刷します。

[-S *width*]

出力サイズの幅を width インチとします。高さは幅に合わせて自動的に計算されます。

[-t]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。

トナーセーブ機構を備えていない機種では、このオプションは無視されます。

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=*tonersave*]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1	ややうすい(節約量小)
Mode2	うすい(節約量大)
Mode3	かなりうすい(ドラフト)

（DocuPrint C3350 用です。）

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

（イメージエンハンス機構のないプリンタに対して、このオプションを指定した場合は無視されます。）

[-C*policy*]

Laser Press 2100PS および DocuPrint 201PS で使用します。要求された PageSize が使用可能な用紙のいずれにも一致しないときに使う回復方針を指定します。パラメーターは 0 から 6 までの数値を選択することができますが、2 もしくは 3 を使用されることをお勧めします。

プリンタの初期値は Laser Press 2100PS が 3、DocuPrint 201PS が 2 に設定されています。

0	印刷が中止され、configration エラーを生成します。
1	プリント指示した PageSize を無視して印刷します。
2	Laser Press 2100PS では、トレイに指定した用紙が 180 秒以内に補給されなかった場合、印刷が中止され、configration エラーを生成します。DocuPrint 201PS では、トレイに指定した用紙が存在しない場合、指定した用紙の補給を促すメッセージがプリンタのパネルに表示され、用紙の補給を待ちます。
3	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択し、拡大または、縮小して印刷します。
4	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択し、拡大して印刷します。
5	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。
6	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

[-Hd=*position:format*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザー情報を指定した個所に出力します。

position は出力位置を指定します。

ul	用紙の左上に出力します
ur	用紙の右上に出力します
dl	用紙の左下に出力します
dr	用紙の右下に出力します

format は出力内容および順番を指定します。この指定は省略可能です。
省略した場合は uh がデフォルトとなります。

u	ユーザー名
h	ホスト名
t	日時

出力内容を tuh と指定した場合は次のように出力します。

2002/11/11 Fri 01:23:45 JST User:*username* Host:*hostname*

指定は次のように行います。

右上にユーザー名、ホスト名の順番で出力する場合。
（ユーザー名、ホスト名出力はデフォルトなので指定は必要ありません。）

-Hd=ur
-Hd=ur:uh

注記 ▸ 用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。lp コマンド時に用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの出力位置は xwd2g4 で処理した時の用紙サイズの位置から変更されません。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。
日時の時間帯(JST,GMT 等)は環境変数の TZ で指定を行えます。

[-Hf*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。半角英数字のフォントと同じ欧文フォントが使用できます。デフォルトは Helvetica が選択されます。

補足 ▸ 誤ったフォントが指定された場合は、プリンタのデフォルトの欧文フォントが使用されます。
ヘッダ/フッタ出力オプションが指定されない場合、ヘッダ/フッタのフォント指定は無視されます。

以下のオプションは Mono2 用です。

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

[M=*type*]

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない

PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

[CO=*type*･･･]

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

◇使用例

Sun /Linux の場合

XWD イメージを G4 形式に変換してファイルに出力する場合、次のように入力します。

% xwd2g4 file1.xwd > file1.ps

XWD イメージをプリンタに出力する場合、次のように入力します。

% xwd2g4 file1.xwd | lpr

Solaris/HP-UX の場合

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換する場合、次のように入力します。

% xwd2g4 file1.xwd > file1.ps

XWD イメージを PostScript 言語プログラムに変換して､プリンタに出力する場合、次のように入力します。

% xwd2g4 file1.xwd | lp

◆ 注記

- -s と-S が同時に指定されたときや、同一オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効となります。
- 出力サイズオプション（-s、-S）が指定されないときは、ラスターデータの 1 画素がプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- 印刷位置指定オプション（-l left bottom）で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

3.12 fxpif（Sun/Solaris/Linux）

◇形式

SunOS 4.x/Linux の場合

/usr/lib/fxps/fxpif -w *width* -l *length* -i *indent* -n *login* -h *host accountfile*

/usr/lib/fxps205/fxpif -w *width* -l *length* -i *indent* -n *login* -h *host accountfile*

Solaris の場合

/usr/local/fxbin/fxpif [-d | -D] [-I*tray_input*] [-O*tray_output*] [-C] [-t] [-E] [-C*policy*] [-Nc=*copies*] [-Cl] [-ps] [-JN] [-JU=*username*] *accountfile*

/usr/local/fxbin205/fxpif [-d | -D] [-I*tray_input*] [-O*tray_output*] [-t] [-t2=*tonersave*] [-E] [-Nc=*copies*] [-Cl] [-ps] [-Jo=*type*] [-M=*type*] [-Pr=*resolution*] [-CO=*type* …] [-JOAU=*username*] [-ACNA=*documentname*] *accountfile*

◇機能

fxpif フィルターは、入力データの先頭 2 文字が「%!」以外の場合、用紙サイズに合わせた範囲内で出力するような PostScript 言語プログラムに変換します。入力データの先頭 2 文字が「%!」の場合は、PostScript 言語プログラムと判断してデータの変換は行いません。入力データの変換に関しては、次の制御コードを解釈します。

LF	改行
FF	改ページ
TAB	8 けたタブストップ
BS	1 文字戻る

fxpif は euc2ps2 のハードリンクファイルです。

SunOS 4.x/Linux の場合

SunOS 4.x/Linux の場合は、/etc/printcap で指定する if フィルターとして、fxpif フィルターを使用します。lpd デーモンは、次のコマンドオプションを指定して fxpif フィルターを起動します。

fxpif –w *width* **–l** *length* **–i** *indent* **–n** *login* **–h** *host accountfile*

-w *width*

プリンタの 1 行当たりのけた数を width けたとします。lpd は、/etc/printcap の pw エントリー値を引数にして if フィルターを起動します。しかし、fxpif フィルターは、用紙サイズから自動的に 1 行当たりのけた数を計算します。このため、/etc/printcap の pw エントリー値を無視します。

-l *length*

プリンタの 1 ページ当たりの行数を length 行とします。lpd は、/etc/printcap の pl エントリー値を引数にして if フィルターを起動します。しかし、fxpif フィルターは、用紙サイズから自動的に行数を計算します。このため、/etc/printcap の pl エントリー値を無視します。

-i *indent*

水平タブを indent けたの空白（スペース）に展開します。lpd は、lpr 指定時の値を引数にして fxpif フィルターを起動します。

-n *login*

プリントを要求したログインユーザー名を指定します。lpd は、自動的にログインユーザー名を調べ、引数にして fxpif フィルターを起動します。

-h *host*

プリントを要求したホスト名を指定します。lpd は、自動的にホスト名を調べ、引数にして fxpif フィルターを起動します。

accountfile

アカウント出力ファイル名を指定します。lpd は、/etc/printcap の af エントリー値を引数にして fxpif フィルターを起動します。

.fxpsdefault、.fxpsdefault205 ファイルで、euc2ps2 で使用することのできるオプションを指定することができます。このオプションを使用すると、さらに細かく制御することができます。ただし、入力データの先頭 2 文字が「%!」の場合には、euc2ps2 のオプションのうち、次のものだけが有効です。

参照 ▶　パラメーターの詳細は、「3.5　euc2ps2」を参照してください。

[-d]

短辺とじで両面印刷を行います。

[-D]

長辺とじで両面印刷を行います。

[-I*tray_input*]

給紙トレイを指定します。

[-O*tray_output*]

排紙トレイを指定します。

[-Nc=*copies*]

出力部数の指定を行います。

[-Cl]

部単位での印刷を選択します。

[-t]

トナーを節約して印刷します。

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=*tonersave*]

トナーを節約して印刷します。

（DocuPrint 3100/3000 用です。）

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-C*policy*]

回復方針を指定します。（Laser Press 2100PS および DocuPrint 201PS 用）

[-ps]

入力されるファイルを強制的にポストスクリプトファイルとして処理します。

以下のオプションは Mono2 用です。

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。

[M=*type*]

用紙種別を選択します。

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。

[-JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

[-ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

以下のオプションは Mono 用です。

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。

注記 ▶ XJCL ヘッダが付加されるため、出力されるデータが PostScript ではなくなります。他のサーバー経由で出力される場合はご注意ください。

注記 ▶ XJCL に対応していないプリンタには使用できません。また、プリンタ本体の設定で JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

[-JN]

プリンタ本体に出力ユーザー情報を、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴を記録します。(合計 30 文字まで)

[-JU=*username*]

プリンタ本体に出力ユーザー情報を、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴を記録します。(合計 30 文字まで) username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

補足　▶　オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第４章 注意制限事項」を参照してください。

Solaris の場合

fxpif フィルターは、lpfilter コマンドによりシステムへ登録して使用します。登録すると、lp コマンドで給紙トレイ、排紙トレイ、両面印刷の指定を行うことができます。登録には、lpfilter コマンドを使用します。このとき、fxpif フィルターと一緒に提供される fd ファイルを引数に指定します。

トレイ 2 から給紙し、とじ印刷で両面に印刷し、フェイスアップトレイから排紙する場合、次のようにします。

```
lp -y tray2 -y face-up -y DuplexBook filename
```

この場合、fxpif フィルターを次のオプションを指定して起動します。

```
fxpif -I2 -Ofu –D
```

参照　▶　パラメーターの詳細は、「3.18 posteuc.fd」以降の fd ファイルの説明を参照してください。

補足　▶　オプションによっては、同時に指定できないオプション、同時に指定しなければならないオプションがあります。詳しくは「第４章 注意制限事項」を参照してください。

◇ファイル

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル

$HOME/.fxpsdefault

$HOME/.fxpsdefault205

デフォルトコマンドオプション設定ファイル

/usr/lib/fxps/UserDefault/.fxpsdefault

/usr/lib/fxps205/UserDefault/.fxpsdefault205

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル（Linux のみ）

/usr/lib/fxps/UserDefault/.userhomedir

/usr/lib/fxps205/UserDefault/.userhomedir

◆ 注記

- fxpif フィルターでは、/etc/printcap の pw と pl エントリーは無視されます。このため、pw と pl エントリーを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。
- 用紙指定等のオプションの追加された PostScript ファイルに対して､同様のオプションが指定される場合、そのオプションは無視されます。
- -ps オプションは、ファイルの先頭に｢%!｣の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい｡通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。

3.13 fxpvf（Sun/Linux）

◇形式

/usr/lib/fxps/fxpvf -x *width* -y *length* -n *login* -h *host accountfile*
/usr/lib/fxps205/fxpvf -x *width* -y *length* -n *login* -h *host accountfile*

◇機能

fxpvf フィルターは、SunRaster（Sun）および XWD（Linux）ファイルを 72dpi の解像度とみなし、PostScript 言語プログラムに変換します。
SunOS 4.x および Linux の場合は、/etc/printcap で指定する vf フィルターとして、fxpvf フィルターを使用します。
lpd デーモンは、次のコマンドオプションを指定して fxpvf フィルターを起動します。

fxpvf -x *width* **-y** *length* **-n** *login* **-h** *host accountfile*

-x *width*

プリンタの x 方向の画素数を width とします。lpd は、/etc/printcap の px エントリー値を引数にして vf フィルターを起動します。しかし、fxpvf フィルターは、用紙サイズから自動的に x 方向の画素数を計算します。このため、/etc/printcap の px エントリー値を無視します。

-y *length*

プリンタの y 方向の画素数を length とします。lpd は、/etc/printcap の py エントリー値を引数にして vf フィルターを起動します。しかし、fxpvf フィルターは、用紙サイズから自動的に y 方向の画素数を計算します。このため、/etc/printcap の py エントリー値を無視します。

-n *login*

プリントを要求したログインユーザー名を指定します。lpd は、自動的にログインユーザー名を調べ、引数にして fxpvf フィルターを起動します。

-h *host*

プリントを要求したホスト名を指定します。lpd は、自動的にホスト名を調べ、引数にして fxpvf フィルターを起動します。

accountfile

アカウント出力ファイル名を指定します。lpd は、/etc/printcap の af エントリー値を引数にして fxpvf フィルターを起動します。

.fxpsdefault、.fxpsdefault205 ファイルで、sunras2ps2 で使用することのできるオプションを指定することができます。このオプションを使用すると、さらに細かく制御することができます。※明示的に明示的にサイズオプション（-s,-S）を指定してください。
Solaris では、fxpvf フィルターを使用しません。

◇ファイル

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル
$HOME/.fxpsdefault
$HOME/.fxpsdefault205

デフォルトコマンドオプション設定ファイル
/usr/lib/fxps/UserDefault/.fxpsdefault
/usr/lib/fxps205/UserDefault/.fxpsdefault205

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル（Linux のみ）
/usr/lib/fxps/UserDefault/.userhomedir
/usr/lib/fxps205/UserDefault/.userhomedir

◆ 注記

- fxpvf フィルターでは、/etc/printcap の px と py エントリーは無視されます。このため、px と py エントリーを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。

3.14 fxpg4f（Sun/Linux）

◇形式

/usr/lib/fxps/fxpg4f -x *width*　-y *length*　-n *login*　-h *host*　*accountfile*
/usr/lib/fxps205/fxpg4f -x *width*　-y *length*　-n *login*　-h *host*　*accountfile*

◇機能

fxpg4f フィルターは、SunRaster（Sun）および XWD（Linux）ファイルを 72dpi の解像度とみなし、PostScript 言語プログラムに変換します。
SunOS 4.x および Linux の場合は、/etc/printcap で指定する vf フィルターとして、fxpg4f フィルターを使用します。lpd デーモンは、次のコマンドオプションを指定して fxpg4f フィルターを起動します。

fxpg4f -x *width* **-y** *length* **-n** *login* **-h** *host accountfile*

-x *width*
プリンタの x 方向の画素数を width とします。lpd は、/etc/printcap の px エントリー値を引数にして vf フィルターを起動します。しかし、fxpg4f フィルターは、用紙サイズから自動的に x 方向の画素数を計算します。このため、/etc/printcap の px エントリー値を無視します。

-y *length*
プリンタの y 方向の画素数を length とします。lpd は、/etc/printcap の py エントリー値を引数にして vf フィルターを起動します。しかし、fxpg4f フィルターは、用紙サイズから自動的に y 方向の画素数を計算します。このため、/etc/printcap の py エントリー値を無視します。

-n *login*
プリントを要求したログインユーザー名を指定します。lpd は、自動的にログインユーザー名を調べ、引数にして fxpvf フィルターを起動します。

-h *host*
プリントを要求したホスト名を指定します。lpd は、自動的にホスト名を調べ、引数にして fxpvf フィルターを起動します。

accountfile
アカウント出力ファイル名を指定します。lpd は、/etc/printcap の af エントリー値を引数にして fxpvf フィルターを起動します。

.fxpsdefault、.fxpsdefault205 ファイルで、sunras2g4（Sun の場合）および xwd2g4（Linux の場合）で使用することのできるオプションを指定することができます。このオプションを使用すると、さらに細かく制御することができます。
※明示的に明示的にサイズオプション（-s,-S）を指定してください。
Solaris では、fxpg4f フィルターを使用しません。

◇ファイル

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル
$HOME/.fxpsdefault
$HOME/.fxpsdefault205

デフォルトコマンドオプション設定ファイル
/usr/lib/fxps/UserDefault/.fxpsdefault
/usr/lib/fxps205/UserDefault/.fxpsdefault205

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル（Linux のみ）
/usr/lib/fxps/UserDefault/.userhomedir
/usr/lib/fxps205/UserDefault/.userhomedir

◆ 注記

- fxpvf フィルターでは、/etc/printcap の px と py エントリーは無視されます。このため、px と py エントリーを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。

3.15 fxpof（Sun/Linux）

◇形式

/usr/lib/fxps/fxpof –w *width* –l *length*
/usr/lib/fxps205/fxpof -w *width* -l *length*

◇機能

fxpof フィルターは、バナーシートを出力するときに使用します。
SunOS 4.x および Linux の場合は、/etc/printcap の of エントリーで指定する of フィルターとして、fxpof フィルターを使用します。lpd デーモンは、次のコマンドオプションを指定して fxpof フィルターを起動します。

fxpof -w *width* **-l** *length*

-w *width*

プリンタの 1 行当たりのけた数を width けたとします。
lpd は、/etc/printcap の pw エントリー値を引数にして of フィルターを起動します。しかし、fxpof フィルターは、用紙サイズから自動的に 1 行当たりのけた数を計算します。このため、/etc/printcap の pw エントリー値を無視します。

-l *length*

プリンタの 1 ページ当たりの行数を length 行とします。
lpd は、/etc/printcap の pl エントリー値を引数にして of フィルターを起動します。しかし、fxpof フィルターは、用紙サイズから自動的に行数を計算します。このため、/etc/printcap の pl エントリー値を無視します。

.fxpsdefault、.fxpsdefault205 ファイルで、次のオプションを指定することができます。

[-I*tray_input*]	給紙トレイを指定します。
[-O*tray_output*]	排紙トレイを指定します。

Solaris の場合は、fxpof フィルターを使用しません。

◇ファイル

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル
$HOME/.fxpsdefault
$HOME/.fxpsdefault205

デフォルトコマンドオプション設定ファイル
/usr/lib/fxps/UserDefault/.fxpsdefault
/usr/lib/fxps205/UserDefault/.fxpsdefault205

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル（Linux のみ）
/usr/lib/fxps/UserDefault/.userhomedir
/usr/lib/fxps205/UserDefault/.userhomedir

◆ 注記

- fxpof フィルターでは、/etc/printcap の px と py エントリーは無視されます。このため、px と py エントリーを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。

3.16 fxoption（Sun/Linux）

◇形式

/usr/local/fxbin/fxoption [-d | -D] [-I*tray_input*] [-t] [-E] [-C*policy*]
[-O*tray_output*] [-Nc=*copies*] [-Cl] [-G4] [-ps]
[-JN] [-JU=*username*]
[-Hd=*position:format:page*] [-Hf*headerfont*]

/usr/local/fxbin205/fxoption [-d | -D] [-I*tray_input*] [-t] [-t2=*tonersave*] [-E]
[-O*tray_output*] [-Nc=*copies*] [-Cl] [-G4] [-ps]
[-Hd=*position:format:page*] [-Hf*headerfont*]
[-Jo=*type*] [-M=*type*] [-Pr=*resolution*] [-CO=*type* …] [-JOAU=*username*]
[-ACNA=*documentname*]

◇機能

SunOS 4.x および Linux の場合は、fxpif または fxpvf、fxpg4f、fxpof フィルターを指定されたプリンタ名のスプーラーフィルターとして使用しているときに、fxoption コマンドを使用することができます。fxoption コマンドを使用すると、$HOME/.fxpsdefault、$HOME/.fxpsdefault205 ファイルのオプションを変更して、給紙トレイ/排紙トレイ/両面印刷の指定を行うことができます。
Solaris では、fxoption コマンドは使用しません。

◇オプション

参照 ▶ パラメーターの詳細は、「3.12　fxpif」「3.13　fxpvf」を参照してください。

[-d]
　短辺とじで両面印刷を行います。

[-D]
　長辺とじで両面印刷を行います。

[-I*tray_input*]
　給紙トレイを指定します。

[-O*tray_output*]
　排紙トレイを指定します。

[-Nc=*copies*]
　出力部数の指定を行います。

[-Cl]
　部単位での印刷を選択します。

[-t]
　トナーを節約して印刷します。
　-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-t2=*tonersave*]

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印刷されます。
（DocuPrint 3100/3000 用です。）

-t と-t2= の両方を指定した場合、-t のみ有効となります。

[-E]

イメージエンハンス機能を使用しません。

[-C*policy*]

回復方針を指定します。（Laser Press 2100PS および DocuPrint 201PS 用）

[-ps]

fxpif 用のオプションで、入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

[-G4]

fxpvf 用のオプションで G4 圧縮を行います。このオプションを指定することで fxpg4f と同様の動作をします。

[-Hd=*position:format:page*]

ヘッダ/フッタとして出力ユーザー情報を指定した個所に出力します。

[-Hf*headerfont*]

ヘッダ/フッタを印刷するためのフォントを指定します。

以下のオプションは Mono2 用です。

[Jo=*type*]

オフセット排出を選択します。

[M=*type*]

用紙種別を選択します。

[CO=*type*…]

ハーフトーンを選択します。

[Pr=*resolution*]

印刷モードを指定します。

[-JOAU=*username*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。(fxpof には使用できません。)

[-ACNA=*documentname*]

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。(fxpof には使用できません。)

以下のオプションは Mono 用です。

[-JN]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、ログインユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。(fxpof には使用できません。)

[-JU=*username*]

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザのユーザ情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、username で指定されるユーザ名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。(fxpof には使用できません。)

注記 ▸ XJCL ヘッダが付加されるため、出力されるデータが PostScript ではなくなります。他のサーバー経由で出力される場合はご注意ください。

注記 ▸ XJCL に対応していないプリンタには使用できません。また、プリンタ本体の設定で JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

◇使用例

A4 がセットされたトレイから給紙し、短辺とじ印刷で両面に印刷するよう指定し、デフォルトのプリンタに出力する場合、次のように入力します。

% **fxoption -d -IA4**
% **lpr** *filename*

◇ファイル

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル
$HOME/.fxpsdefault
$HOME/.fxpsdefault205

ユーザーホームディレクトリ設定ファイル（Linux のみ）
/usr/lib/fxps/UserDefault/.userhomedir
/usr/lib/fxps205/UserDefault/.userhomedir

◆ 注記

- 指定されたプリンタに対するユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル（$HOME/.fxpsdefault、$HOME/.fxpsdefault205）が存在しない場合は、デフォルトコマンドオプションファイルが自動的に作成されます。
- 環境変数 HOME が設定されていない場合、fxoption コマンドは$HOME/.fxpsdefault、$HOME/.fxpsdefault205 ファイルを作成、更新しません。fxoption コマンドを使用する場合は、環境変数 HOME にユーザーのホームディレクトリを設定してください。
- Linux ではユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル（$HOME/.fxpsdefault、$HOME/.fxpsdefault205）を使用するためにはユーザーのホームディレクトリを示した設定ファイルが必要です。
- プリント待ちのジョブが存在する場合は、fxoption コマンドは使用できません。プリント待ちのジョブが存在する場合は、プリントジョブがなくなってから fxoption コマンドを実行してください。
- fxpif_A4 などのフィルター名でオプションが決まるフィルターに対して、fxoption を用いて給紙トレイ/排紙トレイ/両面印刷などの指定を行うことはできません。

3.17 .userhomedir（Linux）

◇形式

/usr/lib/fxps/UserDefault/.userhomedir
/usr/lib/fxps205/UserDefault/.userhomedir

◇機能

RedHat Linux 7.1 および TirboLinux7 以降のバージョンでは、fxpif、fxpvf、fxpg4f の処理中に、ユーザーのホームディレクトリを、従来の方式では取得できなくなったため、fxoption で設定するユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイルを利用する際には、ユーザーホームディレクトリ設定ファイルにホームディレクトリの設定をする必要があります。

ユーザーホームディレクトリ設定ファイルは、UNIX フィルターインストール時に、自動的に上書き作成されて設定されます。設定内容は UNIX フィルターインストール時の/etc/passwd ファイルに設定されている全ユーザーのユーザー名とそのユーザーのホームディレクトリパスが自動的に設定されます。

ユーザーホームディレクトリ設定ファイルの内容は、

ユーザー名 ホームディレクトリパス

で構成されています。
[例]

usera /home/usera
userb /home/userb
userc /home/userc

設定の必要無いユーザーや、他のディレクトリを設定したい場合は、エディタ等で内容の削除、修正を行ってください。
UNIX フィルターインストール後にユーザーの追加を行った場合は、UNIX フィルターの再インストールを行うか、エディタ等で内容の追加を行ってください。

◇ファイル

ユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル
$HOME/.fxpsdefault
$HOME/.fxpsdefault205

デフォルトコマンドオプション設定ファイル
/usr/lib/fxps/UserDefault/.fxpsdefault
/usr/lib/fxps205/UserDefault/.fxpsdefault205

◆ 注記

- ユーザーホームディレクトリ設定ファイルにホームディレクトリ設定がされていない場合や、設定したディレクトリにユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイルが無い場合などは、デフォルトコマンドオプション設定ファイルのオプションが有効になります。

3.18 posteuc.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/posteuc.fd

◇機能

posteuc.fd ファイルは、EUC コードのテキストを PostScript 言語プログラムに変換する euc2ps2 フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルです。lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで、自動的にフィルターを起動することができます。

posteuc.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: simple
Output types: postscript
Printer types: LaserPress2100,LaserPress4150,LaserPress4160,LaserPress4200,LaserPress4210,AbleModelPR,AbleModelPR2,DocuCentre250,DocuCentre251,DocuCentre352,DocuCentre450,DocuCentre450E,DocuCentre505,DocuCentre507,DocuCentre719,DocuCentre230,DocuPrint400,DocuPrint401,DocuPrint201,DocuPrint280,DocuPrint260
Printers: any
Filter type: slow
Command: /user/lib/lp/postscript/posteuc
Options: LENGTH * = -l*
Options: WIDTH * = -w*
Options: MODES double = -2
Options: MODES font¥=¥(.*¥) = -f¥1
Options: MODES gothic = -g
Options: MODES jfont¥=¥(.*¥) = -jf¥1
Options: MODES landscape = -r
Options: MODES outcolumn¥=¥(.*¥) = -o¥1
Options: MODES outline¥=¥(.*¥) = -L¥1
Options: MODES size¥=¥(.*¥)=-s¥1
Options: MODES margin¥=¥(.*¥) = -mg¥=¥1
Options: MODES ps = -ps
```

コマンドで定義されている/usr/lib/lp/postscript/posteuc は、シンボリックファイルです。実際には euc2ps2 コマンドが起動されます。

注記 ▶　SunOS 4.x の場合は、posteuc.fd ファイルを使用しません。

◇オプション

lpfilter コマンドを使用して posuteuc.fd をプリントシステムに登録します。また、lp コマンドで指定することのできるオプションは、次のとおりです。

補足 ▶ lpadmin コマンドで指定された length と width に合わせて印刷されます。

-y double　　2 段組で印刷します。

-y landscape　　出力を 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。

-y gothic　　日本語文字をゴシック体で印刷します。

-y size=*n*　　フォントサイズを n ポイントとします。

-y outcolumn=*n*　　半角文字に換算して、n けた目から文字を印刷します。

-y outline=*n*　　n 行目から文字を印刷します。

-y font=*font*　　半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。

-y jfont=*jfont*　　日本語をを印刷するためのフォントを指定します。ゴシック指定オプションと同時に使用される場合は、後方にあるものが優先されます。また、誤ったフォント名や、プリンタが使用できないフォント名を入力された場合は、デフォルトの欧文フォントが使用されます。

- フォントの指定は、「-y font=」および「-y jfont=」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

```
% lp -y font=Courier‐Oblique filename
% lp -y jfont=Ryumin-Light-H filename
```

参照 ▶ 使用できるフォントについては、「付録 B　使用できるフォント」または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

-y margin=*u:b:r:l*　　ページの余白をインチ単位で指定します。u （上余白）、b（下余白）、r（右余白）、l（左余白）は、正の実数（小数点第二位まで有効）です。デフォルトは 0 です。

-y ps　　入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルか否かに関わらず、その他の posteuc.fd のオプションは無視されます。

◇使用例

2up、ゴシック体、8 ポイント、プリンタ名「4150PS」で印刷する場合、次のように入力します。

```
% lpr -d 4150PS -y double -y gothic -y size=8 filename
```

3.19 posteuc205.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/posteuc205.fd

◇機能

posteuc205.fd ファイルは、EUC コードのテキストを PostScript 言語プログラムに変換する euc2ps2 フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルです。lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで、自動的にフィルターを起動することができます。
posteuc205.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: simple
Output types: postscript
Printer types: DocuPrint205,DocuPrint340A,DocuPrint350JM,Docu
Print505,DocuPrint2060,DocuPrint3100,DocuPrint4050,DocuPrint
5060,DocuCentre185,DocuCentref285,DocuCentref1100,ApeosPort4
50I,DocuCentre450I,ApeosPort750I,DocuCentre750I,ApeosPort240
00,DocuCentre24000,ApeosPort27000,DocuCentre27000,DocuCentre
33000,ApeosPort34000,DocuCentre34000,ApeosPort37000,DocuCent
re37000,ApeosPort44070,DocuCentre44070,ApeosPort47080,DocuCe
ntre47080,DocuCentre43060,4112
Printers: any
Filter type: slow
Command: /user/lib/lp/postscript/posteuc205
Options: LENGTH* = -1*
Options: WIDTH* = -w*
Options: MODES double = -2
Options: MODES font¥=¥(.*¥) = -f¥1
Options: MODES gothic = -g
Options: MODES jfont¥=¥(.*¥) = -jf¥1
Options: MODES landscape = -r
Options: MODES outcolumn¥=¥(.*¥) = -o¥1
Options: MODES outline¥=¥(.*¥) = -L¥1
Options: MODES size¥=¥(.*¥) = -s¥1
Options: MODES margin¥=¥(.*¥) = -mg¥=¥1
Options: MODES ps = -ps
```

コマンドで定義されている/usr/lib/lp/postscript/posteuc205 は、シンボリックファイルです。実際には euc2ps2 コマンドが起動されます。

注記 ▸ SunOS 4.x の場合は、posteuc205.fd ファイルを使用しません。

◇オプション

lpfilter コマンドを使用して posuteuc.fd をプリントシステムに登録します。また、lp コマンドで指定することのできるオプションは、次のとおりです。

補足 ▶ lpadmin コマンドで指定された length と width に合わせて印刷されます。

-y double	2 段組で印刷します。
-y landscape	出力を 90 度回転させて、用紙を横長に使用します。
-y gothic	日本語文字をゴシック体で印刷します。
-y size=*n*	フォントサイズを n ポイントとします。
-y outcolumn=*n*	半角文字に換算して、n けた目から文字を印刷します。
-y outline=*n*	n 行目から文字を印刷します。
-y font=*font*	半角英数字を印刷するためのフォントを指定します。
-y jfont=*jfont*	日本語をを印刷するためのフォントを指定します。ゴシック指定オプションと同時に使用される場合は、後方にあるものが優先されます。また、誤ったフォント名や、プリンタが使用できないフォント名を入力された場合は、デフォルトの欧文フォントが使用されます。

- フォントの指定は、「-y font=」および「-y jfont=」に続いて、フォント名をそのまま入力して下さい。

```
% lp -y font=Courier-Oblique filename
% lp -y jfont=Ryumin-Light-H filename
```

参照 ▶ 使用できるフォントについては、「付録 B　使用できるフォント」または使用するプリンタの操作説明書を参照してください。

-y margin=*u:b:r:l*	ページの余白をインチ単位で指定します。u （上余白）、b（下余白）、r（右余白）、l（左余白）は、正の実数（小数点第二位まで有効）です。デフォルトは 0 です。
-y ps	入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルか否かに関わらず、その他の posteuc.fd のオプションは無視されます。

◇使用例

2up、ゴシック体、8 ポイント、プリンタ名「205」で印刷する場合、次のように入力します。

```
% lpr -d 205 -y double -y gothic -y size=8 filename
```

3.20 FX4150.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FX4150.fd

◇機能

FX4150.fd ファイルは、PostScript データに Laser Press 4150 シリーズ特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドで自動的にフィルターを起動することができます。

FX4150.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: LaserPress4150
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray1 = -I1
Options: MODES tray2 = -I2
Options: MODES tray3 = -I3
Options: MODES a3 = -IA3
Options: MODES a4 = -IA4
Options: MODES a5 = -IA5
Options: MODES b4 = -IB4
Options: MODES b5 = -IB5
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c5 = -IC5
Options: MODES msi-a3 = -IMSI-A3
Options: MODES msi-a4 = -IMSI-A4
Options: MODES msi-a5 = -IMSI-A5
Options: MODES msi-b4 = -IMSI-B4
Options: MODES msi-b5 = -IMSI-B5
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-dl = -MSI-IDL
Options: MODES msi-c5 = -IMSI-C5
Options: MODES toner_save = -t
```

```
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES ps = -ps
# comparibility options
Options: MODES pc = -IPC
Options: MODES msi-pc = -IMSI-PC
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▸ SunOS 4.X の場合は、FX4150.fd ファイルを使用しません。

▸ このファイルは、Laser Press 4150 以外に使用することはできません。

◇オプション

FX4150.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイの指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-pc	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-dl	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はトレイ 1）から給紙されます。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。トナーセーブ機構のないプリンタに対してこのオプションを指定した場合は、無視されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

◇使用例

プリンタ名「4150PS」の手差しトレイのはがきに印刷する場合、次のように入力します。

% lp -d 4150PS -y msi-pc *filename*

3.21 FX4160.fd / AblePR.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FX4160.fd
/etc/lp/fd/AblePR.fd

◇機能

FX4160.fd、AblePR.fd ファイルは、PostScript データに Laser Press 4160 シリーズ、Able Model-PR シリーズ特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FX4160.fd、AblePR.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: LaserPress4160
  (Able Model-PR の場合は AbleModelPR となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /user/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray¥([1-4] ¥) = -I¥1
Options: MODES a¥([345] ¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([45] ¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES msi-a¥([345] ¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([45] ¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES face-up = -Ofu
Options: MODES mailbox¥([1-9] ¥) = -Om¥1
Options: MODES mailbox10 = -Om10
Options: MODES sorter¥([1-9] ¥) = -Ost¥1
```

```
Options: MODES sorter10 = -Ost10
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES ps = -ps
# compatibility options
Options: MODES msi-pc = -IMSI-PC
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▸ SunOS 4.X の場合は、FX4160.fd、AblePR.fd ファイルを使用しません。

▸ このファイルは、Laser Press 4160、Able Model-PR 以外に使用することはできません。

◇オプション

FX4160.fd、AblePR.fd ファイルを、lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、配紙トレイまたは両面印刷の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル（リーガル”14, 8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。

msi-legal　リーガル（リーガル”14, 8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。

msi-ledger　レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。

msi-folio　フォリオ(リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in)を手差しトレイから給紙します。

msi-postcard　はがきを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はトレイ 1）から給紙されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-up　フェイスアップトレイへ排紙します。

face-down　フェイスダウントレイへ排紙します。

mailbox*n*　メールボックスのビン n へ排紙します。n は 1 以上 10 以下の値です。

soter*n*　ソーターに n 部コピーして排紙します。n は 1 以上 10 以下の値です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。

メールボックスとソーターに排紙するときには、プリンタの操作パネルで設定された動作モードと一致していなければなりません。一致していないときには、デフォルトのトレイに排紙されます。

手差しトレイから給紙するときには、メールボックスとソーターに排紙することができません。メールボックスとソーターが指定されていると、フェイスダウントレイに排紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います。長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います。短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

注記 ▶　手差しトレイから給紙するときには、両面印刷を行うことはできません。

◇使用例

プリンタ名「4160」の A3 トレイの用紙に、長辺とじ印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d 4160 -y a3 -y DuplexBook *filename*

3.22 FX4200.fd / AblePR2.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FX4200.fd
/etc/lp/fd/AblePR2.fd

◇機能

FX4200.fd、AblePR2.fd ファイルは、PostScript データに Laser Press 4200/4300 シリーズ、Able Model-PRⅡシリーズ特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FX4200.fd、AblePR2.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: LaserPress4200
  (Able Model-PRⅡの場合は AbleModelPR2 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray¥([1-4] ¥) = -I¥1
Options: MODES a¥([345] ¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([45] ¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES msi-a¥([345] ¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([45] ¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES face-up = -Ofu
Options: MODES mailbox¥([0-9] ¥) = -Om¥1
Options: MODES mailbox10 = -Om10
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES finisher¥([1-3] ¥) = -Ofs¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
```

```
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
# compatibility options
Options: MODES msi-pc = -IMSI-PC
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▶ SunOS 4.X の場合は、FX4200.fd、AblePR2.fd ファイルを使用しません。

▶ このファイルは、Laser Press 4200/4300、Able Model-PRⅡシリーズ以外に使用することはできません。

◇オプション

FX4200.fd、AblePR2.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、配紙トレイまたは両面印刷の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。

msi-legal　　リーガル（リーガル”14, 8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。

msi-postcard　はがきを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はトレイ 1）から給紙されます。

-y *tray_output*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-up　　フェイスアップトレイへ排紙します。

face-down　　フェイスダウントレイへ排紙します。

mailbox*n*　　メールボックスのビン n へ排紙します。n は 1 以上 10 以下の値です。

finisher　　ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。

finisher*n*　　ステープルフィニッシャーのビン n に排紙します。n は 1 以上 3 以下の値です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。
ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短い方の辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

◇使用例

プリンタ名「4200」の A3 トレイの用紙に、トナー節約とイメージエンハンス無効の指定を指定して印刷を行う場合、次のように入力します。

```
% lp -d 4200 -y a3 -y toner_save -y image_enhance filename
```

3.23 FX4210.fd / FXDC250.fd / FXDC251.fd / FXDC352.fd / FXDP400.fd / FXDP401.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FX4210.fd
/etc/lp/fd/FXDC250.fd
/etc/lp/fd/FXDC251.fd
/etc/lp/fd/FXDC352.fd
/etc/lp/fd/FXDP400.fd
/etc/lp/fd/FXDP401.fd

◇機能

FX4210.fd、FXDC250.fd、FXDC251.fd、FXDC352.fd、FXDP400.fd、FXDP401.fd ファイルは、PostScript データに Laser Press 4210/4410、DocuCentre 250/350/400、DocuCentre 251/351/401、DocuCentre 352/402、DocuPrint 400/250、DocuPrint 401 プリンタ特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FX4210.fd、FXDC250.fd、FXDC251.fd、FXDC352.fd、FXDP400.fd、FXDP401.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: LaserPress4210
  (DocuCentre 250/350/400 の場合は DocuCentre250 となります)
  (DocuCentre 251/351/401 の場合は DocuCentre251 となります)
  (DocuCentre 352/402 の場合は DocuCentre352 となります)
  (DocuPrint 400/250 の場合は DocuPrint400 となります)
  (DocuPrint 401 の場合は DocuPrint401 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray¥([1-4] ¥) = -I¥1
Options: MODES a¥([345] ¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([45] ¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
```

```
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES pakai = -IPakai
Options: MODES msi-a¥([345] ¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([45] ¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-pakai = -IMSI-Pakai
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES face-up = -Ofu
Options: MODES mailbox¥([1-9] ¥) = -Om¥1
Options: MODES mailbox10 = -Om10
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES finisher¥([1-3] ¥) = -Ofs1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES jn = -JN
Options: MODES ju¥=¥(.*¥) = -JU¥=¥1
# compatibility options
Options: MODES legal1¥([34] ¥) = -ILG1¥1
Options: MODES msilegal1¥([34] ¥) = -IMSI-LG1¥1
Options: MODES msi-pc = -IMSI-PC
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FX4210.fd、FXDC250.fd、FXDC251.fd、FXDC352.fd、FXDP400.fd、FXDP401.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、Laser Press 4210/4410、DocuCentre 250/350/400、DocuCentre 251/351/401、DocuCentre 352/402、DocuPrint 400/250、DocuPrint 401 以外に使用することはできません。

◇オプション

FX4210.fd、FXDC250.fd、FXDC251.fd、FXDC352.fd、FXDP400.fd、FXDP401.fd ファイルを、lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、配紙トレイまたは両面印刷の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル（リーガル”14, 8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル（リーガル”14, 8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-pakai	八開用紙を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はトレイ 1）から給紙されます。

-y *tray_output*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-up	フェイスアップトレイへ排紙します。
face-down	フェイスダウントレイへ排紙します。
mailbox*n*	メールボックスのビン n へ排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。
finisher	ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
finisher*n*	ステープルフィニッシャーのビン n に排紙します。 n は 1 以上 3 以下の値です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。

ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。

-y toner_save

トナーを節約して印字します。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「4210」の A3 トレイの用紙に、長辺とじ印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d 4210 -y a3 -y DuplexBook *filename*

3.24 FX2100.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FX2100.fd

◇機能

FX2100.fd ファイルは、PostScript データに Laser Press 2100PS 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FX2100.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: LaserPress2100
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray1 = -I1
Options: MODES tray2 = -I2
Options: MODES a3 = -IA3
Options: MODES a4 = -IA4
Options: MODES a5 = -IA5
Options: MODES b4 = -IB4
Options: MODES b5 = -IB5
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES msi-a3 = -IMSI-A3
Options: MODES msi-a4 = -IMSI-A4
Options: MODES msi-a5 = -IMSI-A5
Options: MODES msi-b4 = -IMSI-B4
Options: MODES msi-b5 = -IMSI-B5
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES image_enhance = -E
Options: MODES policy¥=¥(.*¥) = -C¥1
Options: MODES toner_save = -t
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES ps = -ps
```

```
# compatibility options
Options: MODES lt = -ILT
Options: MODES lg = -ILG
Options: MODES msi-lt = -IMSI-LT
Options: MODES msi-lg = -IMSI-LG
Options: MODES msi-pc = -IMSI-PC
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▸ SunOS 4.X の場合は、FX2100.fd ファイルを使用しません。

▸ このファイルは、Laser Press 2100PS 以外に使用することはできません。

◇オプション

FX2100.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y image_enhance

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y policy=*n*

要求された PageSize が使用可能な用紙のいずれにも一致しないときに使う回復方針を指定します。パラメーターは 0 から 6 までの数値を選択することができますが、2 もしくは 3 を使用されることをお勧めします。

プリンタの初期値は 3 に設定されています。

0	印刷が中止され、configration エラーを生成します。
1	プリント指示した PageSize を無視して印刷します。
2	トレイに指定した用紙が 180 秒以内に補給されなかった場合、印刷が中止され、configration エラーを生成します。
3	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択し、拡大または、縮小して印刷します。
4	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に近いものを選択し、拡大して印刷します。
5	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。
6	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

◇使用例

プリンタ名「2100」の A3 トレイの用紙に、トナー節約とイメージエンハンス無効の指定を指定して印刷を行う場合、次のように入力します。

```
% lp -d 2100 -y a3 -y toner_save -y image_enhance filename
```

3.25 FXDC450.fd / FXDC450E.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXDC450.fd
/etc/lp/fd/FXDC450E.fd

◇機能

FXDC450.fd、FXDC450E.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre 450/550 CP、DocuCentre 450E/550E/600 CP 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXDC450.fd、FXDC450E.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre450
(DocuCentre 450E/550E/600 CP の場合は DocuCentre450E となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray¥([1-4] ¥) = -I¥1
Options: MODES multitray¥([1-3] ¥) = -Im¥1
Options: MODES a¥([3-6] ¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6] ¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES pakai = -IPakai
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES mailbox¥([1-9] ¥) = -Om¥1
Options: MODES mailbox10 = -Om10
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl

```
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES jn = -JN
Options: MODES ju¥=¥(.*¥) = -JU¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDC450.fd、FXDC450E.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuCentre 450/550 CP、DocuCentre 450E/550E/600 CP 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC450.fd、FXDC450E.fd ファイルを、lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、配紙トレイまたは両面印刷の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
multitray1	マルチトレイ 1 から給紙します。
multitray2	マルチトレイ 2 から給紙します。
multitray3	マルチトレイ 3 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル（リーガル”14, 8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はトレイ 1）から給紙されます。

-y *tray_output*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	フェイスダウントレイへ排紙します。
mailbox*n*	メールボックスのビン n へ排紙します。 n は 1 以上 10 以下の値です。
finisher	ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。

ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。このオプションは、両面印刷機能を持っているプリンタのみ有効です。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DC450」の A3 トレイの用紙に、長辺とじ印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DC450 -y a3 -y DuplexBook *filename*

3.26 FXDC505.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXDC505.fd

◇機能

FXDC505.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre 505/605/705 CP 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FXDC505.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre505
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray¥([1-4] ¥) = -I¥1
Options: MODES multitray¥([1-3] ¥) = -Im¥1
Options: MODES a¥([3-6] ¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6] ¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES pakai = -IPakai
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES msi-a¥([3-6] ¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6] ¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-pakai = -IMSI-Pakai
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES finisher = -Ofs
```

```
Options: MODES finisher1 = -Ofs1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES jn = -JN
Options: MODES ju¥=¥(.*¥) = -JU¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▸ SunOS 4.X の場合は、FXDC505.fd ファイルを使用しません。

▸ このファイルは、DocuCentre 505/605/705 CP 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC505.fd ファイルを、lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、配紙トレイまたは両面印刷の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
multitray1	マルチトレイ 1 から給紙します。
multitray2	マルチトレイ 2 から給紙します。
multitray3	マルチトレイ 3 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル（リーガル”14, 8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。

pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-pakai	八開用紙を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はトレイ 1）から給紙されます。

-y *tray_output*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	フェイスダウントレイへ排紙します。
finisher	ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
finisher1	フィニッシャーのビン 1 へ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DC505」の A3 トレイの用紙に、長辺とじ印刷を行う場合、次のように入力します。

```
% lp -d DC505 -y a3 -y DuplexBook filename
```

3.27 FXDC507.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXDC507.fd

◇機能

FXDC507.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre 507/607/707 CP 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXDC507.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre507
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray¥([1-4]¥) = -I¥1
Options: MODES multitray¥([1-3]¥) = -Im¥1
Options: MODES a¥([3-5]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-5]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES pakai = -IPakai
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-pakai = -IMSI-Pakai
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES DuplexBook = -D
```

```
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES jn = -JN
Options: MODES ju¥=¥(.*¥) = -JU¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▸ SunOS 4.X の場合は、FXDC507.fd ファイルを使用しません。

▸ このファイルは、DocuCentre 507/607/707 CP 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC507.fd ファイルを、lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、配紙トレイまたは両面印刷の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
multitray1	マルチトレイ 1 から給紙します。
multitray2	マルチトレイ 2 から給紙します。
multitray3	マルチトレイ 3 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル（リーガル”14, 8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。

msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-pakai	八開用紙を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はトレイ 1）から給紙されます。

-y *tray_output*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	フェイスダウントレイへ排紙します。
finisher	ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。

ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DC507」の A4 トレイの用紙に、長辺とじ印刷を行う場合、次のように入力します。

```
% lp -d DC507 -y a4 -y DuplexBook filename
```

3.28 FXDC719.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXDC719.fd

◇機能

FXDC507.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre 719/659/559 CP 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FXDC719.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre719
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray¥([1-4]¥) = -I¥1
Options: MODES multitray¥([1-3]¥) = -Im¥1
Options: MODES a¥([3-5]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-5]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES pakai = -IPakai
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-pakai = -IMSI-Pakai
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES DuplexBook = -D
```

```
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES jn = -JN
Options: MODES ju¥=¥(.*¥) = -JU¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDC719.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuCentre 719/659/559 CP 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC719.fd ファイルを、lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、配紙トレイまたは両面印刷の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル（リーガル”14, 8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
pakai	八開用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。

msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-pakai	八開用紙を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はトレイ 1）から給紙されます。

-y *tray_output*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	フェイスダウントレイへ排紙します。
finisher	ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DC719」の A4 トレイの用紙に、長辺とじ印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DC719 -y a4 -y DuplexBook *filename*

3.29 FXDC230.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXDC230.fd

◇機能

FXDC230.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre 230/280 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FXDC230.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre230
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray¥([1-4]¥) = -I¥1
Options: MODES a¥([3-5]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-5]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-ec3 = -IMSI-EC3
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES face-up = -Ofu
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES finisher1 = -Ofs1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
```

```
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES toner_save = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES jn = -JN
Options: MODES ju¥=¥(.*¥) = -JU¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDC230.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuCentre 230/280 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC230.fd ファイルを、lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ、配紙トレイまたは両面印刷の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル（リーガル”14, 8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。

msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3	封筒長型 3 号を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はトレイ 1）から給紙されます。

-y *tray_output*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	フェイスダウントレイへ排紙します。
face-up	フェイスアップトレイへ排紙します。
finisher	ステープルフィニッシャーの排紙先を自動選択します。
finisher1	フィニッシャーのビン 1 へ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。

ステープルフィニッシャーを指定した場合、指定トレイに排出することはできますが、ホチキスを打つことはできません。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより、出力ユーザーのユーザー情報を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには、username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DC230」の B5 トレイの用紙に、長辺とじ印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DC230 -y b5 -y DuplexBook *filename*

3.30 FXDP201.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXDP201.fd

◇機能

FXDP201.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint 201PS 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで､lpfilter コマンドでシステムに登録します｡フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FXDP201.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrint201
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray1 = -I1
Options: MODES tray2 = -I2
Options: MODES tray3 = -I3
Options: MODES a3 = -IA3
Options: MODES a4 = -IA4
Options: MODES a5 = -IA5
Options: MODES b4 = -IB4
Options: MODES b5 = -IB5
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES msi-a3 = -IMSI-A3
Options: MODES msi-a4 = -IMSI-A4
Options: MODES msi-a5 = -IMSI-A5
Options: MODES msi-b4 = -IMSI-B4
Options: MODES msi-b5 = -IMSI-B5
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES image_enhance = -E
Options: MODES policy¥=¥(.*¥) = -C¥1
Options: MODES toner_save = -t
```

```
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDP201.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuPrint 201PS 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDP201.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

不定形用紙の最小サイズは 86.1x148.2mm、最大サイズは 304.8x508.0mm です。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y image_enhance

イメージエンハンス機能を使用しません。

-y policy=*n*

要求された PageSize が使用可能な用紙のいずれにも一致しないときに使う回復方針を指定します。パラメーターは 0 から 6 までの数値を選択することができますが、2 もしくは 3 を使用されることをお勧めします。

プリンタの初期値は 2 に設定されています。

0	印刷が中止され、configration エラーを生成します。
1	プリント指示した PageSize を無視して印刷します。
2	トレイに指定した用紙が存在しない場合、指定した用紙の補給を促すメッセージがプリンタのパネルに表示され、用紙の補給を待ちます。
3	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択し、拡大または、縮小して印刷します。
4	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に近いものを選択し、拡大して印刷します。
5	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で一番近いものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。
6	指定した用紙のサイズがトレイに存在するものと異なる場合、使用可能な用紙で次に大きいものを選択しますが、指定した Pagesize で印刷します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイ（工場出荷時はフェイスダウントレイ）に排紙されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数）。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

◇使用例

プリンタ名「201」の A3 トレイの用紙に、トナー節約とイメージエンハンス無効の指定を指定して印刷を行う場合、次のように入力します。

```
% lp -d 201 -y a3 -y toner_save -y image_enhance filename
```

3.31 FXDP280.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXDP280.fd

◇機能

FXDP280.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint 280 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXDP280.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrint280
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray1¥([1-3]¥) = -I¥1
Options: MODES a¥([3-5]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-5]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILG
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES msi-a¥([3-5]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-5]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LG
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES toner_save = -t
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES jn = -JN
```

Options: MODES ju¥=¥(.*¥) = -JU=¥1

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▸ SunOS 4.X の場合は、FXDP280.fd ファイルを使用しません。
▸ このファイルは、DocuPrint 280 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDP280.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に｢%!｣が存在しないファイルの場合、先頭行に｢%!｣を出力します。また、｢%!｣が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより､出力ユーザーのユーザー情報を､プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには､ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で､プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより､出力ユーザーのユーザー情報を､プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには､username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「280」の A3 トレイの用紙に、トナー節約の指定を指定して印刷を行う場合、次のように入力します。

```
% lp -d 280 -y a3 -y toner_save filename
```

3.32 FXDP260.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXDP260.fd

◇機能

FXDP260.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint 260/360 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXDP260.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrint260
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps
Options: MODES tray¥([1-3]¥) = -I¥1
Options: MODES a¥([3-5]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-5]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES msi-a¥([3-5]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-5]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-lp = -IMSI-LP
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES toner_save = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
```

```
Options: MODES jn = -JN
Options: MODES ju¥=¥(.*¥) = -JU¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▸ SunOS 4.X の場合は、FXDP260.fd ファイルを使用しません。
▸ このファイルは、DocuPrint 260/360 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDP260.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-lp	長尺紙を手差しトレイから給紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に｢%!｣が存在しないファイルの場合、先頭行に｢%!｣を出力します。また、｢%!｣が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y jn

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより､出力ユーザーのユーザー情報を､プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには､ログインユーザー名とワークステーションのホスト名で､プリント履歴が記録されます。

-y ju=*username*

XJCL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XJCL ヘッダを出力することにより､出力ユーザーのユーザー情報を､プリンタのプリント履歴として記録することができます。プリンタの JCL スイッチを ON にしている場合のみ使用できます。

プリンタには､username で指定されるユーザー名とワークステーションのホスト名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DP260」の手差しトレイの長尺紙に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DP260 -y msi-lp *filename*

3.33 FXDP205.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXDP205.fd

◇機能

FXDP205.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint 205/255/305 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXDP205.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: Fxpostscript
Printer types: DocuPrint205
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-4]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IautoPT
Options: MODES a¥([345]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([45]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([345]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([45]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-com10 = -ICOM10
Options: MODES msi-monarc = -IMonarc
Options: MODES msi-dl = -IDL
Options: MODES msi-c5 = -IC5
Options: MODES msi-ey4 = -IEY4
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
```

```
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES face-up = -Ofu
Options: MODES offset = -Oof
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDP205.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuPrint 205/255/305 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDP205.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。

msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-dl	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-ey4	封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 76.2x98.4mm、最大 304.8x508.0mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

297x900mm

210x900mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。
face-up	リアトレイへ排紙します。
offset	オフセット排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job	ジョブ単位
SE set	セット単位

-y m=*type*

用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN any	指定しない
PL plain	普通紙
RC recycled	再生紙
H1 hwpaper1	厚紙 1
H2 hwpaper2	厚紙 2
OH ohp	OHP 用紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto	自動
DT detail	細かい網点
RH rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DP205」の手差しトレイの A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DP205 -y msi-a4 *filename*

3.34 FXDP340A.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXDP340A.fd

◇機能

FXDP340A.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint 340A 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで､lpfilter コマンドでシステムに登録します｡フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXDP340A.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrint340A
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-4]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IautoPT
Options: MODES a¥([45]¥) = -IA¥1
Options: MODES b5 = -IB5
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES face-up = -Ofu
Options: MODES offset = -Oof
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
```

```
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDP340A.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuPrint 340A 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDP340A.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 76.2x127.0mm、最大 215.9x355.6mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。
face-up	リアトレイへ排紙します。
offset	オフセット排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job	ジョブ単位
SE set	セット単位

-y m=*type*

用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN any	指定しない
PL plain	普通紙
RC recycled	再生紙
H1 hwpaper1	厚紙 1
H2 hwpaper2	厚紙 2
OH ohp	OHP 用紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto	自動
DT detail	細かい網点
RH rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DP340A」の B5 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DP340A -y b5 *filename*

3.35 FXDP350JM.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXDP350JM.fd

◇機能

FXDP350JM.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint 350JM 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FXDP350JM.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrint350JM
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-4]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IautoPT
Options: MODES a¥([45]¥) = -IA¥1
Options: MODES b5 = -IB5
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES KNS = -I*
Options: MODES KN = -I*
Options: MODES KNL = -I*
Options: MODES GN = -I*
Options: MODES GNL = -I*
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES face-up = -Ofu
Options: MODES offset = -Oof
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
```

```
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDP350JM.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuPrint 350JM 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDP350JM.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
KNS	かんばん S セットされたトレイから給紙します。
KN	かんばんがセットされたトレイから給紙します。
KNL	かんばん L がセットされたトレイから給紙します。
GN	現品票がセットされたトレイから給紙します。
GNL	現品票 L がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 76.2x127.0mm、最大 215.9x355.6mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。
face-up	リアトレイへ排紙します。
offset	オフセット排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job	ジョブ単位
SE set	セット単位

-y m=*type*

用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN any	指定しない
PL plain	普通紙
RC recycled	再生紙
H1 hwpaper1	厚紙 1
H2 hwpaper2	厚紙 2
OH ohp	OHP 用紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto	自動
DT detail	細かい網点
RH rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DP350JM」の B5 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

```
% lp -d DP350JM -y b5 filename
```

3.36 FXDP505.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXDP505.fd

◇機能

FXDP505.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint 405/505 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXDP505.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: PTYPE_Choukou
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-46]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c¥([45]¥) = -IC¥1
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
```

```
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3y = -IMSI-EC3Y
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c¥([45]¥) = -IMSI-C¥1
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES fs-top = -Ofst
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDP505.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuPrint 405/505 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDP505.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。

tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
c4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター (9x11in) がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。

msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-dl	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-c4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
msi-ca4	表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt	表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 88.9x98.4mm、最大 296.7x431.8mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。
finisher	フィニッシャーへ排紙します。
fs-top	排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job	ジョブ単位
SE set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN any	指定しない
PL plain	普通紙
RC recycled	再生紙
H1 hwpaper1	厚紙 1
H2 hwpaper2	厚紙 2
OH ohp	OHP 用紙
TN thin	うす紙
LB label	ラベル紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto	自動
DT detail	細かい網点
RH rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DP505」の B5 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DP505 -y b5 *filename*

3.37 FXDP2060.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXDP2060.fd

◇機能

FXDP2060.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint 2060/3050 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FXDP2060.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: PTYPE_Choukou
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-4]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-5]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-5]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES ey4 = -IEY4
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c5 = -IC5
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-5]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-5]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
```

```
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3y = -IMSI-EC3Y
Options: MODES msi-ey4 = -IMSI-EY4
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c5 = -IMSI-C5
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDP2060.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuPrint 2060/3050 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDP2060.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。

a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
ey4	封筒洋形 4 号がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-ey4	封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。

msi-dl　　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5　　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm　　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。
M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 74.8x147.8mm、最大 297.0x900.3mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down　　センタートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN any	指定しない
PL plain	普通紙
H1 hwpaper1	厚紙 1
H2 hwpaper2	厚紙 2
OH ohp	OHP 用紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto	自動
DT detail	細かい網点
RH rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DP2060」の B5 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DP2060 -y b5 *filename*

3.38 FXDP3100.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXDP3100.fd

◇機能

FXDP3100.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint 3100/3000 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FXDP3100.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrint3100
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-3]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-5]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-5]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES ey4 = -IEY4
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c5 = -IC5
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-5]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-5]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
```

```
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3 = -IMSI-EC3
Options: MODES msi-ey4 = -IMSI-EY4
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c5 = -IMSI-C5
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES toner_save2¥=¥(.*¥) = -t2¥=¥1
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▸ SunOS 4.X の場合は、FXDP3100.fd ファイルを使用しません。

▸ このファイルは、DocuPrint 3100/3000 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDP3100.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。

a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
ey4	封筒洋形 4 号がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-ey4	封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。

msi-dl　　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。

msi-c5　　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。

msi-*M*x*N*mm　　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。
M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 75.2x98.1mm、最大 296.6x899.9mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

297x900mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save2=*tonersave*

トナーを節約して印刷します。印字内容は通常より薄く印字されます。

Mode1　　ややうすい(節約量小)

Mode2　　うすい(節約量大)

Mode3　　かなりうすい(ドラフト)

このオプションを指定しない場合、トナーセーブは機能しません。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に｢%!｣が存在しないファイルの場合、先頭行に｢%!｣を出力します。また、｢%!｣が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは､次のとおりです。

face-down　　センタートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN any　　指定しない

PL plain	普通紙
PLB plainback	普通紙裏面
RC recycled	再生紙
H1 hwpaper1	厚紙 1
H2 hwpaper2	厚紙 2
OH ohp	OHP 用紙
TN thin	うす紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto	自動
DT detail	細かい網点
RH rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DP3100」の B5 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DP3100 -y b5 *filename*

3.39 FXDP4050.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXDP4050.fd

◇機能

FXDP4050.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint 4050 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FXDP4050.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrint4050
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-4]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-5]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-5]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES ey4 = -IEY4
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c5 = -IC5
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-5]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-5]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
```

```
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3 = -IMSI-EC3
Options: MODES msi-ey4 = -IMSI-EY4
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c5 = -IMSI-C5
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDP4050.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuPrint 4050 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDP4050.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。

a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
ey4	封筒洋形 4 号がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-ey4	封筒洋形 4 号を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。

msi-dl　　　封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5　　　封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。
M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 75.0x98.0mm、最大 297.0x900.0mm

長尺紙として以下の次のサイズが利用できます。

297x900mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down　　センタートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN any	指定しない
PL plain	普通紙
PLB plainback	普通紙裏面
RC recycled	再生紙
H1 hwpaper1	厚紙 1

H2 hwpaper2	厚紙 2
OH ohp	OHP 用紙
TN thin	うす紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto	自動
DT detail	細かい網点
RH rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DP4050」の B5 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DP4050 -y b5 ***filename***

3.40 FXDP5060.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXDP5060.fd

◇機能

FXDP5060.fd ファイルは、PostScript データに DocuPrint 5060/4060 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXDP5060.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuPrint5060
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-46]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
```

```
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c¥([45]¥) = -IC¥1
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-8x10in = -IMSI-8x10in
Options: MODES msi-8.46x12.4in = -IMSI-8.46x12.4in
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3y = -IMSI-EC3Y
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c¥([45]¥) = -IMSI-C¥1
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES fs-top = -Ofst
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
```

```
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDP5060.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuPrint 5060/4060 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDP5060.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。

8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
c4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
msi-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
msi-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
msi-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。

msi-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiT	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiT	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-dl	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-c4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
msi-ca4	表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt	表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 88.9x98.4mm、最大 297.0x432.0mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。
finisher	フィニッシャーへ排紙します。
fs-top	排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job	ジョブ単位
SE set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN any	指定しない
PL plain	普通紙
PLB plainback	普通紙裏面
RC recycled	再生紙
H1 hwpaper1	厚紙 1
H2 hwpaper2	厚紙 2
OH ohp	OHP 用紙
TN thin	うす紙
LB label	ラベル紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto	自動
DT detail	細かい網点
RH rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DP5060」の B5 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DP5060 -y b5 *filename*

3.41 FXDC185.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXDC185.fd

◇機能

FXDC185.fd ファイルは､PostScript データに DocuCentre 1085/1055/185/155 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FXDC185.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre185
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-4]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IautoPT
Options: MODES a¥([345]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([45]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -Imonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c5 = -IC5
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
```

```
Options: MODES msi-a¥([345]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([45]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-ec3y = -IMSI-EC3Y
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c5 = -IMSI-C5
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDC185.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuCentre 1085/1055/185/155 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC185.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。

msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiC	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiC	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-dl	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 88.9x98.4mm、最大 297.0x431.8mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job	ジョブ単位
SE set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN any	指定しない
PL plain	普通紙
RC recycled	再生紙
H1 hwpaper1	厚紙 1
H2 hwpaper2	厚紙 2
OH ohp	OHP 用紙
TN thin	うす紙
LB label	ラベル紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto	自動
DT detail	細かい網点
RH rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DC185」の B5 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DC185 -y b5 *filename*

3.42 FXDCf285.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXDCf285.fd

◇機能

FXDCf285.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre f285/f235/a285/a235 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FXDCf285.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentref285
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-4]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
```

```
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c¥([45]¥) = -IC¥1
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-8x10in = -IMSI-8x10in
Options: MODES msi-8.46x12.4in = -IMSI-8.46x12.4in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3y = -IMSI-EC3Y
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c¥([45]¥) = -IMSI-C¥1
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES center2 = -Oce2
Options: MODES face-up = -Ofu2
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
```

```
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDCf285.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuCentre f285/f235/a285/a235 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDCf285.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。

8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
c4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
msi-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
msi-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
msi-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。

msi-8kaiT	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiT	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-dl	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-c4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
msi-ca4	表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt	表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 89.3x98.4mm、最大 296.7x431.8mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。
center2	センタートレイ上段へ排紙します。
face-up	サイドトレイへ排紙します。
finisher	フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job	ジョブ単位
SE set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN any	指定しない
PL plain	普通紙
RC recycled	再生紙
H1 hwpaper1	厚紙 1
H2 hwpaper2	厚紙 2
OH ohp	OHP 用紙
TN thin	うす紙
LB label	ラベル紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto	自動
DT detail	細かい網点
RH rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DCf285」の B5 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

```
% lp -d DCf285 -y b5 filename
```

3.43 FXDCf1100.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXDCf1100.fd

◇機能

FXDCf1100.fd ファイルは､PostScript データに DocuCentre f1100/f900/a1100/a900 /9000 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXDCf1100.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentref1100
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-7]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES sra3 = -ISRA3
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x15in = -I*
Options: MODES 12.6x19.2in = -I*
Options: MODES 13x18in = -I*
Options: MODES 13x19in = -I*
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
```

```
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-sra3 = -IMSI-SRA3
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-12x15in = -IMSI-12x15in
Options: MODES msi-12.6x19.2in = -IMSI-12.6x19.2in
Options: MODES msi-13x18in = -IMSI-13x18in
Options: MODES msi-13x19in = -IMSI-13x19in
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3 = -IMSI-EC3
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDCf1100.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDCf1100.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
tray7	トレイ 7 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
sra3	SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in	12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in	13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in	13x19in がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。

msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-sra3	SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-12x18in	12x18in を手差しトレイから給紙します。
msi-12.6x19.2in	12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。
msi-13x18in	13x18in を手差しトレイから給紙します。
msi-13x19in	13x19in を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-ca4	表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt	表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.0x148.2mm、最大 330.0x488.0mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。
finisher	フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job	ジョブ単位
SE set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN any	指定しない
PL plain	普通紙
RC recycled	再生紙
H1 hwpaper1	厚紙 1
H2 hwpaper2	厚紙 2
OH ohp	OHP 用紙
TN thin	うす紙
LB label	ラベル紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto	自動
DT detail	細かい網点
RH rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DCf1100」の A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DCf1100 -y a4 *filename*

3.44 FXAP450I.fd / FXDC450I.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXAP450I.fd
/etc/lp/fd/ FXDC450I.fd

◇機能

FXAP450I.fd、FXDC450I.fd ファイルは、PostScript データに ApeosPort 450 I/350 I、DocuCentre 450 I/350 I 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXAP450I.fd、FXDC450I.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: ApeosPort450I
  (DocuCentre 450 I/350 I の場合は DocuCentre450I となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-46]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c¥([45]¥) = -IC¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
```

```
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3y = -IMSI-EC3Y
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c¥([45]¥) = -IMSI-C¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-8x10in = -IMSI-8x10in
Options: MODES msi-8.46x12.4in = -IMSI-8.46x12.4in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES face-up = -Ofu2
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES center2 = -Oce2
Options: MODES fs-top = -Ofst
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
```

```
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXAP450I.fd、FXDC450I.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、ApeosPort 450 I/350 I、DocuCentre 450 I/350 I 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXAP450I.fd、FXDC450I.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
c4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。

folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター (9x11in) がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
msi-dl	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-c4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。

msi-statement ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-4x6in 4x6in を手差しトレイから給紙します。
msi-5x7in 5x7in を手差しトレイから給紙します。
msi-8x10in 8x10in を手差しトレイから給紙します。
msi-8.46x12.4in 8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in 11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiT 八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiT 十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiC 八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiC 十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-ca4 表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt 表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm *M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.0x148.2mm、最大 330.0x488.0mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。
face-up	サイドトレイへ排紙します。
finisher	フィニッシャートレイへ排紙します。
center2	センタートレイ上段へ排紙します。
fs-top	排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP 用紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「AP450I」の A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

```
% lp -d AP450I -y a4 filename
```

3.45 FXAP750I.fd / FXDC750I.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXAP750I.fd
/etc/lp/fd/ FXDC750I.fd

◇機能

FXAP450I.fd、FXDC450I.fd ファイルは、PostScript データに ApeosPort 750 I/650 I/550 I、DocuCentre 750 I/650 I/550 I 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXAP750I.fd、FXDC750I.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: ApeosPort450I
  (DocuCentre 750 I/650 I/550 I の場合は DocuCentre750I となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-46]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES sra3 = -ISRA3
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES c¥([45]¥) = -IC¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
```

```
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 12.6x19.2in = -I*
Options: MODES 13x18in = -I*
Options: MODES 13x19in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-sra3 = -IMSI-SRA3
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3 = -IMSI-EC3
Options: MODES msi-c¥([45]¥) = -IMSI-C¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-8x10in = -IMSI-8x10in
Options: MODES msi-8.46x12.4in = -IMSI-8.46x12.4in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-12x18in = -IMSI-12x18in
Options: MODES msi-12.6x19.2in = -IMSI-12.6x19.2in
Options: MODES msi-13x18in = -IMSI-13x18in
Options: MODES msi-13x19in = -IMSI-13x19in
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
```

```
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXAP750I.fd、FXDC750I.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、ApeosPort 750 I/650 I/550 I、DocuCentre 750 I/650 I/550 I 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXAP750I.fd、FXDC750I.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
sra3	SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。

c4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in	12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in	13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in	13x19in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-sra3	SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-c4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を

手差しトレイから給紙します。

msi-legal　リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。

msi-ledger　レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。

msi-statement　ステートメント（5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。

msi-exe　Executive(7.25x10.5 インチ) を手差しトレイから給紙します。

msi-4x6in　4x6in を手差しトレイから給紙します。

msi-5x7in　5x7in を手差しトレイから給紙します。

msi-8x10in　8x10in を手差しトレイから給紙します。

msi-8.46x12.4in　8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。

msi-11x15in　11x15in を手差しトレイから給紙します。

msi-12x18in　12x18in を手差しトレイから給紙します。

msi-12.6x19.2in　12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。

msi-13x18in　13x18in を手差しトレイから給紙します。

msi-13x19in　13x19in を手差しトレイから給紙します。

msi-ca4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。

msi-clt　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。

msi-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.2x148.2mm、最大 329.8x487.9mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。
finisher	フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP フィルム
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB1	label1	ラベル紙 1
LB2	label2	ラベル紙 2
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「AP750I」の A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d AP750I -y a4 ***filename***

3.46 FXAP24000.fd / FXDC24000.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXAP24000.fd
/etc/lp/fd/ FXDC24000.fd

◇機能

FXAP24000.fd、FXDC24000.fd ファイルは、PostScript データに ApeosPort-II 4000/3000、DocuCentre-II 4000/3000 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXAP24000.fd、FXDC24000.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: ApeosPort24000
  (DocuCentre-II 4000/3000 の場合は DocuCentre24000 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-46]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c¥([45]¥) = -IC¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
```

```
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3y = -IMSI-EC3Y
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c¥([45]¥) = -IMSI-C¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-8x10in = -IMSI-8x10in
Options: MODES msi-8.46x12.4in = -IMSI-8.46x12.4in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES face-up = -Ofu2
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES center2 = -Oce2
Options: MODES fs-top = -Ofst
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
```

```
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▶ SunOS 4.X の場合は、FXAP24000.fd、FXDC24000.fd ファイルを使用しません。

▶ このファイルは、ApeosPort-II 4000/3000、DocuCentre-II 4000/3000 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXAP24000.fd、FXDC24000.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
c4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。

letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター (9x11in) がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
msi-dl	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-c4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから

	給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
msi-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
msi-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
msi-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiC	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiC	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-ca4	表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt	表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 89.3x98.4 mm、最大 296.7x431.8 mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に｢%!｣が存在しないファイルの場合、先頭行に｢%!｣を出力します。また、｢%!｣が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。
face-up	サイドトレイへ排紙します。
finisher	フィニッシャートレイへ排紙します。
center2	センタートレイ上段へ排紙します。
fs-top	排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP 用紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「AP24000」の A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d AP24000 -y a4 *filename*

3.47 FXAP27000.fd / FXDC27000.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXAP27000.fd
/etc/lp/fd/ FXDC27000.fd

◇機能

FXAP27000.fd、FXDC27000.fd ファイルは、PostScript データに ApeosPort-II 7000/6000/5000、DocuCentre-II 7000/6000/5000 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXAP27000.fd、FXDC27000.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: ApeosPort27000
(DocuCentre-II 7000/6000/5000 の場合は DocuCentre27000 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-467]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES c¥([45]¥) = -IC¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1

```
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-c¥([45]¥) = -IMSI-C¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-12x18in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▸ SunOS 4.X の場合は、FXAP27000.fd、FXDC27000.fd ファイルを使用しません。

▸ このファイルは、ApeosPort-II 7000/6000/5000、DocuCentre-II 7000/6000/5000 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXAP27000.fd、FXDC27000.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。

tray6	トレイ 6 から給紙します。
Tray7	トレイ 7 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
c4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター (9x11in) がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-c4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから

	給紙します。
msi-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-12x18in	12x18in を手差しトレイから給紙します。
msi-ca4	表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt	表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.2x148.2 mm、最大 304.8x456.8 mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数）。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。
finisher	フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP 用紙
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「AP27000」の A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

```
% lp -d AP27000 -y a4 filename
```

3.48 FXDC33000.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXDC33000.fd

◇機能

FXDC33000.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-III 3000/2000 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FXDC33000.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre33000
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-4]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c¥([45]¥) = -IC¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
```

```
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3y = -IMSI-EC3Y
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c¥([45]¥) = -IMSI-C¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-8x10in = -IMSI-8x10in
Options: MODES msi-8.46x12.4in = -IMSI-8.46x12.4in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES face-up = -Ofu2
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES center2 = -Oce2
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
```

```
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXDC33000.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、DocuCentre-III 3000/2000 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC33000.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
c4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイ

	から給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-dl	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-c4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
msi-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。

msi-8x10in　8x10in を手差しトレイから給紙します。
msi-8.46x12.4in 8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in　11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiT　八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiT　十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiC　八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiC　十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-ca4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 88.9x98.4mm、最大 297.0x432.0mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down　センタートレイへ排紙します。
face-up　サイドトレイへ排紙します。
finisher　フィニッシャートレイへ排紙します。
center2　センタートレイ上段へ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP 用紙
LB	label	ラベル紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。
2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DC33000」の A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

```
% lp -d DC33000 -y a4 filename
```

3.49 FXAP34000.fd / FXDC34000.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXAP34000.fd
/etc/lp/fd/FXDC34000.fd

◇機能

FXAP34000.fd、FXDC34000.fd ファイルは、PostScript データに ApeosPort-III 4000/3010、DocuCentre-III 4000/3010 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXAP34000.fd、FXDC34000.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: ApeosPort34000
　(DocuCentre-III 4000/3010 の場合は DocuCentre34000 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-46]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c¥([45]¥) = -IC¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*

```
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3y = -IMSI-EC3Y
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c¥([45]¥) = -IMSI-C¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-8x10in = -IMSI-8x10in
Options: MODES msi-8.46x12.4in = -IMSI-8.46x12.4in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES face-up = -Ofu2
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES center2 = -Oce2
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
```

```
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXAP34000.fd、FXDC34000.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、ApeosPort-III 4000/3010、DocuCentre-III 4000/3010 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXAP34000.fd、FXDC34000.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
Tray6	トレイ 6 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
c4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。

folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-dl	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-c4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。

msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
msi-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
msi-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
msi-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiC	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiC	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-ca4	表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt	表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 88.9x98.4mm、最大 297.0x432.0mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down	センタートレイへ排紙します。
face-up	サイドトレイへ排紙します。
finisher	フィニッシャートレイへ排紙します。
center2	センタートレイ上段へ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP 用紙
LB	label	ラベル紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DC34000」の A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DC34000 -y a4 *filename*

3.50 FXAP37000.fd / FXDC37000.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXAP37000.fd
/etc/lp/fd/ FXDC37000.fd

◇機能

FXAP37000.fd、FXDC37000.fd ファイルは、PostScript データに ApeosPort-III 7000/6000/5000、DocuCentre-III 7000/6000/5000 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXAP37000.fd、FXDC37000.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: ApeosPort37000
(DocuCentre-III 7000/6000/5000 の場合は DocuCentre37000 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-467]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES c¥([45]¥) = -IC¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*

```
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-c¥([45]¥) = -IMSI-C¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-8x10in = -IMSI-8x10in
Options: MODES msi-8.46x12.4in = -IMSI-8.46x12.4in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-12x18in = -IMSI-12x18in
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
```

```
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXAP37000.fd、FXDC37000.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、ApeosPort-III 7000/6000/5000、DocuCentre-III 7000/6000/5000 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXAP37000.fd、FXDC37000.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
Tray7	トレイ 7 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
c4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。

4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-c4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
msi-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
msi-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
msi-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-12x18in	12x18in を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiC	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiC	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。

msi-ca4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。
M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.2x148.2 mm、最大 304.8x456.8 mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down　センタートレイへ排紙します。
finisher　フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP 用紙
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「AP37000」の A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d AP37000 -y a4 *filename*

3.51 FXDC43060.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/ FXDC43060.fd

◇機能

FXDC43060.fd ファイルは、PostScript データに DocuCentre-IV 3060/2060 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。
FXDC43060.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。
Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: DocuCentre43060
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-4]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3 = -IEC3
Options: MODES ek2 = -IEK2
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c5 = -IC5
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
```

```
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3 = -IMSI-EC3
Options: MODES msi-ek2 = -IMSI-EK2
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c5 = -IMSI-C5
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-8x10in = -IMSI-8x10in
Options: MODES msi-8.46x12.4in = -IMSI-8.46x12.4in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES center2 = -Oce2
Options: MODES face-up = -Ofu2
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
```

```
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES toner_save = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▶ SunOS 4.X の場合は、FXDC43060.fd ファイルを使用しません。

▶ このファイルは、DocuCentre-IV 3060/2060 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXDC43060.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3	封筒長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
ek2	封筒角形 2 号がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから

	給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3	封筒長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-ek2	封筒角形 2 号を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
msi-dl	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。

msi-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
msi-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
msi-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
msi-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiC	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiC	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-ca4	表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt	表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 89.3x98.1 mm、最大 296.6x431.8 mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように､印刷の方向や位置を調整し､用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる､排紙トレイについてのパラメーターは､次のとおりです。

center2	センタートレイ上段へ排紙します。
face-up	サイドトレイへ排紙します。
finisher	フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、

デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP 用紙
TN	thin	うす紙
LB	label	ラベル紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DC43060」の A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DC43060 -y a4 *filename*

3.52 FXAP44070.fd / FXDC44070.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXAP44070.fd
/etc/lp/fd/FXDC44070.fd

◇機能

FXAP44070.fd、FXDC44070.fd ファイルは、PostScript データに ApeosPort-IV 4070/3070、DocuCentre-IV 4070/3070 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXAP44070.fd、FXDC44070.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: ApeosPort44070
(DocuCentre-IV 4070/3070 の場合は DocuCentre44070 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-46]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ec3y = -IEC3Y
Options: MODES com10 = -ICOM10
Options: MODES monarc = -IMonarc
Options: MODES dl = -IDL
Options: MODES c¥([45]¥) = -IC¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*

```
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-ec3y = -IMSI-EC3Y
Options: MODES msi-monarc = -IMSI-Monarc
Options: MODES msi-com10 = -IMSI-COM10
Options: MODES msi-dl = -IMSI-DL
Options: MODES msi-c¥([45]¥) = -IMSI-C¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-8x10in = -IMSI-8x10in
Options: MODES msi-8.46x12.4in = -IMSI-8.46x12.4in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES center2 = -Oce2
Options: MODES face-up = -Ofu2
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES fs-top = -Ofst
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
```

```
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES toner_save = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記 ▸ SunOS 4.X の場合は、FXAP44070.fd、FXDC44070.fd ファイルを使用しません。

▸ このファイルは、ApeosPort-IV 4070/3070、DocuCentre-IV 4070/3070 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXAP44070.fd、FXDC44070.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
Tray6	トレイ 6 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
ec3y	封筒洋長形 3 号がセットされたトレイから給紙します。
com10	封筒 COM10 がセットされたトレイから給紙します。
monarc	封筒 Monarc がセットされたトレイから給紙します。
dl	封筒 DL がセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
c4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。

letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開(267x388mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開(267x194mm)がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開(270x390mm)がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開(270x195mm)がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター (9x11in) がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-ec3y	封筒洋長形 3 号を手差しトレイから給紙します。
msi-com10	封筒 COM10 を手差しトレイから給紙します。
msi-monarc	封筒 Monarc を手差しトレイから給紙します。
msi-dl	封筒 DL を手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-c4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから

給紙します。

msi-statement ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。

msi-exe Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。

msi-4x6in 4x6in を手差しトレイから給紙します。

msi-5x7in 5x7in を手差しトレイから給紙します。

msi-8x10in 8x10in を手差しトレイから給紙します。

msi-8.46x12.4in 8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。

msi-11x15in 11x15in を手差しトレイから給紙します。

msi-8kaiT 八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。

msi-16kaiT 十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。

msi-8kaiC 八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。

msi-16kaiC 十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。

msi-ca4 表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。

msi-clt 表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。

msi-*M*x*N*mm *M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 88.9x98.1mm、最大 296.6x431.8mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

center2	センタートレイ上段へ排紙します。
face-up	サイドトレイへ排紙します。
finisher	フィニッシャートレイへ排紙します。
fs-top	排出トレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
TN	thin	うす紙
OH	ohp	OHP 用紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「DC44070」の A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d DC44070 -y a4 *filename*

3.53 FXAP47080.fd / FXDC47080.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FXAP47080.fd
/etc/lp/fd/FXDC47080.fd

◇機能

FXAP47080.fd、FXDC47080.fd ファイルは、PostScript データに ApeosPort-IV 7080/6080/5080、DocuCentre-IV 7080/6080/5080 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FXAP47080.fd、FXDC47080.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: ApeosPort47080
(DocuCentre-IV 7080/6080/5080 の場合は DocuCentre47080 となります)
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-467]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES c¥([45]¥) = -IC¥1
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*

```
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-c¥([45]¥) = -IMSI-C¥1
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-8x10in = -IMSI-8x10in
Options: MODES msi-8.46x12.4in = -IMSI-8.46x12.4in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-12x18in = -IMSI-12x18in
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES toner_save = -t
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
```

```
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FXAP47080.fd、FXDC47080.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、ApeosPort-IV 7080/6080/5080、DocuCentre-IV 7080/6080/5080 以外に使用することはできません。

◇オプション

FXAP47080.fd、FXDC47080.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
Tray7	トレイ 7 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
c5	封筒 C5 がセットされたトレイから給紙します。
c4	封筒 C4 がセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。
exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。

4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-c5	封筒 C5 を手差しトレイから給紙します。
msi-c4	封筒 C4 を手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
msi-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
msi-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
msi-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-12x18in	12x18in を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiT	八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiT	十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiC	八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiC	十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。

msi-ca4　　　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt　　　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。
M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.2x148.2 mm、最大 304.8x456.8 mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数)。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

finisher　　　フィニッシャートレイへ排紙します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB	job	ジョブ単位
SE	set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN	any	指定しない
PL	plain	普通紙
PLB	plainback	普通紙裏面
RC	recycled	再生紙
H1	hwpaper1	厚紙 1
H2	hwpaper2	厚紙 2
OH	ohp	OHP 用紙
TN	thin	うす紙
HO	holed	穴あき紙
LB	label	ラベル紙
TB1	tabbed1	インデックス紙 1
TB2	tabbed2	インデックス紙 2

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU	auto	自動
DT	detail	細かい網点
RH	rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「AP47080」の A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d AP47080 -y a4 *filename*

3.54 FX4112.fd（Solaris）

◇形式

/etc/lp/fd/FX4112.fd

◇機能

FX4112.fd ファイルは、PostScript データに 4112/4127 特有の指定機能を付加する fxpif フィルターのフィルター記述ファイルです。フィルター記述ファイルは、Solaris プリントサービスソフトウェアにフィルターの仕様を知らせるファイルで、lpfilter コマンドでシステムに登録します。フィルターをシステムに登録すると、lp コマンドから自動的にフィルターを起動することができます。

FX4112.fd で定義されるリスト項目は次のとおりです。

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

```
Input types: postscript
Output types: FXpostscript
Printer types: 4112
Printers: any
Filter type: slow
Command: /usr/lib/lp/postscript/postfxps205
Options: MODES tray¥([1-467]¥) = -I¥1
Options: MODES autopt = -IAutoPT
Options: MODES a¥([3-6]¥) = -IA¥1
Options: MODES b¥([4-6]¥) = -IB¥1
Options: MODES sra3 = -ISRA3
Options: MODES letter = -ILT
Options: MODES ledger = -ILD
Options: MODES folio = -IFL
Options: MODES legal = -ILG
Options: MODES 4x6in = -I*
Options: MODES 5x7in = -I*
Options: MODES 8x10in = -I*
Options: MODES 8.46x12.4in = -I*
Options: MODES 11x15in = -I*
Options: MODES 12x18in = -I*
Options: MODES 12.6x19.2in = -I*
Options: MODES 13x18in = -I*
Options: MODES 13x19in = -I*
Options: MODES 8kaiT = -I*
Options: MODES 16kaiT = -I*
Options: MODES 8kaiC = -I*
Options: MODES 16kaiC = -I*
```

```
Options: MODES statement = -IST
Options: MODES exe = -IEXE
Options: MODES postcard = -IPC
Options: MODES dpc = -IDPC
Options: MODES ca4 = -ICA4
Options: MODES clt = -ICLT
Options: MODES ¥(.*¥)mm = -I¥1mm
Options: MODES msi-a¥([3-6]¥) = -IMSI-A¥1
Options: MODES msi-b¥([4-6]¥) = -IMSI-B¥1
Options: MODES msi-sra3 = -IMSI-SRA3
Options: MODES msi-postcard = -IMSI-PC
Options: MODES msi-dpc = -IMSI-DPC
Options: MODES msi-letter = -IMSI-LT
Options: MODES msi-statement = -IMSI-ST
Options: MODES msi-exe = -IMSI-EXE
Options: MODES msi-ledger = -IMSI-LD
Options: MODES msi-folio = -IMSI-FL
Options: MODES msi-legal = -IMSI-LG
Options: MODES msi-4x6in = -IMSI-4x6in
Options: MODES msi-5x7in = -IMSI-5x7in
Options: MODES msi-8x10in = -IMSI-8x10in
Options: MODES msi-8.46x12.4in = -IMSI-8.46x12.4in
Options: MODES msi-11x15in = -IMSI-11x15in
Options: MODES msi-12.6x19.2in = -IMSI-12.6x19.2in
Options: MODES msi-13x18in = -IMSI-13x18in
Options: MODES msi-13x19in = -IMSI-13x19in
Options: MODES msi-12x18in = -IMSI-12x18in
Options: MODES msi-8kaiT = -IMSI-8kaiT
Options: MODES msi-16kaiT = -IMSI-16kaiT
Options: MODES msi-8kaiC = -IMSI-8kaiC
Options: MODES msi-16kaiC = -IMSI-16kaiC
Options: MODES msi-ca4 = -IMSI-CA4
Options: MODES msi-clt = -IMSI-CLT
Options: MODES msi-¥(.*¥)mm = -IMSI-¥1mm
Options: MODES face-down = -Ofd
Options: MODES finisher = -Ofs
Options: MODES stacker = -Ostc
Options: MODES jo¥=¥(.*¥) = -Jo¥=¥1
Options: MODES co¥=¥(.*¥) = -CO¥=¥1
Options: MODES pr¥=¥(.*¥) = -Pr¥=¥1
Options: MODES m¥=¥(.*¥) = -M¥=¥1
Options: MODES DuplexBook = -D
Options: MODES DuplexList = -d
```

```
Options: MODES nc¥=¥(.*¥) = -Nc¥=¥1
Options: MODES cl = -Cl
Options: MODES ps = -ps
Options: MODES joau¥=¥(.*¥) = -JOAU¥=¥1
Options: MODES acna¥=¥(.*¥) = -ACNA¥=¥1
```

Command で定義されている/usr/lib/lp/postscript/postfxps205 は、シンボリックファイルであり、実際には fxpif コマンドが起動されます。

注記
- SunOS 4.X の場合は、FX4112.fd ファイルを使用しません。
- このファイルは、4112/4127 以外に使用することはできません。

◇オプション

FX4112.fd ファイルを lpfilter コマンドを使用してプリンタシステムに登録すると、給紙トレイ等の指定を印刷時に行うことができます。

-y *tray_input*

lp コマンドで指定することのできる、給紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

tray1	トレイ 1 から給紙します。
tray2	トレイ 2 から給紙します。
tray3	トレイ 3 から給紙します。
tray4	トレイ 4 から給紙します。
tray6	トレイ 6 から給紙します。
tray7	トレイ 7 から給紙します。
autopt	指定の用紙種類がセットされたトレイから給紙します。
a3	A3 がセットされたトレイから給紙します。
a4	A4 がセットされたトレイから給紙します。
a5	A5 がセットされたトレイから給紙します。
a6	A6 がセットされたトレイから給紙します。
b4	B4 がセットされたトレイから給紙します。
b5	B5 がセットされたトレイから給紙します。
b6	B6 がセットされたトレイから給紙します。
sra3	SRA3（320x449.4mm）がセットされたトレイから給紙します。
postcard	はがきがセットされたトレイから給紙します。
dpc	往復はがきがセットされたトレイから給紙します。
letter	レター（8.5x11in）がセットされたトレイから給紙します。
ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）がセットされたトレイから給紙します。
folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）がセットされたトレイから給紙します。
legal	リーガル”14（8.5x14in）がセットされたトレイから給紙します。
statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）がセットされたトレイから給紙します。

exe	Executive（7.25x10.5in）がセットされたトレイから給紙します。
4x6in	4x6in がセットされたトレイから給紙します。
5x7in	5x7in がセットされたトレイから給紙します。
8x10in	8x10in がセットされたトレイから給紙します。
8.46x12.4in	8.46x12.4in がセットされたトレイから給紙します。
11x15in	11x15in がセットされたトレイから給紙します。
12x18in	12x18in がセットされたトレイから給紙します。
12.6x19.2in	12.6x19.2in がセットされたトレイから給紙します。
13x18in	13x18in がセットされたトレイから給紙します。
13x19in	13x19in がセットされたトレイから給紙します。
8kaiT	八開（267x388mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiT	十六開（194x267mm）がセットされたトレイから給紙します。
8kaiC	八開（270x390mm）がセットされたトレイから給紙します。
16kaiC	十六開（195x270mm）がセットされたトレイから給紙します。
ca4	表紙 A4 がセットされたトレイから給紙します。
clt	表紙レター（9x11in）がセットされたトレイから給紙します。
*M*x*N*mm	*M*x*N*mm の不定形用紙がセットされたトレイから給紙します。
msi-a3	A3 を手差しトレイから給紙します。
msi-a4	A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-a5	A5 を手差しトレイから給紙します。
msi-a6	A6 を手差しトレイから給紙します。
msi-b4	B4 を手差しトレイから給紙します。
msi-b5	B5 を手差しトレイから給紙します。
msi-b6	B6 を手差しトレイから給紙します。
msi-sra3	SRA3（320x449.4mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-postcard	はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-dpc	往復はがきを手差しトレイから給紙します。
msi-letter	レター（8.5x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-ledger	レジャー（ダブルレター, 11x17in）を 手差しトレイから給紙します。
msi-folio	フォリオ（リーガル”13, ガバメントリーガル, 8.5x13in）を手差しトレイから給紙します。
msi-legal	リーガル”14（8.5x14in）を手差しトレイから給紙します。
msi-statement	ステートメント（ハーフレター, 5.5x8.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-exe	Executive（7.25x10.5in）を手差しトレイから給紙します。
msi-4x6in	4x6in を手差しトレイから給紙します。
msi-5x7in	5x7in を手差しトレイから給紙します。
msi-8x10in	8x10in を手差しトレイから給紙します。
msi-8.46x12.4in	8.46x12.4in を手差しトレイから給紙します。
msi-11x15in	11x15in を手差しトレイから給紙します。
msi-12x18in	12x18in を手差しトレイから給紙します。

msi-12.6x19.2in 12.6x19.2in を手差しトレイから給紙します。
msi-13x18in　13x18in を手差しトレイから給紙します。
msi-13x19in　13x19in を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiT　八開（267x388mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiT　十六開（194x267mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-8kaiC　八開（270x390mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-16kaiC　十六開（195x270mm）を手差しトレイから給紙します。
msi-ca4　表紙 A4 を手差しトレイから給紙します。
msi-clt　表紙レター（9x11in）を手差しトレイから給紙します。
msi-*M*x*N*mm　*M*x*N*mm の不定形用紙を手差しトレイから給紙します。M（幅）、N（高さ）は正の実数（小数点第一位まで有効）です。

不定形用紙のサイズは以下のとおりです。

最小 100.0x148.2mm、最大 330.0x488.0mm

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイから給紙されます。

-y DuplexBook

長辺とじ印刷を行います.長辺とじ印刷を指定すると、用紙の長いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y DuplexList

短辺とじ印刷を行います.短辺とじ印刷を指定すると、用紙の短いほうの辺をとじることができるように、印刷の方向や位置を調整し、用紙の両面に印刷します。

-y toner_save

トナーを節約して印刷します。通常の印刷より薄く印刷されます。

-y nc=*n*

出力部数を指定します（n は正の整数）。このオプションを指定しない場合は 1 が選択されます。

-y cl

部単位での印刷を選択します。部数指定オプションが使用されない場合、このオプションは無視されます。

-y ps

入力されるファイルをポストスクリプトファイルとして処理します。先頭行に「%!」が存在しないファイルの場合、先頭行に「%!」を出力します。また、「%!」が存在するファイルの場合、このオプションは無視されます。

-y *tray_ouput*

lp コマンドで指定することのできる、排紙トレイについてのパラメーターは、次のとおりです。

face-down　排出トレイへ排紙します。
finisher　フィニッシャートレイへ排紙します。
stacker　スタッカートレイへ排出します。

このオプションを指定しない場合や、指定したトレイが使用できない場合は、デフォルトのトレイに排紙されます。

-y jo=*type*

オフセット排出を選択します。次のオフセット排出が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

JB job	ジョブ単位
SE set	セット単位

-y m=*type*

手差し用紙種別を選択します。次の用紙種別が利用できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AN any	指定しない
PL plain	普通紙
PLB　plainback	普通紙裏面
RC recycled	再生紙
H1 hwpaper1	厚紙 1
H2 hwpaper2	厚紙 2
OH ohp	OHP 用紙
TN thin	うす紙
HO　holed	穴あき紙
LB1　label1	ラベル紙 1
LB2　label2	ラベル紙 2
TB1　tabbed1	インデックス紙 1
TB2　tabbed2	インデックス紙 2

-y co=*type*

ハーフトーンを選択します。次のハーフトーンが指定できます。

2 つの値のうち、最初にある大文字 2 文字のものは省略形です。

AU auto	自動
DT detail	細かい網点
RH rough	粗い網点

-y pr=*resolution*

印刷モードを指定します。次の印刷モードが指定できます。

Stand	標準
Fine	高精細

-y joau=*username*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、ジョブオーナー名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、username で指定されるユーザ名で、プリント履歴が記録されます。username を指定しない場合は、UnknownUser で記録されます。

-y acna=*documentname*

XPJL ヘッダを、出力するポストスクリプトファイルに付加します。XPJL ヘッダを出力することにより、課金認証蓄積用文書名を、プリンタのプリント履歴として記録することができます。また XPJL に対応していないプリンタには使用できません。プリンタには、documentname で指定される文書名で、プリント履歴が記録されます。documentname を指定しない場合は、UnknownDocument で記録されます。

◇使用例

プリンタ名「4112」の A4 に、印刷を行う場合、次のように入力します。

% lp -d 4112 -y a4 *filename*

第4章　注意制限事項

4.1　インストール時

インストールするとき、次の点に注意してください。

プリンタ側

- Laser Press シリーズまたは、Able Model-PR シリーズのように他のエミュレーションプリント言語に対応したプリンタでは、プリントモードの指定を PostScript モードに設定する必要があります。設定方法は『操作説明書』を参照してください。
- Laser Press 4160/Able Model-PR シリーズでは、ROM のバージョンによっては A5 サイズの両面のプリントはできません。A5 を両面で指定した場合は、A5 で片面印刷されます。

ワークステーション側

[Sun/Solaris/Linux/HP-UX] 対応 OS は、CD-ROM 取扱いの手引きに記載されているとおりです。

- [Sun/Solaris/Linux/HP-UX] ディスク容量は、インストール時の作業領域を含めて約 20 メガバイト必要です。
- [Sun/Linux/HP-UX] スーパーユーザーになる必要があります。スーパーユーザーの権限を持っていない場合、ネットワーク管理者に設定を依頼してください。
- [Sun] SunOS で、/dev/ttya や/dev/ttyb にプリンタを接続する場合、/etc/ttytabs に記述されているシリアルポート（ttya または ttyb など）の status が off になっている必要があります。
- [Solaris] Solaris で提供されている Administration Tool（admintool）から起動されている PrintManager を利用した場合、プリンタのコンテントタイプが変更されることがあります。“lpstat -p プリンタ名 -l”と入力して、”Content types: postscript”となった場合は、lpadmin コマンドによりプリンタを削除して再度インストールする必要があります。UNIX フィルターから登録したプリンタは admintool で変更を行わないでください。
  また、デフォルトプリンタの登録を行う場合も、lpadmin コマンドを使用してください。（lpadmin -d プリンタ名）バナーシートの出力の抑制には、/etc/lp/interfaces/プリンタ名ファイルの、「nobanner=no」を「nobanner=yes」に変更して下さい。
- [Solaris] "lpstat -p プリンタ名 -l"と入力して、"Content types: postscript"となった場合は、lpadmin コマンドによりプリンタを削除して再度インストールする必要があります。
- [HP-UX] システムに出力プリンタが登録されていなければなりません。
  出力プリンタは sam コマンド等を使用する事で登録することができます。
  詳しくは HP-UX 関連のマニュアルを参照してください。
- [Sun/Solaris/Linux/HP-UX] インストールデフォルトディレクトリの/usr/local/fxbin にインストールする場合は、/usr/local ディレクトリが存在することが必要です。

4.2　プリント時

プリントするとき、次の点に注意してください。

lp/lpr コマンド使用時（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

- オプションの記述を誤って指定した場合にエラーメッセージは出力されません。lp コマンド実行後、プリントがされない場合に各ユーティリティを単独で起動するとエラーメッセージを出力します。(Solaris ではエラーが表示されます。Sun/Linux では printcap で指定されるエラーログファイルにエラーが出力されます。)
- EUC テキストをプリントする場合、環境変数 EUC2PS2 は無視されます。
- EUC テキストをプリントする場合、BS コードが行頭にあると、次の文字の印字位置が行頭より左側になってしまいます。
- EUC テキストをプリントする場合、1 行内にタブコードが複数あると、自動改行によりタブ位置がずれる場合があります。このような場合には、l や w オプションを指定してください。
- EUC テキストをプリントする場合、w オプションで指定する桁数（columns）は、実際に印刷される文字数を示すものではありません。w オプションで指定する桁数から o オプションで指定する出力カラム位置（outcolumns）を引いた値が実際に印刷される半角文字数となります。
- 同一オプションや類似オプションが同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効になります。
- 画像を出力する場合、印刷位置指定オプション（l）で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、プリンタの機種によって異なります。詳しくは、プリンタ本体のマニュアルを参照してください。(Solaris では、lp コマンドから画像を直接出力することはできません。)

euc2ps2 コマンド使用時（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

- 同じオプションが指定されたときは、後方にあるものが優先されます。EUC2PS2OPTION は、コマンドラインのオプションより先に解析されるので、コマンドライン上で指定することにより一時的に EUC2PS2OPTION に設定してあるオプションを変更することができます。
- euc2ps2 のデフォルト出力は、ページ番号のコメント記述 (%% Page:m n) を出力しません。これは変換された PostScript 言語プログラムが、改行･改ページを制御するようになっているためです。したがって、euc2ps2 の出力を、他のアプリケーション (TRANSCRIPT の psrev 等）の入力とするときには、必ず行数指定（-llines）を入れてページ番号記述を付加する必要があります。
- BS コードが行頭にあると、次の文字の印字位置が行頭より左側になってしまいます。
- 1 行内にタブコードが複数ある場合に、自動改行によりタブ位置がずれる場合があります。このような場合には、-l や-w オプションを指定してください。
- -w オプションで指定するけた数（columns）は、実際に印刷される文字数を示すものではありません。-w オプションで指定するけた数から-o オプションで指定する出力カラム位置（outcolumns）を引いた値が実際に印刷される半角文字数となります。
- -w、-l、-o、-L オプションと、-mg オプションを同時に使用することはできません。

- 余白指定オプション（-mg=u:b:r:l）の余白の開始位置は、用紙の端からではなく、各用紙に対するプリンタの印刷可能領域からの余白を設定します。なお印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。
- -ps オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。
- EUC2PSOPTION で fxpif フィルターと同じオプションを使用する場合は、環境変数 HOME にユーザーのホームディレクトリを設定してください。環境変数 HOME が設定されていない場合は fxpif フィルターと同じオプションは使用できません。(Sun/Linux)

sunras2ps2/sunras2g4/tiff2ps2/tiff2g4/xwd2ps2/xwd2g4 コマンド使用時
（sunras2ps2/sunras2g4 は Sun/Solaris のみ）

- 同一オプションや-s,-S が同時に指定されたときは、後方に指定されたオプションが有効になります。
- サイズオプション（-s,-S）が指定されないときは、画像データの 1 ピクセルがプリンタの 1 画素に対応するようにスケーリングされます。
- 印刷位置指定オプション（-l left bottom）で、プリンタの印刷可能領域外を指定した場合、印刷可能領域からはみ出した部分は印刷できません。印刷可能領域は、機種によって異なります。詳しくはプリンタ本体のマニュアルを参照してください。

tiff2ps2/tiff2g4 コマンド使用時（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

- 対応する圧縮形式は以下の 4 つです。
  - ・ハフマン圧縮(CCITT Group 3 変形ハフマンランレングスエンコーディング)
  - ・Fax-CCITT3 圧縮(ファクシミリ互換の CCITT Group 3)
  - ・パックビット圧縮
  - ・非圧縮

※上記圧縮形式であっても、1 ファイルに複数画像を持つ TIFF ファイルには、対応していません。

xwd2ps2/xwd2g4 コマンド使用時（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

- 対応するフォーマットは以下の 3 つです。
  - ・ビジュアルクラスが StaticGray で画素が 1 ビット
  - ・ビジュアルクラスが PseudoColor で画素が 4 ビットまたは 8 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式
  - ・ビジュアルクラスが TrueColor で画素が 24 ビット、イメージ形式が Zpixmap 形式

fxpif コマンド使用時（Sun/Linux）

- -ps オプションは、ファイルの先頭に「%!」の無いポストスクリプトファイルを、ポストスクリプトファイルとして処理を行う場合のみご使用下さい。通常のテキストファイルを入力した場合、正常な動作は行われません。

fxpif/fxpvf/fxpof コマンド使用時（Sun/Linux）

- 通常-w,-l オプションはそれぞれの/etc/printcap の pw,pl エントリーに対応しますが、本フィルターでは/etc/printcap の pw,pl エントリーは無視されます。このため、pw,pl エントリーを使って用紙サイズごとにオプションを変更することはできません。

fxoption コマンド使用時（Sun/Linux）

- 指定されたプリンタに対するユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイル（$HOME/.fxpsdefault、$HOME/.fxpsdefault205）が存在しない場合には、デフォルトコマンドオプションファイルが自動的に作成されます。
- 環境変数 HOME が設定されていない場合、fxoption コマンドはユーザーごとのデフォルトコマンドオプション設定ファイルを作成、更新しません。fxoption コマンドを使用する場合は、環境変数 HOME にユーザーのホームディレクトリを設定してください。
- プリント待ちのジョブが存在する場合には、fxoption コマンドは使用できません。プリント待ちのジョブが存在する場合には、プリントジョブがなくなってから fxoption コマンドを実行してください。

ホチキスについて（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

- ステープルフィニッシャーオプションを装着してご使用の場合、UNIX フィルターからホチキス止めを指定することはできません。

PostScript ファイルを印刷する場合について（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

- 用紙サイズ等の指定の入った PostScript ファイルに対して、同様のオプションを fxpif（Sun/Linux）または lp コマンド（Solaris/HP-UX）で指定する場合、指定されたオプションは無視されます。

オンラインマニュアルを参照する場合について

- 各コマンドに対するオンラインマニュアルを、man コマンドより参照する場合に Mono2 用はコマンド名の最後に「205」を付けて下さい。

例：euc2ps2 のオンラインマニュアルを参照する場合

Mono 用の場合

```
% man euc2ps2
```

Mono2 用の場合

```
% man euc2ps2205
```

Solaris から画像ファイルを印刷する場合について（Solaris）

- Solaris から画像を印刷する場合、lp コマンドに、直接画像ファイルを指定し印刷することはできません。sunras2ps2、sunras2g4、tiff2ps2、tiff2g4、xwd2ps2、xwd2g4 をご使用になり、PostScript ファイルに変換し、変換後 lp コマンドから出力して下さい。

例：XWD 画像をデフォルトプリンタに印刷する場合

```
% xwd2ps2 file.xwd | lp
```

両面印刷を行う場合について（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

- 両面印刷を行う場合、手差し用紙からの給紙はできません。ただし、DocuPrint 280 をご使用の場合のみ、手差し用紙から両面印刷が可能です。また、両面ユニットの装着されていないプリンタでは、両面印刷はできません。

XJCL について（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

- lp もしくは lpr コマンドを使用する際に、PostScript ファイルの先頭に、XJCL コマンドを同時に出力を行います。XJCL コマンドを付加することにより、プリンタ内部で集計リストの作成が行われます。これにより、JCL スイッチを無効にする必要は無くなりました。集計リストの出力方法は、プリンタのマニュアルを参照してください。
  また、XJCL コマンドが付加された PostScript ファイルを出力する場合、ファイルに記述されるオーナー名、ホスト名は変更されません。オーナー名、ホスト名の変更を行う場合は、PostScript ファイル内の XJCL コマンドを削除し、PostScript のみの記述にして、出力を行ってください。XJCL オプションは、Laser Press 2100PS/4150PS/4150PSⅡ/4150/4150Ⅱ/4160/4160Ⅱ/4161/4161Ⅱ/Able Model-PR/PRⅡ/DocuPrint 201PS では使用できません。
  プリンタには、ユーザー名とホスト名で、プリント履歴が記録されます。（Mono 用）

ヘッダ/フッタオプション(-Hd=*position:format:page*、-Hf*headerfont*)について (euc2ps2,sunras2ps2/sunras2g4,tiff2ps2/tiff2g4,xwd2ps2/xwd2g4,fxpof,fxpvf,fxoption)

- オプション使用時に同時に用紙サイズを指定していない場合デフォルトで A4 の用紙サイズの位置にヘッダ/フッタを出力します。用紙サイズを指定する場合はヘッダ/フッタオプション使用時に同時に指定してください。（オプション使用して変換後の PostScript ファイルに対して lp コマンド時のオプション等で用紙サイズを指定した場合ヘッダ/フッタの印刷位置は変更されません）
- オプション使用時には余白が自動的に指定されます。余白指定オプションを同時に使用する場合、下記の自動的に指定される値より小さい値の場合は無視されます。

  テキストの場合

  　上余白　0.23 インチ
  　下余白　0.06 インチ
  　右余白　0.03 インチ
  　左余白　0.09 インチ

  画像の場合

  　下余白　0.3 インチ
- オプション使用時には行数、桁数の指定は無視されます。また、横向き、２段組の指定は使用できません。
- PostScript ファイルで全ページ出力指定を行っても出力されない場合があります。その際は先頭ページのみ出力の指定を行ってください。
- Solaris では lp コマンド使用時に使用できません。

DocuCentre 450/550/600/505/605/705 CP で、フィニッシャーを指定する場合（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

- DocuCentre 450/550/450E/550E/600 CP では、ステープルフィニッシャーは自動選択のみ使用できます。フィニッシャーがついたプリンタに対して、排出先オプションを指定しない場合は、フィニッシャー１に出力されます。DocuCentre 505/605/705 PS では自動選択とフィニッシャー１のみ使用できます。自動選択を指定する場合は、フィニッシャー2 に出力されます。

TBCP フィルターについて（Sun/Solaris/Linux/HP-UX）

- TBCP フィルターの有効/無効を指定できるプリンタは必ず、有効に設定してください。

付録

A　ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合

[Sun/Linux]

注記 ▶ Linux（LPRng）の場合は別紙の設定をご覧ください。

UNIX フィルターは、プリンタにインターフェースボードを装着すると、プリンタがネットワークに直結した環境で印刷することができます。本製品では、このような環境下での使用に対して、サンプルスクリプトを用意しています。Solaris 2.X 以降の OS でご利用の場合は、これらのサンプルプログラムを使用する必要はありません。リモートプリンタの設定を行うことで、ネットワークに直結した環境で印刷することができます。Solaris 2.X 以降の OS でご利用の場合は、「A.2 Solaris 2.4 以上の OS を使用する場合」を参照してください。
以下に、これらのソフトウェアについて説明します。

注記 ▶ **このソフトウェアはサンプルプログラムとして提供しておりますので、動作は保証できません。不具合が発生した場合は、サンプルプログラムを修正して使用してください。また、インターフェースボードは Laser Press 2100PS ではネットワークカードと呼んでいます。**

A.1　サンプルスクリプトを使用する場合

サンプルスクリプトを使用した環境で印刷処理を行う場合、クライアントホストから送られた出力をプリントサーバーで受けた際に、起動されるフィルターが変換後、データを直接プリンタに送り、これによって余分となるプリントサーバーに送られたデータの本来の出力を/dev/null に出すことによって消滅させます。
以下は、インストール時に/etc/printcap に追加される部分です。rm=では、プリンタに割り当てられているホスト名を指定し、rp=には Laser Press 2100PS の場合、lp を指定し、その他の機種では PS と指定します。下記は、rm=laserpress を指定し、rm=lp を指定した例です。

```
net_LBP|RemoteLaserPress|No depends on TRAY and PAPER:¥
      :lp=/dev/null:sd=/var/spool/lbp:¥
      :lf=/usr/adm/lbd-errs:af=/usr/adm/fxpsacct:¥
      :if=/usr/lib/fxps/fxpif_sample.sh:¥
      :sb:sf:mx#0:
RLP|RemoteLaserPress|No depends on TRAY and PAPER:¥
      :lp=:rp=lp:rm=laserpress:sd=/var/spool/rlbp:¥
      :lf=/usr/adm/rlpd-errs:mx#0:
```

これらは、#によってコメントアウトされています。#を削除して有効にしてください。

A.2　Solaris2.4 以上のOSを使用する場合

Solaris 2.4 以上の OS では、リモートプリンタの設定を行うことで、ネットワークに直結した環境で印刷することができます。操作手順は、「2.5.1　インストール/プリンタの設定」を参照してください。

B　使用できるフォント

UNIX フィルターを用いてプリンタで使用できるフォントは次のとおりです。

B.1　日本語フォント

フォントを指定する場合は、「-jf」オプションに続けて、プリンタに搭載されている全角のPostScript フォント名をそのまま記述して下さい。
プリンタに搭載されていない PostScript フォントは利用できません。
例： **% euc2ps2 -jfFutoGoB101-Bold-H** *filename*
使用できる日本語フォントは次のとおりです。

・Ryumin-Light-H
・GothicBBB-Medium-H
・FutoGoB101-Bold-H
・FutoMinA101-Bold-H
・Jun101-Light-H
・HeiseiKakuGo-W5-H
・HeiseiMin-W3-H

B.2　欧文フォント

フォントを指定する場合は、「-f」オプションに続けて、プリンタに搭載されている半角のPostScript フォント名をそのまま記述して下さい。
プリンタに搭載されていない PostScript フォントは利用できません。
例： **% euc2ps2 -fTimesNewRomanPS-BoldItalicMT** *filename*
使用できる欧文フォントは次のとおりです。

●全角の日本語フォントを半角でも使用したい場合のフォント名

・FutoGoB101-Bold-RKSJ-H
・FutoMinA101-Bold-RKSJ-H
・Jun101-Light-RKSJ-H
・GothicBBB-Medium-RKSJ-H
・Ryumin-Light-RKSJ-H
・HeiseiKakuGo-W5-RKSJ-H
・HeiseiMin-W3-RKSJ-H

●半角英数字フォント

●半角英数字フォント

・AdobeSansMM
・AlbertusMT
・AlbertusMT-Italic
・AlbertusMT-Light
・AntiqueOlive-Bold
・AntiqueOlive-Compact
・AntiqueOlive-Italic
・AntiqueOlive-Roman
・AntiqueOliveCE-Bold
・AntiqueOliveCE-Compact
・AntiqueOliveCE-Italic
・AntiqueOliveCE-Roman
・Apple-Chancery
・Apple-ChanceryCE
・Arial-BoldItalic
・Arial-BoldItalicMT
・Arial-BoldMT
・ArialCE
・ArialCE-Bold

・ArialCE-BoldItalic
・ArialCE-Italic
・Arial-ItalicMT
・ArialMT
・AvantGarde-Book
・AvantGarde-BookOblique
・AvantGarde-Demi
・AvantGarde-DemiOblique
・AvantGardeCE-Book
・AvantGardeCE-BookOblique
・AvantGardeCE-Demi
・AvantGardeCE-DemiOblique
・Bodoni
・Bodoni-Bold
・Bodoni-BoldItalic
・BodoniCE
・BodoniCE-Bold
・BodoniCE-BoldItalic
・BodoniCE-Italic
・BodoniCE-Poster
・BodoniCE-PosterCompressed
・Bodoni-Italic
・Bodoni-Poster
・Bodoni-PosterCompressed
・BookmanCE-Demi
・BookmanCE-DemiItalic
・BookmanCE-Light
・BookmanCE-LightItalic
・Bookman-Demi
・Bookman-DemiItalic
・Bookman-Light
・Bookman-LightItalic
・Carta
・Chicago
・ChicagoCE
・Clarendon
・Clarendon-Bold
・ClarendonCE
・ClarendonCE-Bold
・ClarendonCE-Light
・Clarendon-Light
・CooperBlack
・CooperBlack-Italic
・Copperplate-ThirtyThreeBC
・Copperplate-ThirtyTwoBC
・CoronetCE-Regular
・Coronet-Regular
・Courier
・Courier-Bold
・Courier-BoldOblique
・Courier-Oblique
・CourierCE
・CourierCE-Bold
・CourierCE-BoldOblique
・CourierCE-Oblique
・Eurostile
・Eurostile-Bold
・Eurostile-BoldExtendedTwo
・Eurostile-ExtendedTwo
・EurostileCE
・EurostileCE-Bold
・EurostileCE-BoldExtendedTwo
・EurostileCE-ExtendedTwo
・Geneva
・GenevaCE
・GillSans
・GillSans-Bold
・GillSans-BoldCondensed
・GillSans-BoldItalic
・GillSans-Condensed
・GillSans-ExtraBold
・GillSans-Italic
・GillSans-Light
・GillSans-LightItalic
・GillSansCE-Bold
・GillSansCE-BoldCondensed
・GillSansCE-BoldItalic
・GillSansCE-Condensed
・GillSansCE-ExtraBold
・GillSansCE-Italic
・GillSansCE-Light
・GillSansCE-LightItalic
・GillSansCE-Roman
・Goudy
・Goudy-Bold
・Goudy-BoldItalic

・Goudy-ExtraBold
・Goudy-Italic
・Helvetica
・Helvetica-Bold
・Helvetica-BoldOblique
・Helvetica-Condensed
・Helvetica-Condensed-Bold
・Helvetica-Condensed-BoldObl
・Helvetica-Condensed-Oblique
・Helvetica-Narrow
・Helvetica-Narrow-Bold
・Helvetica-Narrow-BoldOblique
・Helvetica-Narrow-Oblique
・Helvetica-Oblique
・HelveticaCE
・HelveticaCE-Bold
・HelveticaCE-BoldOblique
・HelveticaCE-Cond
・HelveticaCE-CondBold
・HelveticaCE-CondBoldObl
・HelveticaCE-CondObl
・HelveticaCE-Narrow
・HelveticaCE-NarrowBold
・HelveticaCE-NarrowBoldOblique
・HelveticaCE-NarrowOblique
・HelveticaCE-Oblique
・HoeflerText-Black
・HoeflerText-BlackItalic
・HoeflerText-Italic
・HoeflerText-Ornaments
・HoeflerText-Regular
・HoeflerTextCE-Black
・HoeflerTextCE-BlackItalic
・HoeflerTextCE-Italic
・HoeflerTextCE-Regular
・JoannaMT
・JoannaMT-Bold
・JoannaMT-BoldItalic
・JoannaMT-Italic
・JoannaMTCE
・JoannaMTCE-Bold
・JoannaMTCE-BoldItalic
・JoannaMTCE-Italic
・LetterGothic
・LetterGothic-Bold
・LetterGothic-BoldSlanted
・LetterGothic-Slanted
・LetterGothicCE
・LetterGothicCE-Bold
・LetterGothicCE-BoldSlanted
・LetterGothicCE-Slanted
・LubalinGraph-Book
・LubalinGraph-BookOblique
・LubalinGraph-Demi
・LubalinGraph-DemiOblique
・LubalinGraphCE-Book
・LubalinGraphCE-BookOblique
・LubalinGraphCE-Demi
・LubalinGraphCE-DemiOblique
・Marigold
・Monaco
・MonacoCE
・MonaLisa-Recut
・NewCenturySchlbk-Bold
・NewCenturySchlbk-BoldItalic
・NewCenturySchlbk-Italic
・NewCenturySchlbk-Roman
・NewCenturySchlbkCE-Bold
・NewCenturySchlbkCE-BoldItalic
・NewCenturySchlbkCE-Italic
・NewCenturySchlbkCE-Roman
・NewYork
・NewYorkCE
・Optima
・Optima-Bold
・Optima-BoldItalic
・Optima-Italic
・OptimaCE-Bold
・OptimaCE-BoldItalic
・OptimaCE-Italic
・OptimaCE-Roman
・Oxford
・Palatino-Bold
・Palatino-BoldItalic
・PalatinoCE-Bold
・PalatinoCE-BoldItalic

・PalatinoCE-Italic
・PalatinoCE-Roman
・Palatino-Italic
・Palatino-Roman
・StempelGaramond-Bold
・StempelGaramond-BoldItalic
・StempelGaramond-Italic
・StempelGaramond-Roman
・StempelGaramondCE-Bold
・StempelGaramondCE-BoldItalic
・StempelGaramondCE-Italic
・StempelGaramondCE-Roman
・Symbol
・Tekton
・Times-Bold
・Times-BoldItalic
・Times-Italic
・Times-Roman
・TimesCE-Bold
・TimesCE-BoldItalic
・TimesCE-Italic
・TimesCE-Roman
・TimesNewRomanCE
・TimesNewRomanCE-Bold
・TimesNewRomanCE-BoldItalic
・TimesNewRomanCE-Italic
・TimesNewRomanPS-BoldItalicMT
・TimesNewRomanPS-BoldMT
・TimesNewRomanPS-ItalicMT
・TimesNewRomanPSMT
・Univers
・Univers-Bold
・Univers-BoldExt
・Univers-BoldExtObl
・Univers-BoldOblique
・Univers-Condensed
・Univers-CondensedBold
・Univers-CondensedBoldOblique
・Univers-CondensedOblique
・Univers-Extended
・Univers-ExtendedObl
・Univers-Light
・Univers-LightOblique
・Univers-Oblique
・UniversCE-Bold
・UniversCE-BoldExt
・UniversCE-BoldExtObl
・UniversCE-BoldOblique
・UniversCE-Condensed
・UniversCE-CondensedBold
・UniversCE-CondensedBoldOblique
・UniversCE-CondensedOblique
・UniversCE-Extended
・UniversCE-ExtendedObl
・UniversCE-Light
・UniversCE-LightOblique
・UniversCE-Medium
・UniversCE-Oblique
・Wingdings-Regular
・ZapfChanceryCE-MediumItalic
・ZapfChancery-MediumItalic
・ZapfDingbats

C　UNIX フィルターのアンインストール

UNIX フィルターは、アンインストーラを提供していません。UNIX フィルターをアンインストールする場合は以下の手順に従ってアンインストールを行って下さい。

注記 ▶　ここにある操作はスーパーユーザーになって、行って下さい。スーパーユーザーの権限を持っていない場合、システム管理者に操作を依頼してください。

C.1　SunOS 4.x/Linuxの場合

① インストール時に UNIX フィルターを格納したディレクトリおよび、ディレクトリ以下のファイルを全て削除します。削除を行うディレクトリは以下の通りです。

Mono の場合

```
/usr/local/fxbin
/usr/local/fxetc
/usr/lib/fxps
```

Mono2 の場合

```
/usr/local/fxbin205
/usr/local/fxetc205
/usr/lib/fxps205
```

ここに示したディレクトリは、インストール時の標準ディレクトリです。その他のディレクトリにインストールを行った場合は、そのディレクトリを削除して下さい。

② /etc/printcap から、各プリンタ用の記述を削除します。

③ スプールディレクトリ等を削除します

C.2 Solarisの場合

① システムに登録されているプリンタの削除を行います。インストール時に設定したプリンタ名を用いて lpadmin コマンドを用いて行います。

lpadmin -x *printername*

② システムに登録したフィルターの削除を行います。インストール時に登録を行ったフィルターを、lpfilter コマンドを用いて削除します。

Mono の場合

各機種固有のフィルター

```
# lpfilter -f FX2100 -x    (Laser Press 2100)
# lpfilter -f FX4150 -x    (Laser Press 4150 シリーズ)
# lpfilter -f FX4160 -x    (Laser Press 4160 シリーズ)
# lpfilter -f FX4200 -x    (Laser Press 4160)
# lpfilter -f FX4210 -x    (Laser Press 4160)
# lpfilter -f AblePR -x    (Able Model-PR シリーズ)
# lpfilter -f AblePR2 -x   (Able Model-PR2 シリーズ)
# lpfilter -f FXDC250 -x   (DocuCentre 250/350/400)
# lpfilter -f FXDC251 -x   (DocuCentre 251/351/401)
# lpfilter -f FXDC352 -x   (DocuCentre 352/402)
# lpfilter -f FXDC450 -x   (DocuCentre 450/550 CP)
# lpfilter -f FXDC450E -x  (DocuCentre 450E/550E/600 CP)
# lpfilter -f FXDC505 -x   (DocuCentre 505/605/705 CP)
# lpfilter -f FXDC507 -x   (DocuCentre 507/607/707 CP)
# lpfilter -f FXDC719 -x   (DocuCentre 719/659/559 CP)
# lpfilter -f FXDC230 -x   (DocuCentre 230/280)
# lpfilter -f FXDP400 -x   (DocuPrint 400/250)
# lpfilter -f FXDP401 -x   (DocuPrint 401)
# lpfilter -f FXDP201 -x   (DocuPrint 201PS)
# lpfilter -f FXDP280 -x   (DocuPrint 280)
# lpfilter -f FXDP260 -x   (DocuPrint 260/360)
```

共通利用のフィルター

```
# lpfilter -f FXdownload –x
# lpfilter -f FXpostio –x
# lpfilter -f posteuc -x
```

Mono2 の場合

各機種固有のフィルター

```
# lpfilter -f FXDP205 -x   (DocuPrint 205/255/305)
# lpfilter -f FXDP340A -x  (DocuPrint 340A)
# lpfilter -f FXDP350JM -x (DocuPrint 350JM)
# lpfilter -f FXDP505 -x   (DocuPrint 405/505)
# lpfilter -f FXDP2060 -x  (DocuPrint 2060/3050)
# lpfilter -f FXDP3100 –x  (DocuPrint 3100/3000)
# lpfilter –f FXDP4050 –x  (DocuPrint 4050)
# lpfilter –f FXDP5060 –x  (DocuPrint 5060/4060)
# lpfilter -f FXDC185 -x   (DocuCentre 1085/1055/185/155)
# lpfilter -f FXDCf285 -x  (DocuCentre f285/f235/a285/a235)
# lpfilter -f FXDCf1100 -x
                      (DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000)
# lpfilter -f FXAP450I -x  (ApeosPort 450 I/350 I)
# lpfilter -f FXDC450I -x  (DocuCentre 450 I/350 I)
# lpfilter -f FXAP750I -x  (ApeosPort 750 I/650 I/550 I)
# lpfilter -f FXDC750I -x  (DocuCentre 750 I/650 I/550 I)
# lpfilter -f FXAP24000 -x (ApeosPort-II 4000/3000)
# lpfilter -f FXDC24000 -x (DocuCentre-II 4000/3000)
# lpfilter -f FXAP27000 -x (ApeosPort-II 7000/6000/5000)
# lpfilter -f FXDC27000 -x (DocuCentre-II 7000/6000/5000)
# lpfilter -f FXDC33000 -x (DocuCentre-III 3000/2000)
# lpfilter –f FXAP34000 –x (ApeosPort-III 4000/3010)
# lpfilter –f FXDC34000 –x (DocuCentre-III 4000/3010)
# lpfilter –f FXAP37000 –x (ApeosPort-III 7000/6000/5000)
# lpfilter –f FXDC37000 –x (DocuCentre-III 7000/6000/5000)
# lpfilter -f FXDC43060 –x (DocuCentre-IV 3060/2060)
# lpfilter -f FXAP44070 –x (ApeosPort-IV 4070/3070)
# lpfilter -f FXDC44070 –x (DocuCentre-IV 4070/3070)
# lpfilter -f FXAP47080 –x (ApeosPort-IV 7080/6080/5080)
# lpfilter -f FXDC47080 –x (DocuCentre-IV 7080/6080/5080)
# lpfilter -f FX4112 -x    (4112/4127)
```

共通利用のフィルター

```
# lpfilter -f Fxdownload205 -x
# lpfilter -f Fxpostio205 -x
# lpfilter -f posteuc205 -x
```

③ フィルターを呼び出すためのシンボリックリンクファイルを削除します。
/usr/lib/lp/postscript 下の、以下に示すファイルを削除します。

Mono の場合

```
posteuc
postfxps
```

```
fxbinpath
```

Mono2 の場合

```
posteuc205
postfxps205
fxbinpath205
```

④ Solaris2.6 以降を使用している場合は、/usr/lib/lp/model 下の、"選択したプリンタタイプ名"のインターフェースプログラムファイルを削除します。
また、/etc/lp/interfaces 下の、"登録したプリンタ名"のインターフェースプログラムファイルも削除します。

⑤ インストール時に UNIX フィルターを格納したディレクトリおよび、ディレクトリ以下のファイルを全て削除します。削除を行うディレクトリは以下の通りです。

Mono の場合

```
/usr/local/fxbin
```

Mono2 の場合

```
/usr/local/fxbin205
```

⑥ フィルター記述ファイルを削除します。/etc/lp/fd 下の、以下に示すファイルを削除します。
各プリンタ用フィルター記述ファイル

Mono の場合

各機種固有のフィルター記述ファイル

FX2100.fd	(Laser Press 2100)
FX4150.fd	(Laser Press 4150 シリーズ)
FX4160.fd	(Laser Press 4160 シリーズ)
FX4200.fd	(Laser Press 4160)
FX4210.fd	(Laser Press 4160)
AblePR.fd	(Able Model-PR シリーズ)
AblePR2.fd	(Able Model-PR2 シリーズ)
FXDC250.fd	(DocuCentre 250/350/400)
FXDC251.fd	(DocuCentre 251/351/401)
FXDC352.fd	(DocuCentre 352/402)
FXDC450.fd	(DocuCentre 450/550 CP)
FXDC450E.fd	(DocuCentre 450E/550E/600 CP)
FXDC505.fd	(DocuCentre 505/605/705 CP)
FXDC507.fd	(DocuCentre 507/607/707 CP)
FXDC230.fd	(DocuCentre 230/280)
FXDP400.fd	(DocuPrint 400/250)
FXDP401.fd	(DocuPrint 401)
FXDP201.fd	(DocuPrint 201PS)
FXDP280.fd	(DocuPrint 280)
FXDP260.fd	(DocuPrint 260/360)

共通利用のフィルター記述ファイル

```
FXdownnload.fd
FXpostio.fd
posteuc.fd
```

Mono2 の場合

各機種固有のフィルター記述ファイル

```
FXDP205.fd        (DocuPrint 205/255/305)
FXDP340A.fd       (DocuPrint 340A)
FXDP350JM.fd      (DocuPrint 350JM)
FXDP505.fd        (DocuPrint 405/505)
FXDP2060.fd       (DocuPrint 2060/3050)
FXDP3100.fd       (DocuPrint 3100/3000)
FXDP4050.fd       (DocuPrint 4050)
FXDP5060.fd       (DocuPrint 5060/4060)
FXDC185.fd        (DocuCentre 1085/1055/185/155)
FXDCf285.fd       (DocuCentre f285/f235/a285/a235)
FXDCf1100.fd      (DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000)
FXAP450I.fd       (ApeosPort 450 I/350 I)
FXDC450I.fd       (DocuCentre 450 I/350 I)
FXAP750I.fd       (ApeosPort 750 I/650 I/550 I)
FXDC750I.fd       (DocuCentre 750 I/650 I/550 I)
FXAP24000.fd      (ApeosPort-II 4000/3000)
FXDC24000.fd      (DocuCentre-II 4000/3000)
FXAP27000.fd      (ApeosPort-II 7000/6000/5000)
FXDC27000.fd      (DocuCentre-II 7000/6000/5000)
FXDC33000.fd      (DocuCentre-III 3000/2000)
FXAP34000.fd      (ApeosPort-III 4000/3010)
FXDC34000.fd      (DocuCentre-III 4000/3010)
FXAP37000.fd      (ApeosPort-III 7000/6000/5000)
FXDC37000.fd      (DocuCentre-III 7000/6000/5000)
FXDC43060.fd      (DocuCentre-IV 3060/2060)
FXAP44070.fd      (ApeosPort-IV 4070/3070)
FXDC44070.fd      (DocuCentre-IV 4070/3070)
FXAP47080.fd      (ApeosPort-IV 7080/6080/5080)
FXDC47080.fd      (DocuCentre-IV 7080/6080/5080)
FX4112.fd         (4112/4127)
```

共通利用のフィルター記述ファイル

```
FXdownnload205.fd
FXpostio205.fd
posteuc205.fd
```

C.3　HP-UXの場合

① システムに登録されているプリンタの削除を行います。sam コマンドにてインストール時に設定したプリンタを削除します。

```
# sam
```

② インストール時に UNIX フィルターを格納したディレクトリおよび、ディレクトリ以下のファイルを全て削除します。削除を行うディレクトリは以下の通りです。

Mono の場合

```
/usr/local/fxbin
```

Mono2 の場合

```
/usr/local/fxbin205
```

用語の説明

【EUC テキストファイル】
UNIX で日本語文字コードとして広く用いられている EUC 拡張 UNIX コード（EUC）で書かれたファイルです。

【PostScript 言語プログラム】
PostScript 言語で書かれたプログラムのことです。

【printcap ファイル】
プリンタの登録およびそれぞれのプリンタに対する属性の定義を行うためのファイルです。

【SunRaster ファイル】
SunOS で広く用いられているビットマップイメージフォーマットで作成されたイメージファイルです。

【TIFF ファイル】
画像処理の分野で広く用いられているビットマップイメージフォーマットで作成されたイメージファイルです。

【XWD ファイル】
X Window システムで広く用いられているビットマップイメージフォーマットで作成されたイメージファイルです。

【スーパーユーザー】
ログイン名が「root」で、マシンを管理するための権限を持っているユーザーです。

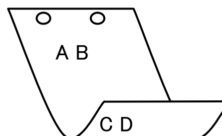
【リモートプリンタ】
リモートワークステーションから利用するプリンタのことです。

【リモートワークステーション】
プリンタとシリアルケーブルで接続されていないネットワーク上のワークステーションのことです。

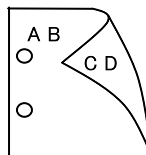
【ローカルプリンタ】
ローカルワークステーションから利用するプリンタのことです。

【ローカルワークステーション】
プリンタとシリアルケーブルで接続されたワークステーションのことです。

【短辺とじ両面印刷】
用紙の短いほうの辺をとじて両面印刷することです。



【長辺とじ両面印刷】
用紙の長いほうの辺をとじて両面印刷することです。



索引

サポートお問い合わせは...

この商品のセットアップ・操作・機能などについてのお問い合わせは、
エイセル株式会社　製品サポート係までご連絡ください。

エイセル株式会社　製品サポート係

E-Mail　info-unixfilter@acel.co.jp
FAX　03-3230-0010

※受付時間　平日 9:30～12:00, 13:00～17:00
土日・祝祭日・当社指定休日を除く

URL　http://www.acel.co.jp

なお、お問い合わせいただく際には、以下の項目をご確認ください。

- UNIX Filter のバージョン
- ご使用中のパソコンの機種名および動作環境
- メモリ・ディスク容量や周辺機器の機種名など
- エラーメッセージが表示されている場合は、そのメッセージの内容
- 現象が起きた場合の詳細な手順がお分かりであれば、その内容

SunOS、Solaris、HP-UX、Linux 対応

PostScript®プリンタ用 ユーティリティソフトウェア
UNIXFilter ユーザーズガイド
2012 年 2 月 第 2 版 第 17 刷
発行所　エイセル株式会社
住　所　〒102-0084　東京都 千代田区 二番町 9